

【表紙】

【提出書類】 半期報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2022年 9 月30日

【中間会計期間】 自 2022年 1 月 1 日 至 2022年 6 月30日

【会社名】 マラヤン・バンキング・ベルハッド
(Malayan Banking Berhad)

【代表者の役職氏名】 リー・イー・ホワン
(Lee Yih Hwan)
グループ企業財務担当者
(Group Corporate Treasurer)

【本店の所在の場所】 マレーシア クアラルンプール50050
ジャラン・トゥン・ペラック100
メナラ・メイバンク14階
(Level 14, Menara Maybank, 100, Jalan Tun Perak,
50050 Kuala Lumpur, Malaysia)

【代理人の氏名又は名称】 弁護士 吉井 一浩

【代理人の住所又は所在地】 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1061

【事務連絡者氏名】 弁護士 安西 明毅
弁護士 乙黒 亮祐
弁護士 村尾 侑己
弁護士 本郷 あずさ
弁護士 伊藤 雄太
弁護士 岡田 英里香

【連絡場所】 東京都千代田区大手町一丁目 1 番 1 号
大手町パークビルディング
アンダーソン・毛利・友常法律事務所外国法共同事業

【電話番号】 03-6775-1744

【縦覧に供する場所】 該当事項なし。

注記：

- (注1) 「ASEAN」とは、東南アジア諸国連合をいう。
- 「マレーシア中央銀行」又は「BNM」とは、マレーシアの中央銀行であるバンク・ネガラ・マレーシアを意味する。
- 「カガマス」とは、「第一部 第6 - 1 中間財務書類」において、以下の通り意味する。
- () カガマスへ売却した貸出金及びその他の債権に関するリコース義務に関する場合にはカガマス・ベルハッドをいう。
- () カガマス債に関する場合にはカガマス・ベルハッド又はカガマス・エムビーエス・ベルハッドが発行した債券をいう。
- 「メイバンク」又は「当行」とは、マレーシアにおいて設立され、マレーシア、クアラルンプール50050、ジャラン・トゥン・ペラック100、メナラ・メイバンク14階にその登記上の事務所を置く会社であるマラヤン・バンキング・ベルハッド（会社登録番号：196001000142）をいう。
- 「メイバンク・グループ」又は「当行グループ」とは、マラヤン・バンキング・ベルハッド及びその子会社全体をいう。
- 「タカフル」とは、シャリアにおける保険概念であり、複数の加入者がタカフルにタバッル（tabarru）又は寄付の形で資金提供することにより、そのいずれかが確定した損失又は損害により債務を負うことになった場合に互いに保証することを相互間で合意するものである。これにより加入者の結束及び協調が高められる。
- (注2) 別段の記載がある場合を除き、「RM」、「マレーシア・リングgit」及び「セン」（1マレーシア・リングgit＝100セン）はマレーシアの法定通貨を指し、「円」は日本の法定通貨を指す。2022年9月1日現在（日本時間）、株式会社三菱UFJ銀行が提示した現地参考為替相場の仲値は、1マレーシア・リングgit＝31.10円であった。
- (注3) 本書中の表における数値が四捨五入されている場合、合計欄の数値は必ずしも関連する各数値の合計と一致しない。
- (注4) 本書には「予定である」、「企図している」、「目指す」、「目指している」、「期待できる」、「起こりうる」、「確信している」、「予測している」、「期待している」、「継続する」、「予想している」、「見積もっている」、「推定している」、「意向である」、「計画している」、「試みる」、「将来」、「目標とする」、「はずである」、「可能性がある」、「あり得る」、「場合がある」及びその他の類似の用語又はその変化形を含む用語又は表現を使用した将来の見通しに関する記述が含まれている。
- 当行又は当行グループの予想される財政状態、事業、戦略、計画、見通し及び目標に関するすべての記述は将来の見通しに関する記述である。実際の結果は、当行のその戦略を成功裏に実行する能力、近年又は将来の合併、又は事業に組込むための取得を行うための能力、不良資産及び再構築資産の将来の水準、その成長と拡大、貸倒損失及び投資損失に対する引当金の適切性、技術的变化、投資収入、新商品を売込む能力、キャッシュ・フロー予測、当事者である又は当事者となる法的、規制上の訴訟の結果、新たな会計基準の将来における影響、配当金支払能力、短期資金源を繰越す能力並びに運用、市場、与信、金利及び通貨リスクのエクスポージャー、インターネット・バンキング・サービスの市場浸透度及び需要（ただしこれらに限られない。）に関する当行の想定に関連した特定のリスク又は不確実性により、将来の見通しに関する記述において記載されたものとは大幅に異なることがある。
- すべての将来の見通しに関する記述は、本書日付現在におけるものである。当行又は当行グループの実際の将来の業績、成績又は実績が、本書の将来の見通しに関する記述において予測、記載又は暗示されたものと大幅に異なる原因となるリスク及び不確実性があることを前提として、本社債への投資を予定する投資家は、これらの記述に過剰に依存しないようにするべきである。当行は、本書に含まれる将来の見通しに関する記述に関し、記載された当行の予測のいかなる変更又はかかる記述の基盤となった事象、状況又は環境の変化を反映した更新又は修正を公的に行う義務又は保証を有さないことを明示する。
- (注5) 当行は、いかなる場合においても、本書において税制上、法律上又は規制上の助言を行うものではない。
- (注6) 当行グループ及び当行の事業年度は暦年である。

第一部【企業情報】

第1【本国における法制等の概要】

当該半期中において、2022年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

第2【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 下記は直近の3中間会計期間及び2事業年度における当行グループの主な経営指標等の推移を表したものである。

(別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット)

	2020年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間	2022年6月30日に 終了した期間	2020年12月31日に 終了した 事業年度	2021年12月31日に 終了した 事業年度
営業総収益	25,030,004 (778,433,124 千円)	23,555,409 (732,573,220 千円)	23,122,867 (719,121,164 千円)	51,030,965 (1,587,063,012 千円)	45,959,390 (1,429,337,029 千円)
営業利益	3,959,363 (123,136,189 千円)	5,820,688 (181,023,397 千円)	5,545,226 (172,456,529 千円)	8,447,809 (262,726,860 千円)	10,700,412 (332,782,813 千円)
関連会社及びジョイ ント・ベンチャーの 利益持分	94,138 (2,927,692 千円)	76,867 (2,390,564 千円)	93,016 (2,892,798 千円)	209,147 (6,504,472 千円)	186,183 (5,790,291 千円)
包括利益合計	4,951,056 (153,977,842 千円)	1,890,160 (58,783,976 千円)	1,688,223 (52,503,735 千円)	7,815,143 (243,050,947 千円)	5,437,082 (169,093,250 千円)
1株当たり純利益 (基本的)(単位：セ ン)	26.61 (828円)	38.00 (1,182円)	32.72 (1,018円)	57.66 (1,793円)	69.66 (2,166円)
1株当たり純利益 (希薄化後)(単位： セン)	26.61 (828円)	38.00 (1,182円)	32.72 (1,018円)	57.66 (1,793円)	69.66 (2,166円)

	2020年 6月30日現在	2021年 6月30日現在	2022年 6月30日現在	2020年 12月31日現在	2021年 12月31日現在
純資産	84,572,192 (2,630,195,171 千円)	86,887,986 (2,702,216,365 千円)	87,385,227 (2,717,680,560 千円)	87,109,627 (2,709,109,400 千円)	88,552,421 (2,753,980,293 千円)
資産合計	852,733,964 (26,520,026,280 千円)	879,353,197 (27,347,884,427 千円)	923,379,890 (28,717,114,579 千円)	856,859,514 (26,648,330,885 千円)	888,172,393 (27,622,161,422 千円)
株主資本利益率(%)	7.5	10.5	9.3	8.1	9.8
1株当たり純資産 (単位：マレーシ ア・リングット)	7.30 (227円)	7.20 (224円)	7.08 (220円)	7.51 (234円)	7.22 (225円)
従業員数(名)	42,561	41,949	31,917	42,072	31,567

	2020年6月30日に 終了した期間	2021年6月30日に 終了した期間	2022年6月30日に 終了した期間	2020年12月31日に 終了した 事業年度	2021年12月31日に 終了した 事業年度
--	-----------------------	-----------------------	-----------------------	------------------------------	------------------------------

営業活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	5,163,043 (160,570,637 千円)	22,418,033 (697,200,826 千円)	8,030,868 (249,759,995 千円)	2,248,115 (69,916,377 千円)	13,078,288 (406,734,757 千円)
投資活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	370,322 (11,517,014 千円)	(80,133) ((2,492,136) 千円)	(94,205) ((2,929,776) 千円)	(148,478) ((4,617,666) 千円)	(294,404) ((9,155,964) 千円)
財務活動から生じたノ（に使用した）正味キャッシュ・フロー	(3,598,459) ((111,912,075) 千円)	(3,525,058) ((109,629,304) 千円)	(7,494,096) ((233,066,386) 千円)	(5,551,653) ((172,656,408) 千円)	(5,375,374) ((167,174,131) 千円)
期末現在の現金及び現金同等物	49,735,888 (1,546,786,117 千円)	63,230,850 (1,966,479,435 千円)	52,838,237 (1,643,269,171 千円)	43,813,448 (1,362,598,233 千円)	51,882,143 (1,613,534,647 千円)

（２）下記は直近の３中間会計期間及び２事業年度における当行の主な経営指標等の推移を表したものである。

（別段の記載のある場合を除き、千マレーシア・リングット）

	2020年６月30日に 終了した期間	2021年６月30日に 終了した期間	2022年６月30日に 終了した期間	2020年12月31日に 終了した 事業年度	2021年12月31日に 終了した 事業年度
営業総収益	9,410,646 (292,671,091 千円)	5,226,199 (162,534,789 千円)	12,432,750 (386,658,525 千円)	24,361,776 (757,651,234 千円)	23,181,109 (720,932,490 千円)
営業利益	4,346,329 (135,170,832 千円)	3,864,377 (120,182,125 千円)	4,102,662 (127,592,788 千円)	6,929,010 (215,492,211 千円)	7,743,960 (240,837,156 千円)
当期利益	3,804,239 (118,311,833 千円)	3,286,099 (102,197,679 千円)	3,365,479 (104,666,397 千円)	5,965,127 (185,515,450 千円)	6,877,902 (213,902,752 千円)

	2020年 6月30日現在	2021年 6月30日現在	2022年 6月30日現在	2020年 12月31日現在	2021年 12月31日現在
株式資本	48,280,355 (1,501,519,041 千円)	51,713,981 (1,608,304,809 千円)	53,913,584 (1,676,712,462 千円)	48,280,355 (1,501,519,041 千円)	53,156,473 (1,653,166,310 千円)
発行済株式総数	11,241,362	11,693,338	11,924,263	11,241,362	11,622,345
純資産	70,598,528 (2,195,614,221 千円)	71,436,880 (2,221,686,968 千円)	72,096,289 (2,242,194,588 千円)	72,266,256 (2,247,480,562 千円)	73,108,440 (2,273,672,484 千円)
資産合計	480,872,065 (14,955,121,222 千円)	479,102,244 (14,900,079,788 千円)	512,574,258 (15,941,059,424 千円)	476,303,646 (14,813,043,391 千円)	489,350,689 (15,218,806,428 千円)
１株当たり純資産 (単位：マレーシア・リングット)	6.28 (195円)	6.11 (190円)	6.02 (187円)	6.43 (200円)	6.15 (191円)
従業員数(名)	21,068	20,982	21,078	20,913	20,998

	2020年６月30日に 終了した期間	2021年６月30日に 終了した期間	2022年６月30日に 終了した期間	2020年12月31日に 終了した 事業年度	2021年12月31日に 終了した 事業年度
１株当たり純利益 (基本的)(単位：セン)	33.84 (1,052円)	28.10 (874円)	28.12 (875円)	53.06 (1,650円)	59.18 (1,840円)
１株当たり純利益(希薄化後)(単位：セン)	33.84 (1,052円)	28.10 (874円)	28.12 (875円)	53.06 (1,650円)	59.18 (1,840円)
１株当たり配当(単位：セン)	39.0 (1,213円)	47.3 (1,471円)	29.8 (927円)	52.0 (1,617円)	58.0 (1,804円)

株主資本利益率(%)	6.16	10.5	9.3	8.1	9.5
営業活動から生じたノ(に使用した)キャッシュ・フロー	3,173,217 (98,687,049 千円)	18,846,766 (586,134,423 千円)	8,143,661 (253,267,857 千円)	4,349,761 (135,277,567 千円)	12,494,040 (388,564,644 千円)
投資活動から生じたノ(に使用した)キャッシュ・フロー	2,544,577 (79,136,345 千円)	852,868 (26,524,195 千円)	1,867,469 (58,078,286 千円)	3,364,437 (104,633,991 千円)	1,589,207 (49,424,338 千円)
財務活動から生じたノ(に使用した)キャッシュ・フロー	(3,046,129) ((94,734,612) 千円)	(6,962,392) ((216,530,391) 千円)	(7,824,154) ((243,331,189) 千円)	(1,783,893) ((55,479,072) 千円)	(7,296,603) ((226,924,353) 千円)
期末ノ年末現在の現金及び現金同等物	24,912,768 (774,787,085 千円)	41,057,606 (1,276,891,547 千円)	37,581,685 (1,168,790,404 千円)	27,902,551 (867,769,336 千円)	35,122,120 (1,092,297,932 千円)

注記：

- 2017年1月31日に発効したマレーシア2016年会社法(以下「会社法」という。)に基づき、当行の普通株式は額面価格を有さず、当行の株式払込剰余金は株式資本の一部となる。そのため、資本金には株式発行に関連する株式払込剰余金を含むものとする。

2【事業の内容】

以下の事項を除き、当該半期中において、2022年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

当行は主に、商業銀行業務及び関連する金融サービスのあらゆる側面に携わっている。当行の子会社は、主に銀行業務及び金融業務、イスラム・バンキング業務、投資銀行業務(株式仲介を含む。)、保険及びタカフル並びに資産運用に従事している。

2022年6月30日現在、当行及び当行グループは、それぞれ512.6十億マレーシア・リングgit及び923.4十億マレーシア・リングgitの総資産、280.5十億マレーシア・リングgit及び637.1十億マレーシア・リングgitの顧客資金並びに255.7十億マレーシア・リングgit及び575.3十億マレーシア・リングgitの貸出金及びその他の債権総額を有していた。2022年6月30日に終了した6カ月間における当行及び当行グループの税引前利益は、それぞれ4.10十億マレーシア・リングgit及び5.64十億マレーシア・リングgitであった。

当行グループの主な事業は、マレーシア、シンガポール及びインドネシアにおいて行われている。

当行グループは、その子会社であり、2018年にフルライセンスを持つ適格銀行(QFB)として設立され、国内のシステム上重要な銀行(以下「D-SIB」という。)として認められているメイバンク・シンガポール・リミテッド(MSL)を通じて拠点を置く。メイバンク・シンガポール・リミテッドは、シンガポールの18の支店においてリテール事業及び商業事業を展開しており、QFB6行間のシンガポール唯一の共通ATMネットワークであるatm5の一部として、国内200超のATMを利用できる。当行グループはまた、メイバンクのシンガポール支店を通じて拠点を置いており、メイバンクのシンガポール支店は9の支店において法人事業及び機関投資家事業を展開している。メイバンク・シンガポール・リミテッド及びメイバンクのシンガポール支店は、2022年6月30日に終了した6カ月間において、当行グループの税引前利益及び貸出金総額^{*}にそれぞれ21.1%及び26.1%寄与した。

当行グループは、その子会社であり、資産においてインドネシア最大の商業銀行の1つで、かつ、インドネシア証券取引所に上場しているメイバンク・インドネシアを通じて、インドネシアに拠点を置く。メイバンク・インドネシアは、356の支店(19のシャリア支店及び1のムンバイの海外支店を含む。)のネットワーク、1,033のATM並びにモバイル・バンキング・サービス及びインターネット・バンキング・サービスを通じて、リテール、非リテール、グローバル・バンキングの商品及びサービスを提供している。メイバンク・イ

インドネシアは、2022年6月30日に終了した6カ月間において、当行グループの税引前利益及び貸出金総額^{*}にそれぞれ6.1%及び5.7%寄与した。

注記：^{*} 税引前利益及び貸出金総額の当行グループへの貢献は、国別に集計されており、銀行業務、投資銀行業務、保険及びタカフル業務並びに資産運用業務を含む。開示されている貸出金総額は、振戻し利息及び実効金利率の純額である。

1960年に設立した当行グループはマレーシア最大の金融サービスグループであり、ASEAN地域において確立した地位を有している。当行グループは、マレーシア、シンガポール及びインドネシアを本国市場としているASEAN地域諸国10カ国すべてと、中国、サウジアラビア、インド、パキスタン、ウズベキスタン及びアラブ首長国連邦（UAE）等のASEAN非加盟国を含む18カ国で営業している。当行グループはまた、ロンドン、ニューヨーク、香港及びドバイ等の国際金融センターにも拠点を有している。当行グループは、世界中に約2,617のリテール支店と45の投資銀行支店を有している。

当行グループは、事業の3つの柱であるグループ地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング並びにグループ保険及びタカフルによる各種金融サービスを提供している。当行グループはかかる3つの柱にわたってその商品及びサービスを提供する際に当行グループの現在のインフラ及びネットワークを、イスラム金融のためにも利用させるというレバレッジモデルを採用している。それと同時に、当行グループの国際的な事業運営は各事業の柱に組み込まれている。

グループ地域金融サービス（GCFS）

GCFSは、マレーシアにおける個人消費者、リテール中小企業顧客及び中堅企業に向けたリテール・ファイナンシャル・サービスの主要な提供者の1つである。資産管理、住宅ローン、自動車ローン、クレジットカード、短期信用及び長期事業融資等のリテール・バンキング・サービスを提供している。GCFSは、2022年6月30日に終了した6カ月間において当行グループのPBTの62.6%に寄与した。

グループ・グローバル・バンキング（GGB）

GGBは、トランザクション・バンキング、投資銀行、コーポレート・バンキング、グローバル・マーケット・アンド・トレジャリー、資産運用及び証券業務等のホールセール・バンキング・サービスを提供している。企業及び機関からリテール、中小企業及びビジネス・バンキングの顧客層まで様々な顧客にサービスを提供している。GGBは、2022年6月30日に終了した6カ月間において当行グループのPBTの46.2%に寄与した。

グループ保険及びタカフル（エティカ）

当行グループの保険及びタカフルは、ブランド名であるエティカの名の下で個人及び法人に向けてサービスを提供している。エティカは、ASEANにおける主要な保険及びタカフル事業会社であり、10,000を超える代理店、46の支店及び17の事務所を通じて長期貯蓄並びに投資商品を含むあらゆる種類の損害保険並びにイスラム保険（タカフル）ソリューションを提供している。エティカは、2022年6月30日に終了した6カ月間において当行グループのPBTの3.5%に寄与した。

メイバンク・グループ・イスラム・バンキング（MGIB）

MGIBは、その資産においてASEAN最大のイスラム・バンキング・グループであり、資産規模において世界で上位5位に入る最大のイスラム銀行の1つである。この地位を支えているのは、シャリア適格の商品及びサービスを標準の商品として顧客に提供する当行グループが採用しているイスラム第一の手法である。MGIBは、当行グループのシステム、ITインフラ及びマレーシア内のメイバンクの352の顧客との接点となる販売

ネットワークを活用して業務を行っており、インドネシア、シンガポール、香港、英国（UK）及びUAEにも拠点を有している。

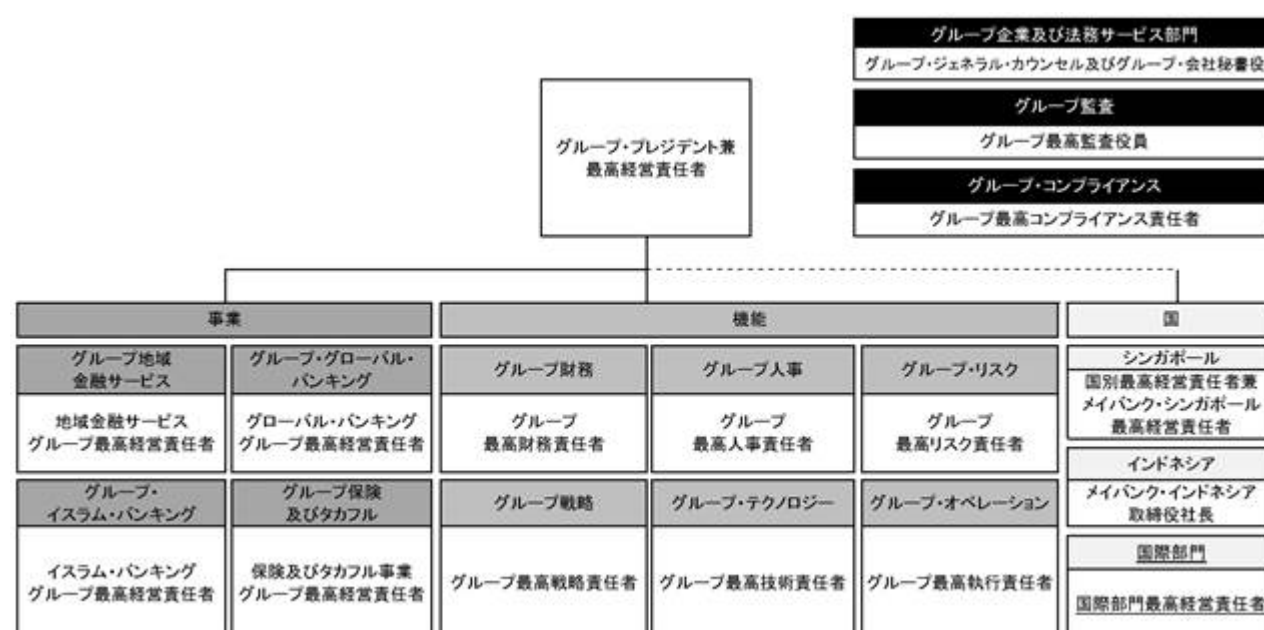
イスラミック・バンキング事業は、2022年6月30日に終了した6カ月間においてマレーシア内のメイバンクの金融の65.7%を占めた。

国際事業

当行グループは、ASEAN諸国10カ国すべて並びに大中華圏（香港を含む。）、ロンドン、ニューヨーク及びドバイを含む国際的な金融市場において事業を行っており、顧客に魅力的な種々の事業提案及び投資機会を提供している。

当行グループの構造

本書日付現在の当行グループの経営陣の構造は以下の通りである。



3【関係会社の状況】

当該半期中に新たに関係会社となった、関係会社ではなくなった、又は清算された会社の情報は、以下の通りである。

(a) 新たに関係会社となった会社

該当事項なし。

(b) 関係会社ではなくなった会社

該当事項なし。

(c) 清算された会社

現在株主による任意清算手続中であるエムエーエム・ディーピー・リミテッドを除き、当該半期中に清算された会社はない。

4【従業員の状況】

(1) 提出会社の従業員数

2022年6月30日現在の当行グループの従業員数は42,533名である。

(2) 非常勤従業員の割合

非常勤従業員はいない。

(3) 従業員数の変動

2022年6月30日現在の当行グループの従業員数は、2021年12月31日現在の42,168名から増加し、42,533名である。

(4) 労働組合に関する特記事項

2022年6月30日現在、当行グループはすべての組合と快適かつ習熟した関係性を築いている。

第3【事業の状況】

1【経営方針、経営環境及び対処すべき課題等】

(1) 経営方針、経営戦略及び経営上の目標の達成状況を判断するための客観的な指標

上記「第2 - 2 事業の内容」、下記「第3 - 2 事業等のリスク」及び「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2) 経営環境

下記「第3 - 2 事業等のリスク」及び「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(3) 対処すべき課題

下記「第3 - 2 事業等のリスク」を参照のこと。

2【事業等のリスク】

以下の事項を除き、当該半期中において、2022年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。有価証券報告書に記載された事項から変更された箇所には下線を付す。

非金融リスク

非金融リスクとは、オペレーション及び/又はブランド価値及びステークホルダーの当行グループに対する認識に対し金銭的損失又は悪影響をもたらす可能性のある外的要因に起因する損失のリスクを指す。それはオペレーショナル・リスク、情報事業継続リスク、サードパーティ・リスク、プロダクト・リスク、テクノロジー及びサイバー・リスク、データ・リスク、コンダクト・リスク、法務リスク、法令遵守リスク並びにその他ダウンサイド・リスク、すなわち「既知の未知」等のサブ・リスク・タイプにより構成される。

非金融リスクの管理は、全体的な原則及び目的を示す確立されたリスク戦略に基づいており、非金融リスクに対する当行グループの許容レベルを反映したリスク選好が定義されている。当行グループの非金融リスクの管理を推進するためには、3つの防御ラインを前提とした健全なリスク・ガバナンス・モデル及び強固なリスク・カルチャーが不可欠である。非金融リスクの管理をさらに強化するために、リスク方法論及び

ツールを導入し、プロセスに統合することで、インシデントの発見時点から解決までビジネスをサポートしている。リスク方法論及びツールは、非金融リスクのエクスポージャーを適時に識別、評価及び測定、管理、監視及び報告する効果的なプロセスのために相互に補完し合い、当行グループに対する経済的損失やレピュテーション・リスクを最小限に抑える。

世界各国が規制を緩和し、流行期に移行する中、メイバンク・グループは、移行計画を策定しつつ、すべての懸念及び変化を継続的に監視している。重要な業務機能のため恒久的な代替施設を設置することにより、運用面での弾力性を強化し続けており、物理的距離の維持及びマスク着用の要求といった管理は、依然としてすべての拠点において継続されている。

当行グループは、潜在的なサイバー脅威及びインフラの回復力と同様に、配信チャネル、ビジネスサービス、通信及び当行グループのデジタル・アジェンダ全体に影響を及ぼす可能性のあるデータの損失／盗難及び混乱にも引き続き焦点を当てた。これは、COVID-19のパンデミックの影響でデジタル取引の量と頻度が急増したため、特に重要であった。ITインフラ及びシステムの詳細な分析に加え、サイバーリスクの世界的な傾向から、ITセキュリティチームは潜在的な脅威やセキュリティ違反を特定し、オンライン取引量の増加に伴い当行グループのシステムの回復力を維持することができた。サイバー・リスク・マネジメントの枠組み及び方法論を強化し、米国国立標準技術研究所によるサイバーセキュリティ・フレームワークやリスク管理枠組み等の国際標準に合わせて、新たな脅威を考慮に入れている。

当行グループは、関連するリスク・コントロール及び損失軽減戦略を実施していると考えている。しかし、非金融リスクを完全に排除できるという保証はない。当行グループの非金融リスクを管理できない場合、当行グループの事業、財政状態、経営成績、見通し及び／又は評判に悪影響を及ぼす可能性がある。

担保価値の悪化又は担保価値を実現できないことにより、当行の引当金の増加が余儀なくされる可能性がある。

当行の貸出金の一部には、不動産及び有価証券といった担保が付されており、その価値は世界的な経済の状況及び／又はその見通しの低迷により下落する可能性がある。裏付けされた根拠／前提のもとに行われる担保価値の下方修正により、当行の貸出金の一部が、裏付となる担保の価値を超える可能性がある。将来のキャッシュ・フローの回収に影響するかかる下方修正は、借入人の信用力の悪化とあいまって、当行の貸付損失引当金を増加させ、担保権の実行による貸出金の回収を潜在的に減少させ、ひいては当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

海外市場への進出は、当行グループのリスク特性を増大させる可能性がある。

海外市場における成長の構築は、当行グループの戦略の主要な柱であり、かかる地域への進出は、リスク特性及びエクスポージャーを増大させる可能性がある。

地域的に不利な経済情勢の展開、又は労働コスト、インフレ、金利、税制若しくは政治情勢の変化に起因する傾向の変化は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に潜在的に影響を及ぼす可能性があり、当行グループの社債に基づいて支払われるべき支払を行う能力に影響を及ぼす可能性がある。

当行グループはまた、各地域において銀行及び金融サービスに係る各種法令より生じる規制・監督に服している。これらの法令を遵守しない場合、懲罰的な処分を受け、罰金が賦課され及び／又は当行グループが業務を行う地域において事業を遂行するために必要な免許、認可若しくは許可の取消しが課されることとなる、又は当行グループに民事責任若しくは刑事責任が問われる可能性がある。かかる地域への進出が、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及びレピュテーションに重大な悪影響を及ぼすことがなく、又は当行グループの信用方針及び引当金繰入方針がかかるリスクに関連して適切であると保証することはできない。

当行グループの事業は、本質的に市場変動のリスクにさらされている。

当行グループの事業は、金融市場及びより広域な経済において、為替レート、金利、インフレ率、クレジット・スプレッド、商品、株式、債券及び不動産価格の変化並びにボラティリティの上昇を含むリスク、並びに顧客が当行グループの事業、取引条件及びヘッジの想定に相反する方法で行為するリスクに本質的にさらされている。当行グループの海外市場への進出の結果、当行グループが外貨の為替レートの変化及びボラティリティの上昇に次第にさらされるようになる可能性がある。当行グループは、通常、為替エクスポージャーを回避するために為替ヘッジ取引を行っているが、他の通貨に対するリンギットの価格変動は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに潜在的に影響を及ぼす可能性がある。

当行グループがリスク管理体制を運営又は継続して実行することができない場合、その事業、財政状態及び経営成績に悪影響が及ぶ可能性があり、さらに当行グループのリスク管理体制が有効に存続する保証はない。さらに、当行グループのリスク管理システムは、未確認の若しくは予期せぬリスク・エクスポージャーを軽減するために十分に有効であるという保証はない。

将来、自己資本比率が低下した場合又は新たな自己資本比率の規制枠組みへの対応のため、新たな自己資本の調達を迫られる可能性がある。

2020年12月9日に発行されたマレーシア中央銀行の自己資本比率の規制枠組み（資本構成）（以下「自己資本比率規制枠組み」という。）は、当行グループを含むマレーシアの銀行機関がリスクアセットに対する以下の最低自己資本比率を維持することを要求している。

- (a) 普通株式等Tier1（以下「CET1」という。）自己資本比率4.5%以上
- (b) Tier1自己資本比率6.0%以上
- (c) 自己資本比率8.0%以上

さらにD-SIBに指定された銀行については、CET1資本が資本保全バッファ（以下「CCB」という。）、カウンターシクリカル資本バッファ（以下「CCYB」という。）及び高い損失吸収要件（以下「HLA要件」という。）の形で、上記に記載されている最低CET1自己資本比率、Tier1自己資本比率及び自己資本比率を上回る追加の自己資本バッファを維持することを要求されている。

マレーシア中央銀行は2020年2月5日、D-SIBに関する政策文書を公表し、メイバンクをD-SIBに分類される銀行の1行として選定した。D-SIBの枠組みの下では、メイバンクはHLA要件のパケット2に分類され、2021年1月31日以降、メイバンクは規制上の最低要件に加え、CET1資本比率1.0%を上乗せして維持することが求められる。

銀行がかかる比率を維持することができない場合、マレーシア中央銀行は、かかる銀行に対して罰金から銀行免許の取消しまでの罰則を科す可能性がある。「第1 - 1(1) 提出会社の属する国・州等における会社制度」の「銀行規制及び監督」を参照のこと。

2022年6月30日現在において、当行グループ及び当行の初回中間配当控除前CET1自己資本比率はそれぞれ14.975%及び14.071%、初回中間配当控除前Tier1自己資本比率はそれぞれ15.675%及び14.806%、初回中間配当控除前自己資本比率は18.344%及び17.296%であった。

当行グループの資本ベース及び自己資本比率は、その経営成績又は財政状態が何らかの理由で悪化した場合、減少する可能性がある。当行グループの自己資本比率が低下した場合、適用ある自己資本比率規制ガイドラインを遵守するために、追加のCET1資本、追加のTier1資本又はTier2資本を取得することが求められる可能性がある。追加資本の可能性は、予定した資金調達活動の時点における市場の状況及び環境次第である。

マレーシア中央銀行がマレーシアの銀行に関連する自己資本要件に影響を与えるような自己資本比率規制の枠組みの修正を行う可能性がある。バーゼル の規則のアプローチ及び導入は、様々な形で当行グループに潜在的な影響を及ぼす可能性のあるマレーシア中央銀行の命令次第である。当行グループは、常に最適な資本構成を確保し、確固たる資本基盤を常に維持しているものの、規制要件が引続き強化される場合、当行グループが圧力の増大に直面する可能性がある。その場合当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響が及ぶ可能性がある。

マレーシアに関する検討事項

2022年6月30日に終了した6カ月間において、当行グループの純営業収益の約66.1%がマレーシアにおける事業より生じたものである。マレーシアのマクロ経済の状況に重大な影響又は悪影響を及ぼす要因は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに同様の影響を及ぼす可能性がある。

COVID-19の世界的流行若しくはその他の感染症又はパンデミックの発生、又はアジア、米国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東及び／又は世界的にみたその他の重大な公衆衛生上の懸念、及び政府がこれに対応するために採用した政策や措置は、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

2020年に世界的なCOVID-19のパンデミックが発生し、国内移動の制限、大規模な集会の禁止、不要不急のビジネスやサービスの停止、国境の閉鎖を含む封じ込め措置が取られたことは、世界経済に大きな影響を与えた。これらの「ロックダウン」及び「社会的距離」対策は公衆衛生にとって極めて重要であったが、その結果、サプライチェーンや世界の貿易及び移動の混乱、企業の財務ストレス、失業率の上昇等の需給ショックが生じ、それが世界の金融及び商品市場の動揺を高め、最終的には世界経済の後退を引き起こし、2020年の世界の実質GDPは-3.1%減少した。しかし、緩和的な金融政策、拡張的な財政政策及び経済刺激策の併用に加え、COVID-19ワクチン接種の進展により経済の再開が可能となり、制限及び封じ込め措置の緩和及び解除により、2021年に世界経済は6.1%の成長に回復した。

また、マレーシアにおいても、金融政策、流動性政策、経済政策及び財政刺激策による政策支援が続く中、2021年に実質GDPは3.1%（2020年は-5.6%であった。）回復した。これらの政策には、（ ）2020年1月から7月にかけて合計125ベースポイントの引下げを行った後、翌日物政策金利を過去最低の1.75%で維持すること、（ ）金融機関が法定預金準備率を遵守する際の柔軟性により、2022年末まで銀行システムの法定預金準備率の実効比率を0%とすること、（ ）マレーシア中央銀行による政府証券の購入、（ ）COVID-19の世界的流行の被害を受けた個人、企業、産業及び部門に対し、現金援助及び財政的救済、特に中小零細企業向けの資金調達スキーム及び助成金、雇用市場の安定化措置（例：賃金補助、雇用奨励金及びトレーニングプログラム）、並びに税制上の優遇措置と猶予を提供するため、2020年から2021年上半年にかけて発表された総額530十億マレーシア・リングgit（マレーシアのGDPの36.1%）の8つの経済刺激策によるプラスの影響、並びに（ ）少なくともGDPの6%（2022年は6.0%、2021年は6.4%、2020年は6.2%であった。）の財政赤字の継続による拡張的な財政政策が含まれる。同時に、2021年2月に開始されたCOVID-19予防接種プログラムにより、2021年末現在、総人口の78.5%がワクチン接種を完了し、2021年第4四半期からは制限及び封じ込め措置が解除され、より広範な経済の再開が可能となった。

マレーシア中央銀行はまた、継続して経済活動を支える金融及び流動性の情勢を確保するための措置を講じた。2020年3月25日、マレーシア中央銀行は、COVID-19の大流行の影響を管理するために、個人、中小企業、及び法人を支援する銀行の取組みを支援するため、いくつかの規制及び監督措置を発表した。

(a) 銀行は、個人及び中小企業に対し、2020年4月1日から6カ月間、ローン／ファイナンスの返済を自動的に猶予した。このオファーは、リングgit建ての融資で、2020年4月1日現在90日超延滞していないものに適用される。法人は、この猶予を選択することができる。2020年9月30日の期限到来に伴い、返済猶予期間を2021年6月30日まで延長し、柔軟な返済支援を実施した。2021年7月6日、マレーシア中央銀行は、すべての個人、零細企業の借入人及び影響を受けた中小企業に対し、2021年7月7日以降6カ月間の支払猶予を申請することができ、かかる支払猶予又はその他の返済支援策へのオプティンは簡単で、借入人は補助文書を提供する必要もなく、自動的に承認されると発表した。2021年10月、マレーシア政府は、適格なB50の顧客（世帯総所得が5,880マレーシア・リングgit以下）のCOVID-19の世界的流行による財政上の困難の緩和を支援するため、マレーシア銀行協会（ABM）、マレーシア・イスラム銀行・金融機関協会（AIBIM）、マレーシア開発金融機関協会（ADFIM）及び負債管理機関（AKPK）と共同で、財務管理・回復力プログラム（URUS）を発表した。財務計画には以下の選択肢が含まれる。

- () 顧客がスキームに参加した翌月から3カ月間の利息／利益の免除。
- () 3カ月間の利息／利益の免除に加え、合計24カ月までの分割払いの減額。この間、個人向け無担保ローン／ファイナンス及びクレジット・カードを有する顧客はまた、低下した金利／利益率の利益も受ける可能性がある。

基準を満たす個人の顧客は、2021年11月15日から2022年1月31日の間に財務管理・回復力プログラム（URUS）を申請できる。

- (b) 国内市場において十分な流動性を確保するため、マレーシア中央銀行は以下を行った。
- () 最低流動性カバレッジ比率（以下「LCR」という。）要件の100%を下回る水準での銀行の営業を認めた。
 - () 銀行による2.5%の資本保全バッファの引下げを認めた。
 - () 予想損失に備えて保有する規制準備金を0%に引下げた。
- (c) 一方、安定調達比率（以下「NSFR」という。）は、2020年7月1日から2021年9月30日まで、より低い水準である80%で実施された。NSFRは、銀行の長期資産に占める長期安定的な資金調達の割合を測定しようとする流動性の基準である。このため、銀行には、資産構成やオフバランスシート活動との関連で、安定的な資金調達の維持が求められる。

マレーシアの景気回復の勢いが、2022年4月1日の国境の全面開放を含む経済開放を受け、本年に入って加速している。これは、2022年上半期に実質GDP成長率が前年度比6.9%に上昇したことに反映されている。経済は、2022年の実質GDP成長率の公式予測範囲5.3%-6.3%の上限付近の成長が予測されている。急速な経済成長に加え、2022年7月にインフレ率が前年度比4.4%に上昇し、2022年の当初7カ月間の平均インフレ率が2.8%（2021年は2.5%）に上昇したこと、さらに米国主導の世界的な金利の上昇を受け、マレーシア中央銀行は、2022年5月10日-11日の金融政策委員会（MPC）の会合の後、翌日物政策金利を25ベースポイント引上げ、2.00%とすることを決定し、2022年7月5日-6日のMPCの会合後に再び25ベースポイント引上げ2.25%とし、2022年9月8日のMPCの会合後に2.5%とすることを決定した。マレーシア中央銀行はまた、金融政策の調整を慎重かつ段階的な方法で行う指針を繰り返し示した。

シンガポールでは、実質GDP成長率は2021年の7.6%への上昇から2022年上半期には4.1%まで減速した。これは、シンガポールの早期かつ迅速なCOVID-19のワクチン接種及び経済開放の効果が薄れていることに加え、米国連邦準備制度理事会が主導する世界的な金利上昇による米国経済の先行きに対する懸念の高まり、中国におけるロックダウンの再発の起因となっているゼロコロナ政策の継続による景気減速及びロシアとウクライナ間の戦争に端を発したエネルギー危機が輸出・貿易関連サービスを圧迫していることによる欧州の景気後退の可能性等を含む世界的な逆風の中で、外需の見通しが軟化したことを反映している。また、コス

トプッシュ型、デマンドプル型及び賃金主導の物価上昇要因によるインフレの高まり（2022年7月は前年度比7.1%、2022年1月-7月は5.5%、2021年は2.3%）による抑制効果もある。これらは、ロシアとウクライナ間の戦争及び中国のロックダウンによるサプライチェーンの混乱による商品価格の高騰から、国内経済の開放に伴う労働市場の逼迫による賃金の圧迫等、多岐にわたる。このため、シンガポール通貨監督庁（MAS）は、2021年10月、2022年1月、2022年4月及び2022年7月に金融政策の引締めを行い、2022年10月にもさらなる引締めを行う見通しである。

インドネシアの経済回復の機運はさらに加速し、2022年上半期には、移動制限の大幅な緩和による家計消費の加速及び商品輸出を中心とした堅調な外需に牽引され、成長率は5.1%（2021年は3.7%）となった。2022年下半期に向けて、インドネシアの外需は、とりわけ石炭、銅、鉄鋼等の主要輸出品目の世界的な成長の鈍化によって減速する可能性がある。インフレ（2022年7月は前年度比4.9%、2022年1月-7月は3.3%、2021年は1.6%）の進行により、2022年8月にインドネシア中央銀行は本年初めて金利を25ベースポイント引上げ3.75%とし、インドネシア政府が燃料助成金の財政負担を抑制するため2022年9月上旬に助成付燃料価格を30%引上げると決定したことも下半期の消費意欲を押し下げる要因となることが予測されている。

COVID-19の世界的流行が一般的な銀行セクターに与える影響としては、（ ）利下げによる純金利マージンの圧縮、（ ）事業活動及び消費支出の縮小による貸付金の伸びの低下、（ ）(a)顧客の信用力の低下及び(b)国の財政負担を回復し軽減するために政府が実施する前例のない金融政策を受けて、銀行に対する財政及びキャッシュフローの影響の緩和、といった潜在的な信用コストの上昇である。メイバンクは、COVID-19の世界的流行による進展を監視し続ける一方で、引続き流動性と資本力を優先し、これらの比率／水準が規制基準を上回るよう維持していく。また、当行グループは、その運用市場における低金利環境を背景とした純金利マージン圧縮の管理を行い、リスク選好に沿った成長機会の追求を図っていく。また、当行グループは、債務者と協力して、COVID-19の影響を受けた債務者の雇用支援や倒産防止に向けた実行可能な解決策を提供していく。当行グループは、この大流行が長期化すると、経済成長及び回復の不確実性がさらに高まる可能性があり、当行グループの事業、経営成績、財政状態、展望及び／又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性があることに留意している。COVID-19の世界的流行を抑制するためにとられた政策や介入の結果として、当行グループが増幅した圧力に直面しないという保証はない。さらに、COVID-19の世界的流行を抑制するために政府が実施するこのような政策及び／又は介入は、当行グループの事業、財政状態及び経営成績に悪影響を及ぼす可能性がある。

上記に加え、COVID-19の更なる流行や、アジア、米国、オーストラリア、ヨーロッパ、中東及び／又は世界的規模でのその他の感染症又はパンデミック（MERS、エボラ、鳥インフルエンザ、H1N1インフルエンザ、SARS、ジカウイルス等）の発生、それに伴う移動制限及び／又は隔離の実施は、当行グループが事業活動を行う諸外国の経済及び事業活動に悪影響を与え、世界的なサプライチェーンや世界貿易の混乱を招き、世界の経済成長に悪影響を与える可能性がある。感染症又はパンデミックに対して講じられる予防措置が効果的であるとの保証は一切ない。これらのリスクの管理を怠ると、当行グループの事業、財政状態、経営成績、展望及び／又はレピュテーションに悪影響を及ぼす可能性がある。

当行グループが事業を展開するマレーシアその他の国において、新たな世界的若しくは地域的な経済若しくは金融危機が発生し、又は経済的若しくは政治的環境が悪化した場合、当行グループの事業、財政状態及び／又は経営成績、展望及び／又はレピュテーションに重大な悪影響を及ぼす可能性がある。

マレーシアにおける預金保険の範囲及び費用

マレーシアでは、マレーシア預金保険公社が預金保険制度を管理しており、これは加盟機関が預金者に対する債務を履行できない場合に預金者を適格預金の損失から保護するために設立されたものである。預金保険の限度額は、加盟銀行の預金者当たり、250,000マレーシア・リンギットである。

規定限度額を超えた預金には、全額までの保険は適用されない。これは、流動性の問題の原因となる、又はそれを悪化させる可能性があり、深刻な場合には、当行グループの事業、財政状態、経営成績若しくは展望、又はマレーシアの金融市場全般に悪影響を与える可能性がある。

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績等の概要

下記「第3 - 3 (3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」を参照のこと。

(2) 生産、受注及び販売の状況

該当事項なし。

(3) 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

下記「第6 - 1 中間会計期間財務書類」の中間財務書類への注記B - 1を参照のこと。

4【経営上の重要な契約等】

該当事項なし。

5【研究開発活動】

該当事項なし。

第4【設備の状況】

1【主要な設備の状況】

当該半期中において、2022年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

2【設備の新設、除却等の計画】

該当事項なし。

第5【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

(2022年6月30日現在)

授権株数(株)	発行済株式総数(株)	未発行株式数(株)
(注)	11,970,013,430	(注)

注記： 会社法上、未発行の授権株式という概念はない。

【発行済株式】

(2022年6月30日現在)

記名・無記名の別及び 額面・無額面の別	種類	発行数(株)	上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引業協会名	内容
記名式 無額面	普通株式	11,970,013,430	マレーシア 証券取引所	1株当たり 1議決権
計	-	11,970,013,430	-	-

(2)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(3)【発行済株式総数及び資本金の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総数 残高(株)	株式資本増減額 (マレーシア・ リングット)	株式資本残高 (マレーシア・ リングット)	摘要
2021年12月31日	-	11,878,513,218	-	53,156,472,575	-
2022年1月1日 - 2022年6月30日	91,500,212	11,970,013,430	757,621,755	53,914,094,330	配当金再投資プラン (以下「DRP」 という。)
			(509,922)	53,913,584,408	DRP費用
2022年6月30日	-	11,970,013,430	-	53,913,584,408	-

(4) 【大株主の状況】

(2022年 6 月30日現在)

名称	住所	所有 株式数 (株)	発行済株式総 数に対する 所有株式数の 割合 (%)
アマナラヤ・トラステーズ・ベルハッド(B/O：アマナ・サハム・プミプテラ)	マレーシア	3,976,436,293	33.22
シティグループ・ノミニーズ(テンパタン)スンディリアン・ベルハッド(B/O：従業員積立基金)	マレーシア	1,650,669,288	13.79
パーモダラン・ナショナル・ベルハッド	マレーシア	834,588,000	6.97
合計		6,461,693,581	53.98

2 【役員の状況】

本書提出日現在、グループ経営委員会の委員は以下の通りである。

男性委員：12名

女性委員：2名

(女性委員の割合14%)

(1) 新任取締役 / 役員

氏名、生年月日、役職	略歴
シウ・チャン・チョング博士 (1977年 1 月29日生) グループ最高戦略責任者	着任： ・ 2022年 8 月15日 資格： ・ 英国サウサンプトン大学工学博士 ・ 英国ロンドン・ビジネス・スクール経営学修士 ・ 英国サウサンプトン大学工学部学士 (1 級優等学位) 関連性のある職歴： 20年超にわたり、ヨーロッパ及びアジアの大手銀行において、戦略及び大規模かつ複数国にまたがる変革の策定・実施に携わる。

(2) 取締役 / 役員の異動

氏名 (生年月日)	旧役職名	新役職名	異動年月日
マイケル・フォーン ・セン・ユー (1968年 5 月 5 日)	グループ最高戦略責任者及び 国際部門最高経営責任者	国際部門最高経営責任者	2022年 8 月15日

上記を除き、2022年 6 月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項について、本書提出日現在まで重要な変更はなかった。

第6【経理の状況】

当行グループ及び当行の2022年6月30日に終了した6カ月間の原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は、マレーシア財務報告基準（Malaysian Financial Reporting Standards、以下「MFRS」という。）及び国際財務報告基準（International Financial Reporting Standards、以下「IFRS」という。）に従って作成されたものである。当該中間財務書類の和訳は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号、以下「中間財務諸表等規則」という）第76条第1項の適用を受けている。当行が採用する会計原則、慣行、表示方法及び開示要件と日本のそれらとの相違のうち、連結及び個別中間財務書類の作成に関わるもので重要なものは、中間財務諸表等規則第77条及び第78条第2項の規定に準拠して、「第6 - 3 MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違」でその内容を説明している。

原文（英文）の連結中間財務書類及び個別中間財務書類は監査を受けていない。

当行がマレーシアにおいて発行した原文の半期報告書に含まれる中間財務書類は、マレーシア・リンギットで表示されている。円換算額は、中間財務諸表等規則第79条の規定に基づいて便宜のため表示されたものであり、1 マレーシア・リンギット = 31.10円で換算されている。千円単位未満の端数は四捨五入されている。上記の為替相場は、2022年9月1日現在の株式会社三菱UFJ銀行の公表する現地参考為替相場の仲値に基づいて算定したものである。円換算額は、四捨五入のため合計欄の数値が総数と一致しない場合がある。

1 【中間財務書類】

要約財務書類
未監査損益計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
受取利息	A21	4,966,732	4,313,944	9,510,560	8,648,090
支払利息	A22	(1,446,554)	(1,294,016)	(2,663,608)	(2,720,895)
受取利息純額		3,520,178	3,019,928	6,846,952	5,927,195
イスラム金融業務からの収益	A41a	1,765,504	1,959,307	3,435,968	3,843,496
正味既経過保険料	A23	2,268,488	2,166,541	4,624,542	4,695,771
その他の営業収益	A25	366,922	1,150,109	1,313,867	2,165,252
営業収益合計		7,921,092	8,295,885	16,221,329	16,631,714
保険給付金及び支払保険金純額、手数料 費用純額、保険関連負債の変動、並び に生命保険及びタカフルファンドに係 る税金	A26	(1,086,340)	(2,122,136)	(2,917,257)	(3,632,862)
純営業収益		6,834,752	6,173,749	13,304,072	12,998,852
一般管理費	A27	(3,056,075)	(2,920,778)	(6,005,535)	(5,742,444)
減損損失前営業利益		3,778,677	3,252,971	7,298,537	7,256,408
貸出金及びその他の債権に対する減損損 失引当金繰入、純額	A28	(837,547)	(524,783)	(1,280,959)	(1,375,022)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純 額	A29	(320,873)	(43,993)	(448,464)	(126,265)
その他の金融資産に対する減損損失引当 金戻入/(繰入)、純額	A30	2,159	1,582	(23,888)	65,567
営業利益		2,622,416	2,685,777	5,545,226	5,820,688
関連会社及びジョイント・ベンチャーの 利益持分		43,501	40,275	93,016	76,867
税金及びザカート前利益		2,665,917	2,726,052	5,638,242	5,897,555
税金及びザカート	B5	(756,559)	(693,010)	(1,642,296)	(1,436,630)
当期利益		1,909,358	2,033,042	3,995,946	4,460,925
当期利益の帰属:					
当行株主		1,857,247	1,962,526	3,902,140	4,354,656
非支配持分		52,111	70,516	93,806	106,269
		1,909,358	2,033,042	3,995,946	4,460,925
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	15.52セソ	17.05セソ	32.72セソ	38.00セソ

(これらの未監査要約期中間財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査損益計算書**
2022年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円
受取利息	A21	154,465,365	134,163,658	295,778,416	268,955,599
支払利息	A22	(44,987,829)	(40,243,898)	(82,838,209)	(84,619,835)
受取利息純額		109,477,536	93,919,761	212,940,207	184,335,765
イスラム金融業務からの収益	A41a	54,907,174	60,934,448	106,858,605	119,532,726
正味既経過保険料	A23	70,549,977	67,379,425	143,823,256	146,038,478
その他の営業収益	A25	11,411,274	35,768,390	40,861,264	67,339,337
営業収益合計		246,345,961	258,002,024	504,483,332	517,246,305
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	A26	(33,785,174)	(65,998,430)	(90,726,693)	(112,982,008)
純営業収益		212,560,787	192,003,594	413,756,639	404,264,297
一般管理費	A27	(95,043,933)	(90,836,196)	(186,772,139)	(178,590,008)
減損損失前営業利益		117,516,855	101,167,398	226,984,501	225,674,289
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	A28	(26,047,712)	(16,320,751)	(39,837,825)	(42,763,184)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純額	A29	(9,979,150)	(1,368,182)	(13,947,230)	(3,926,842)
その他の金融資産に対する減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	A30	67,145	49,200	(742,917)	2,039,134
営業利益		81,557,138	83,527,665	172,456,529	181,023,397
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分		1,352,881	1,252,553	2,892,798	2,390,564
税金及びザカート前利益		82,910,019	84,780,217	175,349,326	183,413,961
税金及びザカート	B5	(23,528,985)	(21,552,611)	(51,075,406)	(44,679,193)
当期利益		59,381,034	63,227,606	124,273,921	138,734,768
当期利益の帰属:					
当行株主		57,760,382	61,034,559	121,356,554	135,429,802
非支配持分		1,620,652	2,193,048	2,917,367	3,304,966
		59,381,034	63,227,606	124,273,921	138,734,768
一株当たり利益当行株主帰属分					
基本的/希薄化後	B12	4.83円	5.30円	10.18円	11.82円

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
当期利益	1,909,358	2,033,042	3,995,946	4,460,925
その他の包括(損失)/利益:				
純損益にその後に振り替えられることのない項目:				
確定給付制度の年金数理利得/(損失)	3,000	2,684	(1,953)	1,747
税効果	(626)	(1,277)	(626)	(1,277)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融 商品の公正価値の変動に係る正味(損失)/利得	(3,769)	9,409	(4,111)	6,546
	<u>(1,395)</u>	<u>10,816</u>	<u>(6,690)</u>	<u>7,016</u>
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目:				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融 商品に係る正味(損失)/利得	(1,658,597)	702,132	(2,818,453)	(3,002,839)
- 公正価値の変動からの正味(損失)/利得	(2,260,976)	849,113	(4,159,257)	(3,274,237)
- 予想信用損失の変動	(99,034)	36,757	135,157	(435,373)
- 税効果	701,413	(183,738)	1,205,647	706,771
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	580,850	(10,067)	703,895	421,495
純投資ヘッジに係る正味利得/(損失)	-	57	-	(5,085)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	2,613	(5,124)	2,742	(14,884)
資本準備金に係る正味利得	694	74	727	379
関連会社準備金の変動に係る持分	(52,735)	7,986	(189,944)	23,153
	<u>(1,127,175)</u>	<u>695,058</u>	<u>(2,301,033)</u>	<u>(2,577,781)</u>
税引後当期のその他の包括(損失)/利益	<u>(1,128,570)</u>	<u>705,874</u>	<u>(2,307,723)</u>	<u>(2,570,765)</u>
当期の包括利益合計	780,788	2,738,916	1,688,223	1,890,160
当期のその他の包括(損失)/利益の帰属:				
当行株主	(1,086,627)	687,096	(2,239,249)	(2,527,957)
非支配持分	(41,943)	18,778	(68,474)	(42,808)
	<u>(1,128,570)</u>	<u>705,874</u>	<u>(2,307,723)</u>	<u>(2,570,765)</u>
当期の包括利益合計の帰属:				
当行株主	770,620	2,649,622	1,662,891	1,826,699
非支配持分	10,168	89,294	25,332	63,461
	<u>780,788</u>	<u>2,738,916</u>	<u>1,688,223</u>	<u>1,890,160</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

当行グループ	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円
当期利益	59,381,034	63,227,606	124,273,921	138,734,768
その他の包括(損失)/利益:				
純損益にその後に振り替えられることのない項目:				
確定給付制度の年金数理利得/(損失)	93,300	83,472	(60,738)	54,332
税効果	(19,469)	(39,715)	(19,469)	(39,715)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融 商品の公正価値の変動に係る正味(損失)/利得	(117,216)	292,620	(127,852)	203,581
	(43,385)	336,378	(208,059)	218,198
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目:				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融 商品に係る正味(損失)/利得	(51,582,367)	21,836,305	(87,653,888)	(93,388,293)
- 公正価値の変動からの正味(損失)/利得	(70,316,354)	26,407,414	(129,352,893)	(101,828,771)
- 予想信用損失の変動	(3,079,957)	1,143,143	4,203,383	(13,540,100)
- 税効果	21,813,944	(5,714,252)	37,495,622	21,980,578
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	18,064,435	(313,084)	21,891,135	13,108,495
純投資ヘッジに係る正味利得/(損失)	-	1,773	-	(158,144)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	81,264	(159,356)	85,276	(462,892)
資本準備金に係る正味利得	21,583	2,301	22,610	11,787
関連会社準備金の変動に係る持分	(1,640,059)	248,365	(5,907,258)	720,058
	(35,055,143)	21,616,304	(71,562,126)	(80,168,989)
税引後当期のその他の包括(損失)/利益	(35,098,527)	21,952,681	(71,770,185)	(79,950,792)
当期の包括利益合計	24,282,507	85,180,288	52,503,735	58,783,976
当期のその他の包括(損失)/利益の帰属:				
当行株主	(33,794,100)	21,368,686	(69,640,644)	(78,619,463)
非支配持分	(1,304,427)	583,996	(2,129,541)	(1,331,329)
	(35,098,527)	21,952,681	(71,770,185)	(79,950,792)
当期の包括利益合計の帰属:				
当行株主	23,966,282	82,403,244	51,715,910	56,810,339
非支配持分	316,225	2,777,043	787,825	1,973,637
	24,282,507	85,180,288	52,503,735	58,783,976

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査損益計算書**
2022年6月30日に終了した中間会計期間

当行	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2022年	2021年	2022年	2021年
		6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
受取利息	A21	3,290,451	2,930,019	6,225,127	5,828,664
支払利息	A22	(1,109,850)	(827,522)	(1,982,146)	(1,697,973)
受取利息純額		2,180,601	2,102,497	4,242,981	4,130,691
子会社からの配当金	A24	332,507	1,569,620	1,911,527	1,599,454
その他の営業収益	A25	970,518	457,799	1,883,354	1,692,089
		1,303,025	2,027,419	3,794,881	3,291,543
純営業収益		3,483,626	4,129,916	8,037,862	7,422,234
一般管理費	A27	(1,360,133)	(1,312,937)	(2,528,980)	(2,510,005)
減損損失前営業利益		2,123,493	2,816,979	5,508,882	4,912,229
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A28	(999,969)	(103,462)	(1,333,132)	(1,174,346)
金融投資に対する減損損失引当金（繰 入）/戻入、純額	A29	(19,910)	(42,020)	(53,176)	79,301
その他の金融資産に対する減損損失引 当金（繰入）/戻入、純額	A30	(2,272)	201	(19,912)	47,193
税金及びザカート前利益		1,101,342	2,671,698	4,102,662	3,864,377
税金及びザカート	B5	(258,480)	(287,408)	(737,183)	(578,278)
当期利益		842,862	2,384,290	3,365,479	3,286,099

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

**要約財務書類
未監査損益計算書**
2022年6月30日に終了した中間会計期間

当行	注記	第2四半期		6カ月間累計期間	
		2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円
受取利息	A21	102,333,026	91,123,591	193,601,450	181,271,450
支払利息	A22	(34,516,335)	(25,735,934)	(61,644,741)	(52,806,960)
受取利息純額		67,816,691	65,387,657	131,956,709	128,464,490
子会社からの配当金	A24	10,340,968	48,815,182	59,448,490	49,743,019
その他の営業収益	A25	30,183,110	14,237,549	58,572,309	52,623,968
		40,524,078	63,052,731	118,020,799	102,366,987
純営業収益		108,340,769	128,440,388	249,977,508	230,831,477
一般管理費	A27	(42,300,136)	(40,832,341)	(78,651,278)	(78,061,156)
減損損失前営業利益		66,040,632	87,608,047	171,326,230	152,770,322
貸出金及びその他の債権に対する減損 損失引当金繰入、純額	A28	(31,099,036)	(3,217,668)	(41,460,405)	(36,522,161)
金融投資に対する減損損失引当金（繰 入）/戻入、純額	A29	(619,201)	(1,306,822)	(1,653,774)	2,466,261
その他の金融資産に対する減損損失引 当金（繰入）/戻入、純額	A30	(70,659)	6,251	(619,263)	1,467,702
税金及びザカート前利益		34,251,736	83,089,808	127,592,788	120,182,125
税金及びザカート	B5	(8,038,728)	(8,938,389)	(22,926,391)	(17,984,446)
当期利益		26,213,008	74,151,419	104,666,397	102,197,679

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
当期利益	842,862	2,384,290	3,365,479	3,286,099
その他の包括利益/(損失)：				
純損益にその後に振り替えられることのない項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融 商品の公正価値の変動に係る正味利得	160	1,499	1,217	1,190
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融 商品に係る正味(損失)/利得	(1,126,243)	496,418	(1,870,635)	(2,232,713)
- 公正価値の変動からの正味(損失)/利得	(1,535,586)	605,337	(2,906,228)	(2,363,707)
- 予想信用損失の変動	(97,287)	36,158	124,119	(436,339)
- 税効果	506,630	(145,077)	911,474	567,333
外国為替換算に係る正味利得	210,869	4,741	259,627	183,918
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	2,613	(5,124)	2,742	(14,884)
	(912,761)	496,035	(1,608,266)	(2,063,679)
税引後当期のその他の包括(損失)/利得	(912,601)	497,534	(1,607,049)	(2,062,489)
当期の包括(損失)/利益合計	(69,739)	2,881,824	1,758,430	1,223,610

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査包括利益計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円
当行				
当期利益	<u>26,213,008</u>	<u>74,151,419</u>	<u>104,666,397</u>	<u>102,197,679</u>
その他の包括利益/(損失)：				
純損益にその後に振り替えられることのない項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する資本性金融 商品の公正価値の変動に係る正味利得	<u>4,976</u>	<u>46,619</u>	<u>37,849</u>	<u>37,009</u>
純損益にその後に振り替えられる可能性のある項目：				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する負債性金融				
商品に係る正味(損失)/利得	(35,026,157)	15,438,600	(58,176,749)	(69,437,374)
- 公正価値の変動からの正味(損失)/利得	(47,756,725)	18,825,981	(90,383,691)	(73,511,288)
- 予想信用損失の変動	(3,025,626)	1,124,514	3,860,101	(13,570,143)
- 税効果	15,756,193	(4,511,895)	28,346,841	17,644,056
外国為替換算に係る正味利得	6,558,026	147,445	8,074,400	5,719,850
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	81,264	(159,356)	85,276	(462,892)
	<u>(28,386,867)</u>	<u>15,426,689</u>	<u>(50,017,073)</u>	<u>(64,180,417)</u>
税引後当期のその他の包括(損失)/利得	<u>(28,381,891)</u>	<u>15,473,307</u>	<u>(49,979,224)</u>	<u>(64,143,408)</u>
当期の包括(損失)/利益合計	<u><u>(2,168,883)</u></u>	<u><u>89,624,726</u></u>	<u><u>54,687,173</u></u>	<u><u>38,054,271</u></u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2022年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2022年	2021年	2022年	2021年
		6月30日現在	12月31日現在	6月30日現在	12月31日現在
		千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	注記	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
資産					
現金及び短期資金		41,970,189	41,483,926	30,732,419	25,725,348
金融機関預け金		12,918,551	16,037,048	26,802,060	31,482,634
売戻条件付買入金融資産		13,837,528	13,491,753	13,023,390	12,079,652
当初認識時に純損益を通じて公正価値 で測定するものとして指定された金融 資産	A10()	12,707,917	13,181,866	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金 融投資	A10()	25,944,074	27,775,493	13,688,010	14,003,854
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融投資	A10()	122,888,169	122,393,954	72,984,999	70,663,061
償却原価で測定する金融投資	A10()	69,229,354	60,532,190	46,906,886	41,574,896
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11()	957,838	1,048,566	29,541,967	30,836,296
顧客向貸出金及びその他の債権	A11()	562,012,786	540,839,323	217,751,069	209,286,971
デリバティブ資産	A37	18,129,973	12,757,475	17,707,569	12,498,439
再保険資産/再タカフル資産及びその他 の保険債権	A12	7,245,016	7,515,864	-	-
その他の資産	A13	11,602,047	8,644,931	4,702,392	3,550,530
投資不動産		975,066	975,048	-	-
中央銀行への法定預け金		7,692,630	7,514,129	1,979,261	1,695,478
子会社への投資		-	-	33,212,047	33,205,773
関連会社及びジョイント・ベンチャー に対する持分		2,388,853	2,491,435	438,859	440,730
有形固定資産		2,097,770	2,129,989	870,527	882,119
使用権資産		1,199,364	1,170,564	552,473	550,126
無形資産		6,766,950	6,683,461	391,469	406,681
繰延税金資産		2,815,815	1,505,378	1,288,861	468,101
資産合計		923,379,890	888,172,393	512,574,258	489,350,689
負債					
顧客の資金：					
- 顧客預金	A14	608,154,701	588,967,633	280,541,468	276,558,866
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	28,935,097	28,720,799	-	-
金融機関預り金	A15	47,319,311	36,583,073	51,260,931	41,567,510
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		10,018,896	7,873,717	29,669,551	24,785,841
デリバティブ負債	A37	19,578,399	12,638,175	18,728,965	12,374,656
純損益を通じて公正価値で測定する金 融負債	A16	9,242,296	10,696,966	9,242,296	10,696,966
支払手形及び銀行引受手形		1,184,831	1,077,986	452,287	430,450
保険契約負債/タカフル契約負債及びそ の他の保険債務	A18	41,041,754	42,093,615	-	-
その他の負債	A19	25,037,488	21,502,096	14,367,219	8,882,522
税金及びザカート引当金		830,184	311,385	242,259	-
繰延税金負債		399,842	539,066	-	-
借入金	A17()	31,187,075	35,548,352	23,318,991	28,289,884
劣後債務	A17()	10,235,992	10,239,277	9,825,205	9,827,722
資本性証券	A17()	2,828,797	2,827,832	2,828,797	2,827,832
負債合計		835,994,663	799,619,972	440,477,969	416,242,249

¹ 顧客の投資口座は、注記A41eに開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2022年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
		2022年 6月30日現在 千円	2021年 12月31日現在 千円	2022年 6月30日現在 千円	2021年 12月31日現在 千円
注記					
資産					
現金及び短期資金		1,305,272,878	1,290,150,099	955,778,231	800,058,323
金融機関預け金		401,766,936	498,752,193	833,544,066	979,109,917
売戻条件付買入金融資産		430,347,121	419,593,518	405,027,429	375,677,177
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産	A10()	395,216,219	409,956,033	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	A10()	806,860,701	863,817,832	425,697,111	435,519,859
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	A10()	3,821,822,056	3,806,451,969	2,269,833,469	2,197,621,197
償却原価で測定する金融投資	A10()	2,153,032,909	1,882,551,109	1,458,804,155	1,292,979,266
金融機関向貸出金及びその他の債権	A11()	29,788,762	32,610,403	918,755,174	959,008,806
顧客向貸出金及びその他の債権	A11()	17,478,597,645	16,820,102,945	6,772,058,246	6,508,824,798
デリバティブ資産	A37	563,842,160	396,757,473	550,705,396	388,701,453
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権	A12	225,319,998	233,743,370	-	-
その他の資産	A13	360,823,662	268,857,354	146,244,391	110,421,483
投資不動産		30,324,553	30,323,993	-	-
中央銀行への法定預け金		239,240,793	233,689,412	61,555,017	52,729,366
子会社への投資		-	-	1,032,894,662	1,032,699,540
関連会社及びジョイント・ベンチャーに対する持分		74,293,328	77,483,629	13,648,515	13,706,703
有形固定資産		65,240,647	66,242,658	27,073,390	27,433,901
使用権資産		37,300,220	36,404,540	17,181,910	17,108,919
無形資産		210,452,145	207,855,637	12,174,686	12,647,779
繰延税金資産		87,571,847	46,817,256	40,083,577	14,557,941
資産合計		28,717,114,579	27,622,161,422	15,941,059,424	15,218,806,428
負債					
顧客の資金：					
- 顧客預金	A14	18,913,611,201	18,316,893,386	8,724,839,655	8,600,980,733
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	899,881,517	893,216,849	-	-
金融機関預り金	A15	1,471,630,572	1,137,733,570	1,594,214,954	1,292,749,561
買戻条件付売渡金融資産に関する債務		311,587,666	244,872,599	922,723,036	770,839,655
デリバティブ負債	A37	608,888,209	393,047,243	582,470,812	384,851,802
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	A16	287,435,406	332,675,643	287,435,406	332,675,643
支払手形及び銀行引受手形		36,848,244	33,525,365	14,066,126	13,386,995
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務	A18	1,276,398,549	1,309,111,427	-	-
その他の負債	A19	778,665,877	668,715,186	446,820,511	276,246,434
税金及びザカート引当金		25,818,722	9,684,074	7,534,255	-
繰延税金負債		12,435,086	16,764,953	-	-
借入金	A17()	969,918,033	1,105,553,747	725,220,620	879,815,392
劣後債務	A17()	318,339,351	318,441,515	305,563,876	305,642,154
資本性証券	A17()	87,975,587	87,945,575	87,975,587	87,945,575
負債合計		25,999,434,019	24,868,181,129	13,698,864,836	12,945,133,944

¹ 顧客の投資口座は、注記A41eに開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

要約財務書類
未監査財政状態計算書 2022年 6 月30日現在

		当行グループ		当行	
	注記	2022年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット
当行株主に帰属する資本					
株式資本		53,913,584	53,156,473	53,913,584	53,156,473
信託保有株式		(1,274)	(1,274)	(1,274)	(1,274)
利益剰余金		29,058,182	29,629,726	14,710,971	15,236,418
準備金		1,727,854	3,026,497	3,473,008	4,716,823
		84,698,346	85,811,422	72,096,289	73,108,440
非支配持分		2,686,881	2,740,999	-	-
		87,385,227	88,552,421	72,096,289	73,108,440
負債及び株主資本合計		923,379,890	888,172,393	512,574,258	489,350,689
コミットメント及び偶発事象	A35	1,390,847,001	1,176,244,045	1,280,511,238	1,081,179,600
自己資本充実度	A36				
当行グループ及び当行の自己資本比率 は以下の通りである。					
普通株式等Tier 1自己資本比率		14.975%	16.090%	14.071%	15.462%
Tier 1自己資本比率		15.675%	16.810%	14.806%	16.223%
総自己資本比率		18.344%	19.518%	17.296%	18.785%
		マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット	マレーシア・ リンギット
当行株主に帰属する一株当たり純資産		7.08	7.22	6.02	6.15

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査財政状態計算書2022年 6 月30日現在

注記	当行グループ		当行	
	2022年 6 月30日現在 千円	2021年 12月31日現在 千円	2022年 6 月30日現在 千円	2021年 12月31日現在 千円
当行株主に帰属する資本				
株式資本	1,676,712,462	1,653,166,310	1,676,712,462	1,653,166,310
信託保有株式	(39,621)	(39,621)	(39,621)	(39,621)
利益剰余金	903,709,460	921,484,479	457,511,198	473,852,600
準備金	53,736,259	94,124,057	108,010,549	146,693,195
	<u>2,634,118,561</u>	<u>2,668,735,224</u>	<u>2,242,194,588</u>	<u>2,273,672,484</u>
非支配持分	83,561,999	85,245,069	-	-
	<u>2,717,680,560</u>	<u>2,753,980,293</u>	<u>2,242,194,588</u>	<u>2,273,672,484</u>
負債及び株主資本合計	28,717,114,579	27,622,161,422	15,941,059,424	15,218,806,428
コミットメント及び偶発事象	43,255,341,731	36,581,189,800	39,823,899,502	33,624,685,560
自己資本充実度	A36			
当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。				
普通株式等Tier 1自己資本比率	14.975%	16.090%	14.071%	15.462%
Tier 1自己資本比率	15.675%	16.810%	14.806%	16.223%
総自己資本比率	<u>18.344%</u>	<u>19.518%</u>	<u>17.296%</u>	<u>18.785%</u>
	円	円	円	円
当行株主に帰属する一株当たり純資産	<u>220.19</u>	<u>224.54</u>	<u>187.22</u>	<u>191.27</u>

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本	信託保有株式	法定準備金	規制準備金	FVTOCI 評価差額準備金	外国為替 換算準備金	ESGP準備金	その他の準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
当行グループ												
2022年 1 月 1 日現在	53,156,473	(1,274)	332,372	1,315,261	1,234,705	351,277	94,006	(301,124)	29,629,726	85,811,422	2,740,999	88,552,421
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	3,902,140	3,902,140	93,806	3,995,946
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(2,725,485)	486,018	-	218	-	(2,239,249)	(68,474)	(2,307,723)
確定給付制度の年金数理(損失)/利得	-	-	-	-	-	-	-	(3,216)	-	(3,216)	637	(2,579)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	-	41,354	(231,298)	-	-	-	(189,944)	-	(189,944)
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	-	-	-	-	-	717,316	-	-	-	717,316	(13,421)	703,895
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(2,766,839)	-	-	-	-	(2,766,839)	(55,725)	(2,822,564)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	-	2,742	-	2,742	-	2,742
資本準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-	-	692	-	692	35	727
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(2,725,485)	486,018	-	218	3,902,140	1,662,891	25,332	1,688,223
次頁への繰越額	53,156,473	(1,274)	332,372	1,315,261	(1,490,780)	837,295	94,006	(300,906)	33,531,866	87,474,313	2,766,331	90,240,644

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

<=====当行株主に帰属=====>
<=====分配不能部分=====>

当行グループ	株式資本 千円	信託保有株式 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
2022年1月1日現在	1,653,166,310	(39,621)	10,336,769	40,904,617	38,399,326	10,924,715	2,923,587	(9,364,956)	921,484,479	2,668,735,224	85,245,069	2,753,980,293
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	121,356,554	121,356,554	2,917,367	124,273,921
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(84,762,584)	15,115,160	-	6,780	-	(69,640,644)	(2,129,541)	(71,770,185)
確定給付制度の年金数理(損失)/利得	-	-	-	-	-	-	-	(100,018)	-	(100,018)	19,811	(80,207)
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	-	1,286,109	(7,193,368)	-	-	-	(5,907,258)	-	(5,907,258)
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	-	-	-	-	-	22,308,528	-	-	-	22,308,528	(417,393)	21,891,135
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(86,048,693)	-	-	-	-	(86,048,693)	(1,733,048)	(87,781,740)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	-	85,276	-	85,276	-	85,276
資本準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-	-	21,521	-	21,521	1,089	22,610
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(84,762,584)	15,115,160	-	6,780	121,356,554	51,715,910	787,825	52,503,735
次頁への繰越額	1,653,166,310	(39,621)	10,336,769	40,904,617	(46,363,258)	26,039,875	2,923,587	(9,358,177)	1,042,841,033	2,720,451,134	86,032,894	2,806,484,028

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

	< ===== 当行株主に帰属 ===== >											
	< ===== 分配不能部分 ===== >											
	株式資本 千マレーシア・ リンギット	信託保有株式 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）												
前頁からの繰越額	53,156,473	(1,274)	332,372	1,315,261	(1,490,780)	837,295	94,006	(300,906)	33,531,866	87,474,313	2,766,331	90,240,644
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味損失	-	-	-	-	1,999	-	-	-	(1,999)	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-	35,862	-	-	35,862	-	35,862
非支配持分からの取得/への売却による正味 の影響	-	-	-	-	-	-	-	-	(5,386)	(5,386)	9,076	3,690
法定準備金への振替	-	-	90,961	-	-	-	-	-	(90,961)	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	-	811,784	-	-	-	-	(811,784)	-	-	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行 (注記A8(i)(a))	757,111	-	-	-	-	-	-	-	-	757,111	-	757,111
支払配当金（注記A9）	-	-	-	-	-	-	-	-	(3,563,554)	(3,563,554)	(88,526)	(3,652,080)
株主との取引/その他の持分変動合計	757,111	-	90,961	811,784	1,999	-	35,862	-	(4,473,684)	(2,775,967)	(79,450)	(2,855,417)
2022年 6 月30日現在	53,913,584	(1,274)	423,333	2,127,045	(1,488,781)	837,295	129,868	(300,906)	29,058,182	84,698,346	2,686,881	87,385,227

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金694.6百万マレーシア・リンギット（税引後）が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >												
< ===== 分配不能部分 ===== >												
当行グループ(続き)	株式資本 千円	信託保有株式 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
前頁からの繰越額	1,653,166,310	(39,621)	10,336,769	40,904,617	(46,363,258)	26,039,875	2,923,587	(9,358,177)	1,042,841,033	2,720,451,134	86,032,894	2,806,484,028
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味損失	-	-	-	-	62,169	-	-	-	(62,169)	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-	1,115,308	-	-	1,115,308	-	1,115,308
非支配持分からの取得/への売却による正味 の影響	-	-	-	-	-	-	-	-	(167,505)	(167,505)	282,264	114,759
法定準備金への振替	-	-	2,828,887	-	-	-	-	-	(2,828,887)	-	-	-
規制準備金への振替	-	-	-	25,246,482	-	-	-	-	(25,246,482)	-	-	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行 (注記A8(i)(a))	23,546,152	-	-	-	-	-	-	-	-	23,546,152	-	23,546,152
支払配当金(注記A9)	-	-	-	-	-	-	-	-	(110,826,529)	(110,826,529)	(2,753,159)	(113,579,688)
株主との取引/その他の持分変動合計	23,546,152	-	2,828,887	25,246,482	62,169	-	1,115,308	-	(139,131,572)	(86,332,574)	(2,470,895)	(88,803,469)
2022年6月30日現在	1,676,712,462	(39,621)	13,165,656	66,151,100	(46,301,089)	26,039,875	4,038,895	(9,358,177)	903,709,460	2,634,118,561	83,561,999	2,717,680,560

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金21,602百万円(税引後)が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法(2013年)に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI 評価差額準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	その他の準備金 ¹ 千マレーシア・ リンギット	利益剰余金 ² 千マレーシア・ リンギット	株主資本合計 千マレーシア・ リンギット	非支配持分 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
<u>当行グループ</u>											
2021年 1 月 1 日現在	48,280,355	317,823	2,115,455	4,572,569	(127,567)	96,186	(312,801)	29,494,627	84,436,647	2,672,980	87,109,627
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	4,354,656	4,354,656	106,269	4,460,925
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(2,983,074)	474,235	-	(19,118)	-	(2,527,957)	(42,808)	(2,570,765)
確定給付制度の年金数理利得	-	-	-	-	-	-	489	-	489	(19)	470
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(25,956)	49,109	-	-	-	23,153	-	23,153
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	-	-	-	-	425,126	-	-	-	425,126	(3,631)	421,495
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(2,957,118)	-	-	-	-	(2,957,118)	(39,175)	(2,996,293)
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(5,085)	-	(5,085)	-	(5,085)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(14,884)	-	(14,884)	-	(14,884)
資本準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-	362	-	362	17	379
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(2,983,074)	474,235	-	(19,118)	4,354,656	1,826,699	63,461	1,890,160
次頁への繰越額	48,280,355	317,823	2,115,455	1,589,495	346,668	96,186	(331,919)	33,849,283	86,263,346	2,736,441	88,999,787

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
2021年 1 月 1 日現在	1,501,519,041	9,884,295	65,790,651	142,206,896	(3,967,334)	2,991,385	(9,728,111)	917,282,900	2,625,979,722	83,129,678	2,709,109,400
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	135,429,802	135,429,802	3,304,966	138,734,768
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(92,773,601)	14,748,709	-	(594,570)	-	(78,619,463)	(1,331,329)	(79,950,792)
確定給付制度の年金数理利得	-	-	-	-	-	-	15,208	-	15,208	(591)	14,617
関連会社準備金に係る持分	-	-	-	(807,232)	1,527,290	-	-	-	720,058	-	720,058
外国為替換算に係る正味利得/(損失)	-	-	-	-	13,221,419	-	-	-	13,221,419	(112,924)	13,108,495
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(91,966,370)	-	-	-	-	(91,966,370)	(1,218,343)	(93,184,712)
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	-	-	-	(158,144)	-	(158,144)	-	(158,144)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(462,892)	-	(462,892)	-	(462,892)
資本準備金に係る正味利得	-	-	-	-	-	-	11,258	-	11,258	529	11,787
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(92,773,601)	14,748,709	-	(594,570)	135,429,802	56,810,339	1,973,637	58,783,976
次頁への繰越額	1,501,519,041	9,884,295	65,790,651	49,433,295	10,781,375	2,991,385	(10,322,681)	1,052,712,701	2,682,790,061	85,103,315	2,767,893,376

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >

< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本	法定準備金	規制準備金	FVTOCI 評価差額準備金	外国為替 換算準備金	ESGP準備金	その他の準備金 ¹	利益剰余金 ²	株主資本合計	非支配持分	資本合計
当行グループ(続き)	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
前頁からの繰越額	48,280,355	317,823	2,115,455	1,589,495	346,668	96,186	(331,919)	33,849,283	86,263,346	2,736,441	88,999,787
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(825)	-	-	-	825	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 (「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	41,031	-	-	41,031	-	41,031
当行グループ内の会社組織の変更による影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25,931	25,931
法定準備金への振替	-	11,538	-	-	-	-	-	(11,538)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(5,362)	-	-	-	-	5,362	-	-	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行	3,433,626	-	-	-	-	-	-	-	3,433,626	-	3,433,626
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(5,527,643)	(5,527,643)	(84,746)	(5,612,389)
株主との取引/その他の持分変動合計	3,433,626	11,538	(5,362)	(825)	-	41,031	-	(5,532,994)	(2,052,986)	(58,815)	(2,111,801)
2021年6月30日現在	51,713,981	329,361	2,110,093	1,588,670	346,668	137,217	(331,919)	28,316,289	84,210,360	2,677,626	86,887,986

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金695.6百万マレーシア・リンギット(税引後)が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法(2013年)に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査連結持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

< ===== 当行株主に帰属 ===== >
< ===== 分配不能部分 ===== >

	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI 評価差額準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	その他の準備金 ¹ 千円	利益剰余金 ² 千円	株主資本合計 千円	非支配持分 千円	資本合計 千円
当行グループ（続き）											
前頁からの繰越額	1,501,519,041	9,884,295	65,790,651	49,433,295	10,781,375	2,991,385	(10,322,681)	1,052,712,701	2,682,790,061	85,103,315	2,767,893,376
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(25,658)	-	-	-	25,658	-	-	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度 （「ESGP」）に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	1,276,064	-	-	1,276,064	-	1,276,064
当行グループ内の会社組織の変更による 影響	-	-	-	-	-	-	-	-	-	806,454	806,454
法定準備金への振替	-	358,832	-	-	-	-	-	(358,832)	-	-	-
規制準備金からの振替	-	-	(166,758)	-	-	-	-	166,758	-	-	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行	106,785,769	-	-	-	-	-	-	-	106,785,769	-	106,785,769
支配配当金	-	-	-	-	-	-	-	(171,909,697)	(171,909,697)	(2,635,601)	(174,545,298)
株主との取引/その他の持分変動合計	106,785,769	358,832	(166,758)	(25,658)	-	1,276,064	-	(172,076,113)	(63,847,865)	(1,829,147)	(65,677,011)
2021年 6 月30日現在	1,608,304,809	10,243,127	65,623,892	49,407,637	10,781,375	4,267,449	(10,322,681)	880,636,588	2,618,942,196	83,274,169	2,702,216,365

- 1 その他の準備金の内訳及び変動の詳細は注記A20に開示されている。
- 2 当行グループの利益剰余金には、保険子会社の分配不能な剰余金21,633百万円（税引後）が含まれる。この分配不能な剰余金は、金融サービス法（2013年）に従って選任された数理人が推奨する金額でのみ株主へ分配可能である。

（これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。）

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

	当行株主帰属									
	分配不能部分									
	株式資本 千マレーシア・ リングgit	信託保有株式 千マレーシア・ リングgit	法定準備金 千マレーシア・ リングgit	規制準備金 千マレーシア・ リングgit	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リングgit	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リングgit	ESGP準備金 千マレーシア・ リングgit	公正価値ヘッジ 準備金 千マレーシア・ リングgit	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リングgit	資本合計 千マレーシア・ リングgit
当行										
2022年 1 月 1 日現在	53,156,473	(1,274)	74,696	1,180,201	930,283	2,430,642	94,006	6,995	15,236,418	73,108,440
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	3,365,479	3,365,479
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(1,869,418)	259,627	-	2,742	-	(1,607,049)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	-	259,627	-	-	-	259,627
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(1,869,418)	-	-	-	-	(1,869,418)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	-	2,742	-	2,742
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(1,869,418)	259,627	-	2,742	3,365,479	1,758,430
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-	35,862	-	-	35,862
法定準備金への振替	-	-	427	-	-	-	-	-	(427)	-
規制準備金への振替	-	-	-	326,945	-	-	-	-	(326,945)	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行(注記A8(i)(a))	757,111	-	-	-	-	-	-	-	-	757,111
支払配当金(注記A9)	-	-	-	-	-	-	-	-	(3,563,554)	(3,563,554)
株主との取引/その他の持分変動合計	757,111	-	427	326,945	-	-	35,862	-	(3,890,926)	(2,770,581)
2022年 6 月30日現在	53,913,584	(1,274)	75,123	1,507,146	(939,135)	2,690,269	129,868	9,737	14,710,971	72,096,289

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

	当行株主帰属									
	分配不能部分									
当行	株式資本 千円	信託保有株式 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価差額 準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値ヘッジ 準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2022年 1 月 1 日現在	1,653,166,310	(39,621)	2,323,046	36,704,251	28,931,801	75,592,966	2,923,587	217,545	473,852,600	2,273,672,484
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	-	104,666,397	104,666,397
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	-	(58,138,900)	8,074,400	-	85,276	-	(49,979,224)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	-	8,074,400	-	-	-	8,074,400
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	-	-	(58,138,900)	-	-	-	-	(58,138,900)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	-	85,276	-	85,276
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	-	(58,138,900)	8,074,400	-	85,276	104,666,397	54,687,173
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	-	1,115,308	-	-	1,115,308
法定準備金への振替	-	-	13,280	-	-	-	-	-	(13,280)	-
規制準備金への振替	-	-	-	10,167,990	-	-	-	-	(10,167,990)	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行(注記A8(i)(a))	23,546,152	-	-	-	-	-	-	-	-	23,546,152
支払配当金(注記A9)	-	-	-	-	-	-	-	-	(110,826,529)	(110,826,529)
株主との取引/その他の持分変動合計	23,546,152	-	13,280	10,167,990	-	-	1,115,308	-	(121,007,799)	(86,165,069)
2022年 6 月30日現在	1,676,712,462	(39,621)	2,336,325	46,872,241	(29,207,099)	83,667,366	4,038,895	302,821	457,511,198	2,242,194,588

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

	< ===== 当行株主帰属 ===== >								
	< ===== 分配不能部分 ===== >								
	株式資本 千マレーシア・ リンギット	法定準備金 千マレーシア・ リンギット	規制準備金 千マレーシア・ リンギット	FVTOCI評価差額 準備金 千マレーシア・ リンギット	外国為替 換算準備金 千マレーシア・ リンギット	ESGP準備金 千マレーシア・ リンギット	公正価値ヘッジ 準備金 千マレーシア・ リンギット	分配可能な 利益剰余金 千マレーシア・ リンギット	資本合計 千マレーシア・ リンギット
当行									
2021年 1 月 1 日現在	48,280,355	69,518	1,495,500	3,261,447	2,241,350	96,186	12,805	16,809,095	72,266,256
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	3,286,099	3,286,099
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(2,231,523)	183,918	-	(14,884)	-	(2,062,489)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	183,918	-	-	-	183,918
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(2,231,523)	-	-	-	-	(2,231,523)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(14,884)	-	(14,884)
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(2,231,523)	183,918	-	(14,884)	3,286,099	1,223,610
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(778)	-	-	-	778	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	41,031	-	-	41,031
法定準備金への振替	-	4,588	-	-	-	-	-	(4,588)	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行	3,433,626	-	-	-	-	-	-	-	3,433,626
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(5,527,643)	(5,527,643)
株主との取引/その他の持分変動合計	3,433,626	4,588	-	(778)	-	41,031	-	(5,531,453)	(2,052,986)
2021年 6 月30日現在	51,713,981	74,106	1,495,500	1,029,146	2,425,268	137,217	(2,079)	14,563,741	71,436,880

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査持分変動計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

当行	< ===== 当行株主帰属 ===== >								
	< ===== 分配不能部分 ===== >								
	株式資本 千円	法定準備金 千円	規制準備金 千円	FVTOCI評価差額 準備金 千円	外国為替 換算準備金 千円	ESGP準備金 千円	公正価値ヘッジ 準備金 千円	分配可能な 利益剰余金 千円	資本合計 千円
2021年 1 月 1 日現在	1,501,519,041	2,162,010	46,510,050	101,431,002	69,705,985	2,991,385	398,236	522,762,855	2,247,480,562
当期利益	-	-	-	-	-	-	-	102,197,679	102,197,679
その他の包括(損失)/利益	-	-	-	(69,400,365)	5,719,850	-	(462,892)	-	(64,143,408)
外国為替換算に係る正味利得	-	-	-	-	5,719,850	-	-	-	5,719,850
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	-	(69,400,365)	-	-	-	-	(69,400,365)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	-	-	-	(462,892)	-	(462,892)
当期包括(損失)/利益合計	-	-	-	(69,400,365)	5,719,850	-	(462,892)	102,197,679	38,054,271
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	-	-	-	(24,196)	-	-	-	24,196	-
メイバンク・グループ従業員株式付与制度(「ESGP」)に基づく株式報酬	-	-	-	-	-	1,276,064	-	-	1,276,064
法定準備金への振替	-	142,687	-	-	-	-	-	(142,687)	-
配当金再投資制度(DRP)に基づく株式の発行	106,785,769	-	-	-	-	-	-	-	106,785,769
支払配当金	-	-	-	-	-	-	-	(171,909,697)	(171,909,697)
株主との取引/その他の持分変動合計	106,785,769	142,687	-	(24,196)	-	1,276,064	-	(172,028,188)	(63,847,865)
2021年 6 月30日現在	1,608,304,809	2,304,697	46,510,050	32,006,441	75,425,835	4,267,449	(64,657)	452,932,345	2,221,686,968

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2022年 6 月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2022年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	5,638,242	5,897,555	4,102,662	3,864,377
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	(93,016)	(76,867)	-	-
有形固定資産の減価償却費	146,244	150,336	39,102	47,293
使用権資産の減価償却費	220,177	227,024	56,141	55,184
無形資産の償却費	138,695	145,894	37,450	31,306
有形固定資産の処分(益)/損	(2,944)	938	(442)	1,164
子会社の清算に係る正味損失	-	7,143	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に係る正味 損失/(利得)	195,340	(73,330)	122,023	12,338
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分 に係る正味利得	(3,133)	(461,521)	(7,706)	(338,740)
償却原価で測定する金融投資の償還に係る正味損失	1,610	-	1,610	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリバティブ の再評価に係る未実現損失	3,155,388	914,356	1,897,631	137,841
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価に係る未 実現利得	(2,334,807)	(797,107)	(2,334,807)	(797,107)
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	1,497,144	1,502,089	1,452,718	1,229,175
その他の債務に対する減損損失引当金繰入/(戻入)	1,010	4,829	(583)	678
金融投資に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	448,464	126,265	53,176	(79,301)
その他の金融資産に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	23,888	(65,567)	19,912	(47,193)
受取配当金	(95,401)	(90,008)	(1,915,714)	(1,603,641)
ESGP費用	48,149	56,589	25,049	30,140
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	164,002	131,762	(15,033)	(59,127)
運転資本増減前営業利益	9,149,052	7,600,380	3,533,189	2,484,387
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金の増減	3,564,603	9,797,535	60,675	8,871,052
当初の満期が3カ月超となる預金及び金融機関預け金の増減	24,599	(6,580,164)	2,071,206	(8,007,921)
金融投資ポートフォリオの増減	(13,375,793)	2,096,239	(10,138,221)	10,759,343
貸出金及びその他の債権の増減	(20,374,212)	(13,694,087)	(7,758,096)	(7,395,476)
中央銀行への法定預け金の増減	(178,876)	35,385	(283,783)	(190,399)
顧客預金の増減	17,835,910	19,326,541	3,699,310	16,012,001
顧客の投資口座の増減	214,298	1,634,998	-	-
金融機関預り金の増減	10,736,238	2,099,434	9,693,421	2,396,930
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	132,133	18,520	132,133	18,520
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権の増減	269,710	(1,629,111)	-	-
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務の増減	(1,051,860)	2,541,711	-	-
その他営業活動に係る増減	2,326,324	431,621	7,545,708	(5,736,022)
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	9,272,126	23,679,002	8,555,542	19,212,415
税金及びザカート支払額	(1,241,258)	(1,260,969)	(411,881)	(365,649)
営業活動から生じた正味キャッシュ・フロー	8,030,868	22,418,033	8,143,661	18,846,766

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金及びザカート前利益	175,349,326	183,413,961	127,592,788	120,182,125
調整:				
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	(2,892,798)	(2,390,564)	-	-
有形固定資産の減価償却費	4,548,188	4,675,450	1,216,072	1,470,812
使用権資産の減価償却費	6,847,505	7,060,446	1,745,985	1,716,222
無形資産の償却費	4,313,415	4,537,303	1,164,695	973,617
有形固定資産の処分(益)/損	(91,558)	29,172	(13,746)	36,200
子会社の清算に係る正味損失	-	222,147	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の処分に係る正味損失/(利得)	6,075,074	(2,280,563)	3,794,915	383,712
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資の処分に係る正味利得	(97,436)	(14,353,303)	(239,657)	(10,534,814)
償却原価で測定する金融投資の償還に係る正味損失	50,071	-	50,071	-
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及びデリバティブの再評価に係る未実現損失	98,132,567	28,436,472	59,016,324	4,286,855
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の再評価に係る未実現利得	(72,612,498)	(24,790,028)	(72,612,498)	(24,790,028)
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額	46,561,178	46,714,968	45,179,530	38,227,343
その他の債務に対する減損損失引当金繰入/(戻入)	31,411	150,182	(18,131)	21,086
金融投資に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	13,947,230	3,926,842	1,653,774	(2,466,261)
その他の金融資産に対する減損損失引当金繰入/(戻入)、純額	742,917	(2,039,134)	619,263	(1,467,702)
受取配当金	(2,966,971)	(2,799,249)	(59,578,705)	(49,873,235)
ESGP費用	1,497,434	1,759,918	779,024	937,354
営業外項目及び非現金項目に係るその他の調整	5,100,462	4,097,798	(467,526)	(1,838,850)
運転資本増減前営業利益	284,535,517	236,371,818	109,882,178	77,264,436
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金の増減	110,859,153	304,703,339	1,886,993	275,889,717
当初の満期が3カ月超となる預金及び金融機関預け金の増減	765,029	(204,643,100)	64,414,507	(249,046,343)
金融投資ポートフォリオの増減	(415,987,162)	65,193,033	(315,298,673)	334,615,567
貸出金及びその他の債権の増減	(633,637,993)	(425,886,106)	(241,276,786)	(229,999,304)
中央銀行への法定預け金の増減	(5,563,044)	1,100,474	(8,825,651)	(5,921,409)
顧客預金の増減	554,696,801	601,055,425	115,048,541	497,973,231
顧客の投資口座の増減	6,664,668	50,848,438	-	-
金融機関預り金の増減	333,897,002	65,292,397	301,465,393	74,544,523
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債の増減	4,109,336	575,972	4,109,336	575,972
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権の増減	8,387,981	(50,665,352)	-	-
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務の増減	(32,712,846)	79,047,212	-	-
その他営業活動に係る増減	72,348,676	13,423,413	234,671,519	(178,390,284)
営業活動から生じたキャッシュ・フロー	288,363,119	736,416,962	266,077,356	597,506,107
税金及びザカート支払額	(38,603,124)	(39,216,136)	(12,809,499)	(11,371,684)
営業活動から生じた正味キャッシュ・フロー	249,759,995	697,200,826	253,267,857	586,134,423

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
- 金融投資ポートフォリオ	95,401	90,008	4,187	4,187
- 子会社	-	-	1,911,527	1,599,454
有形固定資産の購入	(96,943)	(92,767)	(21,038)	(7,671)
無形資産の購入	(103,385)	(105,952)	(22,857)	(36,481)
投資不動産の購入	(129)	(266)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(4,460)	(706,740)
有形固定資産の処分による収入	7,161	2,915	1,924	119
非支配持分との取引による正味影響額	3,690	25,929	-	-
関連会社の構造の変更による正味影響額	-	-	(1,814)	-
投資活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ・フロー	(94,205)	(80,133)	1,867,469	852,868
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入	757,111	3,433,626	757,111	3,433,626
借入(返済)/実行による収入、純額	(4,498,022)	(859,109)	(4,980,542)	(4,445,125)
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の発行	-	1,390,585	-	1,390,585
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の償還	-	(1,393,899)	-	(1,393,899)
リース負債の返済	(101,105)	(99,544)	(37,169)	(35,608)
支払配当金	(3,563,554)	(5,911,971)	(3,563,554)	(5,911,971)
非支配持分への配当金の支払額	(88,526)	(84,746)	-	-
財務活動に使用した正味キャッシュ・フロー	(7,494,096)	(3,525,058)	(7,824,154)	(6,962,392)
現金及び現金同等物の正味増加額	442,567	18,812,842	2,186,976	12,737,242
期首現在の現金及び現金同等物	51,882,143	43,813,448	35,122,120	27,902,551
外国為替換算レートの変動による影響	513,527	604,560	272,589	417,813
期末現在の現金及び現金同等物	52,838,237	63,230,850	37,581,685	41,057,606
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	41,993,902	56,946,091	30,744,463	32,218,928
金融機関預け金	12,928,270	13,296,159	26,807,991	19,458,961
	54,922,172	70,242,250	57,552,454	51,677,889
控除:				
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金並びに預金及び金融機関預け金	(2,083,935)	(7,011,400)	(19,970,769)	(10,620,283)
期末現在の現金及び現金同等物	52,838,237	63,230,850	37,581,685	41,057,606

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

要約財務書類
未監査キャッシュ・フロー計算書
2022年6月30日に終了した中間会計期間

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円	2022年 6月30日終了 千円	2021年 6月30日終了 千円
投資活動によるキャッシュ・フロー				
受取配当金の内訳:				
- 金融投資ポートフォリオ	2,966,971	2,799,249	130,216	130,216
- 子会社	-	-	59,448,490	49,743,019
有形固定資産の購入	(3,014,927)	(2,885,054)	(654,282)	(238,568)
無形資産の購入	(3,215,274)	(3,295,107)	(710,853)	(1,134,559)
投資不動産の購入	(4,012)	(8,273)	-	-
既存の子会社の普通株式の追加取得	-	-	(138,706)	(21,979,614)
有形固定資産の処分による収入	222,707	90,657	59,836	3,701
非支配持分との取引による正味影響額	114,759	806,392	-	-
関連会社の構造の変更による正味影響額	-	-	(56,415)	-
投資活動(に使用した)/から生じた正味キャッシュ・フロー	(2,929,776)	(2,492,136)	58,078,286	26,524,195
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式発行による収入	23,546,152	106,785,769	23,546,152	106,785,769
借入(返済)/実行による収入、純額	(139,888,484)	(26,718,290)	(154,894,856)	(138,243,388)
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の発行	-	43,247,194	-	43,247,194
純損益を通じて公正価値で測定される金融負債の償還	-	(43,350,259)	-	(43,350,259)
リース負債の返済	(3,144,366)	(3,095,818)	(1,155,956)	(1,107,409)
支払配当金	(110,826,529)	(183,862,298)	(110,826,529)	(183,862,298)
非支配持分への配当金の支払額	(2,753,159)	(2,635,601)	-	-
財務活動に使用した正味キャッシュ・フロー	(233,066,386)	(109,629,304)	(243,331,189)	(216,530,391)
現金及び現金同等物の正味増加額	13,763,834	585,079,386	68,014,954	396,128,226
期首現在の現金及び現金同等物	1,613,534,647	1,362,598,233	1,092,297,932	867,769,336
外国為替換算レートの変動による影響	15,970,690	18,801,816	8,477,518	12,993,984
期末現在の現金及び現金同等物	1,643,269,171	1,966,479,435	1,168,790,404	1,276,891,547
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び短期資金	1,306,010,352	1,771,023,430	956,152,799	1,002,008,661
金融機関預け金	402,069,197	413,510,545	833,728,520	605,173,687
	1,708,079,549	2,184,533,975	1,789,881,319	1,607,182,348
控除:				
現金及び当初の満期が3カ月超となる短期資金並びに預金及び金融機関預け金	(64,810,379)	(218,054,540)	(621,090,916)	(330,290,801)
期末現在の現金及び現金同等物	1,643,269,171	1,966,479,435	1,168,790,404	1,276,891,547

(これらの未監査要約期中財務書類は、2021年12月31日に終了した事業年度の監査済年次財務書類及び当財務書類に添付の注記と併せて読まれるべきである。)

[次へ](#)

パート A: マレーシア財務報告基準第134号（「MFRS第134号」）期中財務報告に準拠した注記**A1. 作成の基礎**

当行グループ及び当行の未監査要約期中財務書類は、取得原価主義で作成される。ただし、公正価値で計上される資産及び負債であるその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産及び負債、デリバティブ金融商品及び投資不動産を除く。

未監査要約期中財務書類はブルサ・マレーシア証券取引所の上場基準第9章パートK、MFRS第134号「期中財務報告」及びIAS第34号「期中財務報告」の要求事項に準拠して作成されている。

未監査要約期中財務書類は、監査済年次財務書類に必要とされるすべての情報や開示を含んでいないため、2021年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類と併せて読まれるべきである。未監査要約期中財務書類に添付される注記は、2021年12月31日に終了した会計年度以降の当行グループ及び当行の財政状態及び経営成績の変動の理解にとって重要な事象や取引の説明を与えるものである。

当行グループの未監査要約期中財務書類は、イスラム銀行業務及び保険事業の業務を含んでいる。イスラム銀行業務は、一般にシャリア原則に基づく預金の受入れ、貸付及びイスラム証券の取引を指している。保険事業の業務は、損害保険及び生命保険事業の引受け、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業の管理や投資関連業務を指している。

当行グループ及び当行が採用する重要な会計方針及び計算方法は、2022年1月1日以降に開始される会計年度に適用される以下の新マレーシア財務報告基準（「MFRSs」）の改訂の適用を除き、直近の2021年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用したものと一貫している。

- ・ MFRSの年次改善2018 - 2020年サイクル
- ・ MFRS第116号「有形固定資産」の改訂 - 意図した使用の前の収入
- ・ MMFRS第3号「企業結合」の改訂 - 概念フレームワークへの参照
- ・ MFRS第137号「引当金、偶発負債及び偶発資産」の改訂 - 不利な契約 - 契約履行のコスト

上記のMFRSsの改訂の適用による、当行グループ及び当行の財務書類に与える重要な影響はない。

MFRSの年次改善2018 - 2020年サイクル

本改訂は、MFRS第1号「マレーシア財務報告基準の初度適用」のD13項(a)の適用を選択する子会社に対し、親会社のMFRS移行日に基づいて、親会社が計上した金額を用いて換算差額累計額を測定することを認めている。本改訂は、MFRS第1号のD13項(a)の適用を選択する関連会社又はジョイント・ベンチャーに対しても適用される。本改訂は2022年1月1日以降に開始される会計年度から適用され、早期適用も認められている。本改訂が当行グループ及び当行の財務書類に影響を与えることはないの見込んでいる。

MFRS第116号「有形固定資産」の改訂 - 意図した使用の前の収入」

本改訂は企業に、経営者が意図した方法で資産を稼働可能にするために必要な場所及び状態に置くまでの間に生産された項目の売却から生じる収入を、有形固定資産項目の取得原価から控除することを禁止している。その代わりに、企業はそうした項目の売却から生じた収入及びそうした項目の生産コストを純損益に認識する。

本改訂は2022年1月1日以降に開始される会計年度から適用され、企業が本改訂を初めて適用する会計年度において表示される最も古い期間の期首以降に使用可能となった有形固定資産項目に限り遡及的に適用される。本改訂が当行グループ及び当行の財務諸表に影響を与えることはないの見込んでいる。

A1. 作成の基礎（続き）**MFRS第3号「企業結合」の改訂 - 概念フレームワークへの参照**

本改訂は、規定を大きく変更することなく、「財務諸表の作成及び表示に関するフレームワーク」への参照から、2018年3月に公表された「財務報告に関する概念フレームワーク」への参照に置き換えることを意図したものである。

本改訂は、別個に生じたならば、MFRS第137号「引当金、偶発負債及び偶発資産」又はIFRIC第21号「賦課金」が適用される負債及び偶発負債に関して、利益又は損失が発生する可能性があることから、そうした問題を回避するために、MFRS第3号の認識原則に例外措置を追加したものである。

偶発資産に関するMFRS第3号の既存のガイダンスは、「財務書類の作成及び表示に関するフレームワーク」への参照を置き換えても影響がない。

本改訂は、2022年1月1日以降に開始する会計年度から遡及適用され、早期適用も認められている。本改訂が当行グループ及び当行の財務諸表に影響を与えることはないと思込んでいる。

MFRS第137号「引当金、偶発負債及び偶発資産」の改訂 - 不利な契約：契約履行のコスト

本改訂は、契約履行の直接コストには、契約履行のための増分コストと契約履行に直接関連する他のコストの配分の両方を含むことを明確にしている。不利な契約に関する個別の引当金を認識する前に、企業は契約履行に用いた資産に生じた全ての減損損失を認識する。

本改訂は、2022年1月1日以降に開始する会計年度から将来に向かって適用され、早期適用も認められている。本改訂が当行グループ及び当行の財務諸表に影響を与えることはないと思込んでいる。

A2. 重要な会計方針

当行グループ及び当行の2021年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類は、MFRS及び国際財務報告基準（「IFRS」）及び2016年マレーシア会社法の要件に従って作成された。当未監査要約期中財務書類の作成において採用された重要な会計方針は、注記A1に開示の通り、2022年1月1日以降に開始する事業年度から適用されるMFRSsの改訂及びBNMの方針文書の新しい要求事項の適用を除き、2021年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に採用された重要な会計方針と一致している。

A3. 重要な会計上の見積り及び判断

未監査要約期中財務書類を作成するに当たり、経営者には会計方針の適用並びに収益、費用、資産、負債の報告金額及びその開示、並びに偶発債務の開示の報告金額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定を行うことが要求される。これらの見積りや判断は、現在の事象や活動に関して経営者が知る限りの知識に基づいているが、実際の結果は異なる可能性がある。

当未監査要約期中財務書類の作成に当たり、当行グループ及び当行の会計方針の適用のために経営者が行った重要な判断及びその見積りの不確実性の主要な要素は、2021年12月31日に終了した会計年度の監査済年次財務書類に適用されたものと一貫していた。

A4. 前期の監査済年次財務書類に関する監査人の報告書

2021年12月31日に終了した監査済年次財務書類に関する監査人の報告書は無限定適正意見であった。

A5. 季節的又は周期的要素

当行グループ及び当行の業務に対し、2022年6月30日に終了した中間会計期間において、季節的要素と周期的要素のどちらによる重要な影響もなかった。

A6. 性質、規模又は発生による異常項目

2022年6月30日に終了した中間会計期間においては、下記の注記A8に開示したものを除いて、当行グループ及び当行の資産、負債、資本、純利益及びキャッシュ・フローに影響を与える異常項目はなかった。

A7. 見積りの変更

2022年6月30日に終了した中間会計期間において、見積りの重要な変更はなかった。

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動

(i) 下記は、2022年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動である。

(a) 株式資本

当行の株式資本は、2021年12月31日に終了した会計年度に関する7.5マレーシア・センの第2回シングルTier中間配当の選択可能部分に関する配当金再投資制度（「DRP」）から生じた、757,111,833マレーシア・リングットの普通株式91,500,212株の新規発行により、2021年12月31日現在の53,156,472,575マレーシア・リングットから2022年6月30日現在の53,913,584,408マレーシア・リングットに増加した。

2022年6月30日現在の当行の発行済普通株式は11,970,013,430株（2021年12月31日現在：11,878,513,218株）である。

(b) 借入金**当行によるメディアム・ターム・ノートの発行/償還**

通貨	債券の種類	額面価額総額
メディアム・ターム・ノートの発行		
日本円	固定利付債(サムライ債)	30,000.0百万円
人民元	固定利付債	1,440.0百万人民元
メディアム・ターム・ノートの償還		
米ドル	変動利付債	64.0百万米ドル
米ドル	固定利付債	50.0百万米ドル
人民元	固定利付債	1,850.0百万人民元
豪ドル	変動利付債	24.0百万豪ドル
日本円	固定利付債(サムライ債)	39,800.0百万円
香港ドル	固定利付債	909.0百万香港ドル
日本円	固定利付債	22,000.0百万円
人民元	固定利付債(パンダ債)	1,000.0百万人民元

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- (i) 下記は、2022年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループ及び当行の負債性証券及び資本性証券の変動である。(続き)

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
債券の発行		
インドネシア・ルピア	固定利付債	1,600,000.0百万インドネシア・ルピア
債券の償還		
インドネシア・ルピア	固定利付債	1,500,200.0百万インドネシア・ルピア

当行によるコマーシャル・ペーパーの発行

2022年6月30日現在の、当行が発行したコマーシャル・ペーパーの額面ベースの発行残高総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
シンガポール・ドル	固定利付債*	220.8百万シンガポール・ドル
米ドル	固定利付債*	30.0百万米ドル

* 延長可能なマネーマーケット証券

メイバンク・イスラミック・ベルハッドによるイスラム・コマーシャル・ペーパーの発行

2022年6月30日現在の、メイバンク・イスラミック・ベルハッドが発行したイスラム・コマーシャル・ペーパー（ICP）の額面ベースの額面価額総額は以下の通りである。

通貨	債券の種類	額面価額総額
マレーシア・リングgit	ゼロプロフィットICP	8,000.0百万マレーシア・リングgit

- () 2022年6月30日に終了した中間会計期間の財務書類に反映されなかった、2022年6月30日に終了した中間会計期間後の当行グループ及び当行の負債性証券の変動は以下の通りである。

(a) **借入金**

当行によるミディアム・ターム・ノートの発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
ミディアム・ターム・ノートの発行		
米ドル	変動利付債	60.0百万米ドル
ミディアム・ターム・ノートの償還		
豪ドル	変動利付債	12.0百万豪ドル
日本円	固定利付債	2,000.0百万円
香港ドル	固定利付債	600.0百万香港ドル
人民元	固定利付債	480.0百万人民元

A8. 負債性証券及び資本性証券の変動（続き）

- （ ） 2022年6月30日に終了した中間会計期間の財務書類に反映されなかった、2022年6月30日に終了した中間会計期間後の当行グループ及び当行の負債性証券の変動は以下の通りである。（続き）

(a) 借入金（続き）

当行による仕組債の発行

通貨	債券の種類	額面価額総額
仕組債の発行		
シンガポール・ドル	エクイティ・リンク債	0.5百万シンガポール・ドル

ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケー及びその子会社による債券の発行/償還

通貨	債券の種類	額面価額総額
債券の発行		
インドネシア・ルピア	固定利付債	1,000,000.0百万インドネシア・ルピア
債券の償還		
インドネシア・ルピア	固定利付債	1,361,000.0百万インドネシア・ルピア

A9. 支払配当金

2022年6月30日に終了した中間会計期間の支払配当金は以下の通りである。

- (a) 2022年2月24日に当行は、2021年12月31日に終了した会計年度に係る、普通株式一株当たり30.0マレーシア・センの第2回シングルTier中間配当を宣言した。

第2回シングルTier中間配当は、普通株式一株当たり22.5マレーシア・セン（2,672,665,474マレーシア・リングgit）の現金配当の現金部分と、普通株式一株当たり7.5マレーシア・センの選択可能部分（890,888,491マレーシア・リングgit）からなる。この選択可能部分は、DRPに従い普通株式の新株へ再投資することを選択できる。

現金配当の支払とDRPに基づく普通株式への払込は2022年4月14日に完了した。

- (b) 2022年6月30日に終了した中間会計期間において、メイバンクの子会社から非支配持分へ88,526,000マレーシア・リングgitの配当金が支払われた。

A10. 金融投資ポートフォリオ

	注記	当行グループ		当行	
		2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当初認識時に純損益を通じて公 正価値で測定するものとして指 定された金融資産	()	12,707,917	13,181,866	-	-
純損益を通じて公正価値で測定 する金融投資	()	25,944,074	27,775,493	13,688,010	14,003,854
その他の包括利益を通じて公正 価値で測定する金融投資	()	122,888,169	122,393,954	72,984,999	70,663,061
償却原価で測定する金融投資	()	69,229,354	60,532,190	46,906,886	41,574,896
		<u>230,769,514</u>	<u>223,883,503</u>	<u>133,579,895</u>	<u>126,241,811</u>

() 当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するもの(FVTPL)として指定された金融資産

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	333,679	344,976	-	-
マレーシア政府投資証券	401,070	369,397	-	-
	<u>734,749</u>	<u>714,373</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
ユニット・トラスト	3,932	3,932	-	-
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ローン・ストック	1,528	164	-	-
	<u>5,460</u>	<u>4,096</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
社債及びスクーク	11,765,387	12,248,561	-	-
マレーシア国外:				
社債及びスクーク	202,321	214,836	-	-
	<u>11,967,708</u>	<u>12,463,397</u>	<u>-</u>	<u>-</u>
当初認識時にFVTPLとして指定された 金融資産合計	<u>12,707,917</u>	<u>13,181,866</u>	<u>-</u>	<u>-</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 純損益を通じて公正価値で測定する(FVTPL)金融投資

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	985,098	918,886	965,902	918,886
マレーシア政府投資証券	430,002	309,362	377,454	307,855
カガマス債	-	570,931	-	570,931
外国政府証券	4,697,621	3,458,086	4,510,462	2,901,655
マレーシア政府短期証券	927,589	4,079,504	729,638	3,420,385
マレーシア中央銀行手形	1,300,229	614,280	1,300,229	614,280
	<u>8,340,539</u>	<u>9,951,049</u>	<u>7,883,685</u>	<u>8,733,992</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ミューチュアル ファンド、ローン・ストック	6,619,330	7,160,590	-	-
ユニット・トラスト	359,749	486,454	263,165	286,570
社債及びスクーク	60,000	-	-	-
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ミューチュアル ファンド、ローン・ストック	653,325	564,089	-	237
ユニット・トラスト	1,233,132	933,960	275,852	291,503
社債及びスクーク	1,613,558	1,576,604	-	-
政府債	196,288	612,151	-	-
政府短期証券	633,108	568,183	-	-
	<u>11,368,490</u>	<u>11,902,031</u>	<u>539,017</u>	<u>578,310</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式	958,174	967,356	700,280	700,280
ユニット・トラスト	7,226	5,078	-	-
社債及びスクーク	1,612,790	1,014,406	1,019,441	345,271
仕組預金	152,757	186,197	-	-
マレーシア国外:				
株式	375	382	-	-
投資信託	103,879	124,351	-	-
社債及びスクーク	1,802,905	1,761,223	1,948,647	1,782,581
政府債	1,596,939	1,863,420	1,596,940	1,863,420
	<u>6,235,045</u>	<u>5,922,413</u>	<u>5,265,308</u>	<u>4,691,552</u>
FVTPL金融投資合計	<u>25,944,074</u>	<u>27,775,493</u>	<u>13,688,010</u>	<u>14,003,854</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

()その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(FVOCI)金融投資

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
公正価値で計上				
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	11,139,719	10,599,757	10,731,809	10,225,806
マレーシア政府投資証券	19,160,085	19,122,254	7,502,950	7,336,288
譲渡性預金商品	11,367	11,473	-	-
外国政府証券	18,846,037	16,144,063	6,388,315	5,418,045
外国政府短期証券	10,110,000	14,976,441	4,527,499	6,026,800
カザナ債	82,931	283,502	53,060	253,889
カガマス債	201,329	124,727	201,329	124,727
	<u>59,551,468</u>	<u>61,262,217</u>	<u>29,404,962</u>	<u>29,385,555</u>
上場証券:				
マレーシア国内:				
株式、ワラント、ローン・ストック	158,574	79,854	16,922	15,490
マレーシア国外:				
株式、ワラント、ローン・ストック	32	33	-	-
社債及びスクーク	4,274,170	4,432,456	-	-
政府債	759,925	586,530	-	-
	<u>5,192,701</u>	<u>5,098,873</u>	<u>16,922</u>	<u>15,490</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
株式及びローン・ストック	336,452	334,722	321,712	320,093
政府債	700,567	418,458	700,567	418,458
社債及びスクーク	24,619,538	24,329,837	13,725,792	13,149,845
マレーシア国外:				
株式	3,718	3,710	-	-
政府債	18,896,107	17,045,506	18,134,211	16,685,586
社債及びスクーク	13,587,618	13,900,631	10,680,833	10,688,034
	<u>58,144,000</u>	<u>56,032,864</u>	<u>43,563,115</u>	<u>41,262,016</u>
FVOCI金融投資合計	<u>122,888,169</u>	<u>122,393,954</u>	<u>72,984,999</u>	<u>70,663,061</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

()その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(FVOCI)金融投資(続き)

(a)その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2022年 6 月30日現在				
2022年 1 月 1 日現在	31,279	1,766	124,367	157,412
ステージ 2 への移動	(640)	640	-	-
引当金の再測定純額	(2,894)	1,599	159,100	157,805
新たに組成又は購入した金融資産	8,743	207	147,043	155,993
認識が中止された金融資産	(7,063)	-	(154)	(7,217)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(41)	-	-	(41)
保険契約負債/タカフル契約負債に関連した金額	-	-	(105,968)	(105,968)
為替換算差額	570	-	1,487	2,057
2022年 6 月30日現在	29,954	4,212	325,875	360,041

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年12月31日現在				
2021年 1 月 1 日現在	34,819	1,718	107,281	143,818
ステージ 1 への移動	836	(836)	-	-
ステージ 2 への移動	(20)	20	-	-
引当金の再測定純額	(4,556)	715	25,116	21,275
新たに組成又は購入した金融資産	15,504	-	-	15,504
認識が中止された金融資産	(16,007)	-	-	(16,007)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(720)	149	-	(571)
貸倒償却額	-	-	(9,849)	(9,849)
為替換算差額	1,423	-	1,819	3,242
2021年12月31日現在	31,279	1,766	124,367	157,412

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() その他の包括利益を通じて公正価値で測定する(FVOCI)金融投資(続き)

(a) その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2022年 6 月30日現在				
2022年 1 月 1 日現在	17,448	204	96,718	114,370
ステージ 2 への移動	(39)	39	-	-
引当金の再測定純額	(1,302)	(8)	43,681	42,371
新たに組成又は購入した金融資産	4,137	-	147,043	151,180
認識が中止された金融資産	(1,925)	-	-	(1,925)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(41)	-	-	(41)
為替換算差額	176	-	-	176
2022年 6 月30日現在	18,454	235	287,442	306,131

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年12月31日現在				
2021年 1 月 1 日現在	16,676	495	71,056	88,227
ステージ 1 への移動	285	(285)	-	-
引当金の再測定純額	(965)	-	25,628	24,663
新たに組成又は購入した金融資産	8,257	-	-	8,257
認識が中止された金融資産	(7,202)	-	-	(7,202)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(266)	(6)	-	(272)
為替換算差額	663	-	34	697
2021年12月31日現在	17,448	204	96,718	114,370

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 償却原価で測定する金融投資

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
マネーマーケット商品:				
マレーシア政府証券	11,651,331	9,639,927	11,651,229	9,639,825
マレーシア政府投資証券	23,412,751	19,369,681	8,850,607	8,123,415
外国政府証券	2,279,583	2,247,712	-	-
カザナ債	582,986	870,534	45,165	44,133
カガマス債	50,259	50,259	50,259	50,259
	<u>37,976,910</u>	<u>32,178,113</u>	<u>20,597,260</u>	<u>17,857,632</u>
非上場証券:				
マレーシア国内:				
社債及びスーク	28,308,515	26,113,291	22,483,009	20,523,417
マレーシア国外:				
社債及びスーク	2,169,749	2,065,136	3,372,969	3,238,386
政府債	2,043,721	1,303,177	477,107	117,307
	<u>32,521,985</u>	<u>29,481,604</u>	<u>26,333,085</u>	<u>23,879,110</u>
減損損失引当金	<u>(1,269,541)</u>	<u>(1,127,527)</u>	<u>(23,459)</u>	<u>(161,846)</u>
償却原価で測定する金融投資合計	<u><u>69,229,354</u></u>	<u><u>60,532,190</u></u>	<u><u>46,906,886</u></u>	<u><u>41,574,896</u></u>

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
2022年 6月30日現在				
2022年 1月 1日現在	63,701	3,043	1,060,783	1,127,527
ステージ 2 への移動	(386)	386	-	-
引当金の再測定純額	(3,466)	641	280,000	277,175
新たに組成又は購入した金融資産	7,030	-	-	7,030
認識が中止された金融資産	(5,132)	(45)	(136,986)	(142,163)
モデル/リスク・パラメーターの 変動	(118)	-	-	(118)
為替換算差額	90	-	-	90
2022年 6月30日現在	<u>61,719</u>	<u>4,025</u>	<u>1,203,797</u>	<u>1,269,541</u>

A10. 金融投資ポートフォリオ(続き)

() 償却原価で測定する金融投資(続き)

(a) 償却原価で測定する金融投資に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2021年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2021年 1 月 1 日現在	57,578	395,043	95,731	548,352
ステージ 1 への移動	41,742	(41,742)	-	-
ステージ 2 への移動	(256)	256	-	-
引当金の再測定純額	(44,940)	1,277	41,255	(2,408)
新たに組成又は購入した金融資産	12,735	-	923,797	936,532
認識が中止された金融資産	(9,481)	(352,994)	-	(362,475)
モデル/リスク・パラメーターの 変動	6,491	(43)	-	6,448
為替換算差額	(168)	1,246	-	1,078
2021年12月31日現在	63,701	3,043	1,060,783	1,127,527

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2022年 6 月30日現在				千マレーシア・ リンギット
2022年 1 月 1 日現在	24,769	91	136,986	161,846
引当金の再測定純額	(2,823)	(21)	-	(2,844)
新たに組成又は購入した金融資産	6,324	-	-	6,324
認識が中止された金融資産	(4,740)	(45)	(136,986)	(141,771)
モデル/リスク・パラメーターの 変動	(118)	-	-	(118)
為替換算差額	22	-	-	22
2022年 6 月30日現在	23,434	25	-	23,459

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2021年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2021年 1 月 1 日現在	16,077	163,606	95,731	275,414
ステージ 1 への移動	41,396	(41,396)	-	-
引当金の再測定純額	(34,273)	(1,247)	41,255	5,735
新たに組成又は購入した金融資産	9,588	-	-	9,588
認識が中止された金融資産	(8,206)	(122,075)	-	(130,281)
モデル/リスク・パラメーターの 変動	142	(43)	-	99
為替換算差額	45	1,246	-	1,291
2021年12月31日現在	24,769	91	136,986	161,846

A11. 貸出金及びその他の債権

	注記	当行グループ		当行	
		2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
金融機関向貸出金及びその他の債権	()	957,838	1,048,566	29,541,967	30,836,296
顧客向貸出金及びその他の債権	()	562,012,786	540,839,323	217,751,069	209,286,971
		<u>562,970,624</u>	<u>541,887,889</u>	<u>247,293,036</u>	<u>240,123,267</u>
()金融機関向貸出金及びその他の債権 [△] ：					
(A)償却原価で測定する金融機関向 貸出金及びその他の債権		848,881	947,869	30,744,438	31,569,235
(B)その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する金融機関向貸出金及 びその他の債権		<u>115,020</u>	<u>109,156</u>	<u>466,527</u>	<u>572,435</u>
金融機関向貸出金及びその他の債権総 額		963,901	1,057,025	31,210,965	32,141,670
貸出金及びその他の債権に対す る貸倒引当金：					
- ステージ1 - 12カ月ECL		(5,939)	(8,243)	(21,530)	(29,974)
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損 なし)		(124)	(216)	(3,709)	(2,138)
- ステージ3 - 全期間ECL(信用減損 あり)		-	-	(1,643,759)	(1,273,262)
金融機関向貸出金及びその他の債権純 額		<u>957,838</u>	<u>1,048,566</u>	<u>29,541,967</u>	<u>30,836,296</u>
()顧客向貸出金及びその他の債権：					
(A)純損益を通じて公正価値で測定す る顧客向貸出金及びその他の債権		15,904	15,491	15,904	15,491
(B)その他の包括利益を通じて公正価 値で測定する顧客向貸出金及びそ の他の債権		<u>29,271,358</u>	<u>21,653,857</u>	<u>26,173,076</u>	<u>18,728,802</u>
(C)償却原価で測定する顧客向貸出 金及びその他の債権		<u>624,185,221</u>	<u>613,113,365</u>	<u>199,116,834</u>	<u>197,741,786</u>
		<u>653,472,483</u>	<u>634,782,713</u>	<u>225,305,814</u>	<u>216,486,079</u>
前受利息及び前受収益		<u>(79,104,830)</u>	<u>(82,051,176)</u>	<u>(839,118)</u>	<u>(915,563)</u>
顧客向貸出金及びその他の債権総額		<u>574,367,653</u>	<u>552,731,537</u>	<u>224,466,696</u>	<u>215,570,516</u>
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金：					
- ステージ1 - 12カ月ECL		(1,891,530)	(1,886,989)	(782,768)	(775,643)
- ステージ2 - 全期間ECL(信用減損 なし)		(3,244,346)	(3,695,297)	(1,326,301)	(1,412,505)
- ステージ3 - 全期間ECL(信用減損 あり)		<u>(7,218,991)</u>	<u>(6,309,928)</u>	<u>(4,606,558)</u>	<u>(4,095,397)</u>
顧客向貸出金及びその他の債権純額		<u>562,012,786</u>	<u>540,839,323</u>	<u>217,751,069</u>	<u>209,286,971</u>
()及び					
貸出金及びその他の債権純額	()	<u>562,970,624</u>	<u>541,887,889</u>	<u>247,293,036</u>	<u>240,123,267</u>

△ 当行の金融機関向貸出金及び債権には、当行の子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッド（「MIB」）に対する、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環としての、中小企業向け融資を目的とした政府融資制度の988.2百万マレーシア・リンギット(2021年12月31日現在：973.3百万マレーシア・リンギット)に加え、制限付利益分配投資口座（「RPSIA」）に基づく融資が、予想信用損失控除後で28,388.5百万マレーシア・リンギット含まれている（2021年12月31日：29,725.6百万マレーシア・リンギット）。RPSIAはムダラバの原則に基づき融資を行うために二者間で締結される契約であり、当該契約において、当行はMIBに資本を提供する投資家としての役割を果たし、MIBの経営は事業者としてのMIBが行う。MIBの利益は事前に合意した割合に基づき両者間で分配される。損失が発生した場合は当行が負担する。

A11. 貸出金及びその他の債権（続き）

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()金融機関及び顧客向貸出金及びその 他の債権：				
金融機関向貸出金及び債権	963,901	1,057,025	31,210,965	32,141,670
当座貸越/キャッシングローン	17,581,201	17,809,595	6,048,729	6,447,758
タームローン：				
-住宅ローン	189,315,452	185,322,915	45,096,031	44,671,995
-シンジケートローン	56,903,709	52,118,452	48,510,222	43,522,330
-分割払債権	78,784,077	76,148,332	10,245,487	10,873,609
-リース債権	1,466,952	1,029,886	-	-
-その他の貸出金及び債権	209,300,557	207,782,092	60,523,945	59,927,412
クレジットカード債権	9,282,555	8,877,535	6,161,962	5,851,168
受取手形	7,494,885	6,252,903	6,969,427	5,793,747
貨物貸渡	4,584,301	4,207,267	3,786,254	3,507,009
為替引受信用状	11,824,517	10,551,268	5,361,184	4,834,880
リボルビングクレジット	55,814,360	52,871,447	29,516,650	27,947,802
株式信用取引	7,133,474	7,871,901	2,536,321	2,567,777
従業員向貸出	3,919,935	3,860,282	547,957	539,226
貸出金：				
-当行取締役向貸出	4,257	4,019	1,503	1,263
-子会社取締役向貸出	5,890	6,562	132	96
その他	56,361	68,257	10	7
	654,436,384	635,839,738	256,516,779	248,627,749
前受利息及び前受収益	(79,104,830)	(82,051,176)	(839,118)	(915,563)
貸出金及びその他の債権総額	575,331,554	553,788,562	255,677,661	247,712,186
貸出金及びその他の債権に対する 貸倒引当金：				
-ステージ1-12カ月ECL	(1,897,469)	(1,895,232)	(804,298)	(805,617)
-ステージ2-全期間ECL(信用減損 なし)	(3,244,470)	(3,695,513)	(1,330,010)	(1,414,643)
-ステージ3-全期間ECL(信用減損 あり)	(7,218,991)	(6,309,928)	(6,250,317)	(5,368,659)
貸出金及びその他の債権純額	562,970,624	541,887,889	247,293,036	240,123,267

()顧客種類別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
国内金融機関	1,053,758	1,090,278	31,167,328	32,118,949
国内ノンバンク金融機関	22,523,789	19,985,288	17,683,335	15,651,093
国内事業会社：				
-中小企業	74,900,163	67,809,914	29,869,482	27,570,169
-その他	120,915,949	117,257,373	67,260,802	64,111,866
政府及び特殊法人	14,318,919	15,065,405	49,392	102,106
個人	284,536,045	277,550,234	64,874,000	65,225,562
その他の国内企業	13,157,381	12,292,479	4,168,997	3,425,920
外国企業	43,925,550	42,737,591	40,604,325	39,506,521
貸出金及びその他の債権総額	575,331,554	553,788,562	255,677,661	247,712,186

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()地域別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マレーシア	349,872,489	340,633,110	154,658,511	154,888,231
シンガポール	146,803,192	136,157,869	65,997,506	57,977,104
インドネシア	32,841,277	30,870,702	-	-
ラプアン オフショア	10,884,783	11,540,974	10,884,783	11,540,974
香港	15,335,844	14,367,088	14,982,550	13,861,026
米国	1,147,608	1,126,746	1,146,988	1,126,159
中国	5,085,068	5,306,726	5,085,068	5,306,726
ベトナム	1,883,917	1,954,215	1,261,272	1,224,596
英国	972,769	1,056,921	972,769	1,056,921
ブルネイ	523,232	517,548	523,232	517,548
カンボジア	4,173,584	3,629,703	-	-
フィリピン	3,653,847	4,171,922	-	-
タイ	1,988,962	2,242,137	-	-
ラオス	44,445	54,531	44,445	54,531
ミャンマー	120,537	158,370	120,537	158,370
貸出金及びその他の債権総額	<u>575,331,554</u>	<u>553,788,562</u>	<u>255,677,661</u>	<u>247,712,186</u>

()金利/利益率感応度別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
固定金利:				
-住宅ローン	28,462,441	27,783,089	411,791	424,293
-分割払債権	58,217,695	57,178,522	8,596,980	9,167,701
-その他の固定金利貸出金及び債権	67,952,981	67,819,622	52,886,222	53,731,713
変動金利:				
-基準金利型貸出	218,907,755	213,944,494	78,245,793	78,167,458
-スプレッド型貸出	46,525,352	52,608,877	28,587,416	36,365,974
-その他の変動利率	155,265,330	134,453,958	86,949,459	69,855,047
貸出金及びその他の債権総額	<u>575,331,554</u>	<u>553,788,562</u>	<u>255,677,661</u>	<u>247,712,186</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()経済目的別に分析された貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
証券の購入	38,255,438	38,584,740	7,248,752	7,552,785
輸送車両の購入	71,002,778	68,721,416	8,208,095	8,838,525
不動産の購入:				
-住宅	159,093,547	149,867,083	45,609,744	43,575,151
-住宅以外	40,639,745	39,236,803	15,562,500	15,537,724
固定資産の購入(不動産を除く)	3,260,645	3,425,397	2,350,647	2,686,077
個人	9,090,040	9,426,126	3,707,346	3,817,592
クレジットカード	9,380,977	8,987,387	6,189,898	5,883,705
耐久消費財の購入	5,517	6,031	5,017	5,511
建設	14,754,283	17,481,085	8,019,775	10,065,843
合併・買収	2,573,890	1,679,119	2,079,672	1,168,183
運転資金	189,782,391	179,145,946	126,249,093	120,876,904
その他	37,492,303	37,227,429	30,447,122	27,704,186
貸出金及びその他の債権総額	<u>575,331,554</u>	<u>553,788,562</u>	<u>255,677,661</u>	<u>247,712,186</u>

()貸出金及びその他の債権の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
1年以内	131,511,145	131,580,713	83,474,497	80,486,946
1年超3年以内	55,021,821	54,245,220	37,917,174	38,560,663
3年超5年以内	78,086,384	66,393,177	41,899,214	33,574,289
5年超	310,712,204	301,569,452	92,386,776	95,090,288
貸出金及びその他の債権総額	<u>575,331,554</u>	<u>553,788,562</u>	<u>255,677,661</u>	<u>247,712,186</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

()減損した貸出金及びその他の債権(「減損貸出金等」)の変動は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
1月1日現在	11,043,533	11,674,491	10,103,703	7,120,298
期中減損額	2,178,795	4,738,499	803,908	6,261,789
非減損に分類変更された金額	(250,501)	(527,676)	(57,750)	(189,905)
回収額	(1,722,105)	(2,229,305)	(1,304,527)	(1,216,200)
貸倒償却額	(1,179,594)	(3,052,183)	(778,768)	(2,220,193)
為替換算差額	354,438	439,707	295,123	347,914
2022年6月30日/2021年12月31日現在の減損貸出金等総額	10,424,566	11,043,533	9,061,689	10,103,703
控除：ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)	(7,262,270)	(6,426,566)	(6,293,596)	(5,485,297)
2022年6月30日/2021年12月31日現在の減損貸出金等純額	3,162,296	4,616,967	2,768,093	4,618,406

減損貸出金等純額の割合の算出：

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
2022年6月30日/2021年12月31日現在の減損貸出金等総額				
(投資口座による調達 [*] を除く)	10,350,558	10,979,801	9,061,689	10,103,703
控除：ステージ3-全期間ECL(信用減損あり)	(7,262,270)	(6,426,566)	(6,293,596)	(5,485,297)
減損貸出金等純額	3,088,288	4,553,235	2,768,093	4,618,406
貸出金及びその他の債権総額	575,331,554	553,788,562	255,677,661	247,712,186
控除：投資口座による調達 [*]	(28,935,097)	(28,720,799)	-	-
控除：償却原価で測定するその他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権に対する引当金	(12,752,342)	(12,359,557)	(8,773,566)	(8,045,502)
貸出金及びその他の債権純額	533,644,115	512,708,206	246,904,095	239,666,684
減損貸出金等純額の割合	0.58%	0.89%	1.12%	1.93%

*

当行の完全子会社であるメイバンク・イスラミック・ベルハッドの帳簿上、2022年6月30日現在の制限のない投資口座(グループ企業間債権債務残高控除後)は28,935.1百万マレーシア・リングgit(2021年12月31日現在：28,720.8百万マレーシア・リングgit)であった。

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

(x)経済目的別の減損した貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
証券の購入	70,962	66,100	7,694	8,244
輸送車両の購入	324,102	386,319	52,326	58,727
不動産の購入:				
-住宅	845,729	933,740	253,146	295,117
-住宅以外	447,060	415,060	154,546	159,874
固定資産の購入(不動産を除く)	110,791	544,711	90,196	532,943
個人	154,265	165,432	90,565	92,697
クレジットカード	52,610	61,937	21,675	21,832
耐久消費財の購入	3,503	3,553	3,501	3,551
建設	895,670	1,361,798	623,130	1,288,430
運転資金	7,123,290	6,752,548	7,593,112	7,509,586
その他	396,584	352,335	171,798	132,702
減損した貸出金及びその他の債権総額	<u>10,424,566</u>	<u>11,043,533</u>	<u>9,061,689</u>	<u>10,103,703</u>

(xi)地域別の減損した貸出金及びその他の債権は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
マレーシア	4,494,732	4,069,286	5,588,236	5,639,384
シンガポール	985,610	2,257,333	615,700	1,825,988
インドネシア	1,623,628	1,572,988	-	-
ラブアン オフショア	20,184	27,802	20,184	27,802
香港	2,093,290	1,875,164	2,085,035	1,867,305
米国	669,472	636,443	668,850	635,855
中国	26,820	26,670	26,820	26,670
ベトナム	17,862	19,757	17,850	19,325
ブルネイ	39,014	61,345	39,014	61,345
カンボジア	119,800	104,582	-	-
フィリピン	301,960	359,765	-	-
タイ	32,194	32,369	-	-
ラオス	-	29	-	29
減損した貸出金及びその他の債権総額	<u>10,424,566</u>	<u>11,043,533</u>	<u>9,061,689</u>	<u>10,103,703</u>

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

() 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値 で測定	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	
2022年 6 月30日現在				
2022年 1 月 1 日現在	59,713	282,533	116,638	458,884
ステージ 1 への移動	14,475	(14,475)	-	-
ステージ 2 への移動	(257)	257	-	-
ステージ 3 への移動	-	(418)	418	-
引当金の再測定純額	(7,494)	(34,850)	18,060	(24,284)
新たに組成又は購入した金融資産	21,762	-	-	21,762
認識が中止された金融資産	(7,075)	-	(93,916)	(100,991)
モデル/リスク・パラメーターの変動	13,069	12,523	-	25,592
為替換算差額	2,403	5,967	2,079	10,449
2022年 6 月30日現在	96,596	251,537	43,279	391,412

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	
2021年12月31日現在				
2021年 1 月 1 日現在	40,781	776,568	73,445	890,794
ステージ 2 への移動	(1,963)	1,963	-	-
引当金の再測定純額	(2,092)	(501,922)	41,879	(462,135)
新たに組成又は購入した金融資産	24,190	1,345	-	25,535
認識が中止された金融資産	(5,069)	(2,494)	(3)	(7,566)
モデル/リスク・パラメーターの変動	2,798	(5,124)	-	(2,326)
為替換算差額	1,068	12,197	1,317	14,582
2021年12月31日現在	59,713	282,533	116,638	458,884

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
	リンギット	リンギット	リンギット	
2022年 6 月30日現在				
2022年 1 月 1 日現在	57,414	282,531	116,638	456,583
ステージ 1 への移動	14,475	(14,475)	-	-
ステージ 2 への移動	(257)	257	-	-
ステージ 3 への移動	-	(418)	418	-
引当金の再測定純額	(7,785)	(34,850)	18,060	(24,575)
新たに組成又は購入した金融資産	21,762	-	-	21,762
認識が中止された金融資産	(7,049)	-	(93,916)	(100,965)
モデル/リスク・パラメーターの変動	13,188	12,523	-	25,711
為替換算差額	2,380	5,966	2,079	10,425
2022年 6 月30日現在	94,128	251,534	43,279	388,941

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

() 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

その他の包括利益を通じて公正価値 で測定 (続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2021年12月31日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年 1 月 1 日現在	39,122	774,073	73,445	886,640
ステージ 2 への移動	(1,963)	1,963	-	-
引当金の再測定純額	(2,226)	(501,922)	41,879	(462,269)
新たに組成又は購入した金融資産	24,144	1,345	-	25,489
認識が中止された金融資産	(4,432)	-	(3)	(4,435)
モデル/リスク・パラメーターの変動	1,713	(5,124)	-	(3,411)
為替換算差額	1,056	12,196	1,317	14,569
2021年12月31日現在	57,414	282,531	116,638	456,583

償却原価で測定	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2022年 6 月30日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2022年 1 月1日現在	1,895,232	3,695,513	6,309,928	11,900,673
ステージ 1 への移動	263,554	(263,897)	343	-
ステージ 2 への移動	(50,076)	69,287	(19,211)	-
ステージ 3 への移動	(9,008)	(211,058)	220,066	-
引当金の再測定純額	(349,323)	(17,515)	1,897,214	1,530,376
新たに組成又は購入した金融資産	298,415	112,923	-	411,338
認識が中止された金融資産	(195,602)	(175,324)	(231,564)	(602,490)
モデル/リスク・パラメーターの変動	6,143	36,928	(2,594)	40,477
貸倒償却額	-	-	(1,179,594)	(1,179,594)
為替換算差額	38,134	(2,387)	224,403	260,150
2022年 6 月30日現在	1,897,469	3,244,470	7,218,991	12,360,930

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

() 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定 (続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
2021年12月31日現在	千マレーシア・ リンギット	信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2021年 1 月 1 日現在	2,001,054	3,377,097	6,135,332	11,513,483
ステージ 1 への移動	568,185	(521,276)	(46,909)	-
ステージ 2 への移動	(63,690)	130,620	(66,930)	-
ステージ 3 への移動	(15,739)	(405,107)	420,846	-
引当金の再測定純額	(667,492)	1,177,562	3,274,612	3,784,682
新たに組成又は購入した金融資産	464,616	277,913	-	742,529
認識が中止された金融資産	(347,530)	(343,683)	(438,498)	(1,129,711)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(82,017)	(15,493)	(5,730)	(103,240)
貸倒償却額	-	-	(3,052,183)	(3,052,183)
為替換算差額	37,845	17,880	89,388	145,113
2021年12月31日現在	1,895,232	3,695,513	6,309,928	11,900,673

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
2022年 6 月30日現在	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
2022年 6 月30日現在	千マレーシア・ リンギット	信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2022年 1 月 1 日現在	805,617	1,414,643	5,368,659	7,588,919
ステージ 1 への移動	89,297	(86,627)	(2,670)	-
ステージ 2 への移動	(26,567)	37,858	(11,291)	-
ステージ 3 への移動	(2,507)	(25,984)	28,491	-
引当金の再測定純額	(85,529)	(18,126)	1,545,572	1,441,917
新たに組成又は購入した金融資産	113,974	44,649	-	158,623
認識が中止された金融資産	(105,215)	(62,132)	(70,754)	(238,101)
モデル/リスク・パラメーターの変動	21,484	14,576	109	36,169
貸倒償却額	-	-	(778,768)	(778,768)
為替換算差額	(6,256)	11,153	170,969	175,866
2022年 6 月30日現在	804,298	1,330,010	6,250,317	8,384,625

A11. 貸出金及びその他の債権(続き)

() 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。(続き)

償却原価で測定(続き)	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行	千マレーシア・	信用減損なし	信用減損あり	千マレーシア・
	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	リンギット
2021年12月31日現在	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年1月1日現在	878,676	1,722,427	4,042,643	6,643,746
ステージ1への移動	245,303	(224,769)	(20,534)	-
ステージ2への移動	(41,939)	72,809	(30,870)	-
ステージ3への移動	(4,353)	(382,120)	386,473	-
引当金の再測定純額	(274,203)	238,778	2,461,096	2,425,671
新たに組成又は購入した金融資産	177,789	138,616	923,797	1,240,202
認識が中止された金融資産	(187,596)	(149,996)	(234,487)	(572,079)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(21,617)	(8,388)	-	(30,005)
貸倒償却額	-	-	(2,220,193)	(2,220,193)
為替換算差額	33,557	7,286	60,734	101,577
2021年12月31日現在	805,617	1,414,643	5,368,659	7,588,919

A12. 再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権

	注記	当行グループ 2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
再保険資産/再タカフル資産	()	5,937,472	6,627,633
その他の保険債権	()	1,307,544	888,231
		7,245,016	7,515,864

	当行グループ 2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
() 再保険資産/再タカフル資産		
再保険者持分:	5,363,828	5,531,574
生命保険契約負債	1,546,654	1,482,527
損害保険契約負債	3,817,174	4,049,047
再タカフル事業者持分:	573,644	1,096,262
ファミリー・タカフル証書負債	189,006	234,672
ジェネラル・タカフル証書負債	384,638	861,590
減損損失引当金	() -	(203)
	5,937,472	6,627,633

A12. 再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権（続き）

	当行グループ	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()その他の保険債権		
代理店/ブローカー及び共同保険者の残高を含む未収保険料	888,065	659,929
再保険者及び出再者貸/再タカフル事業者貸	421,060	228,740
	1,309,125	888,669
減損損失引当金 ()	(1,581)	(438)
	1,307,544	888,231

()再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
当行グループ				
2022年 6月30日現在				
2022年 1月 1日現在	641	-	-	641
引当金の再測定純額	1,138	-	-	1,138
為替換算差額	(198)	-	-	(198)
2022年 6月30日現在	1,581	-	-	1,581
当行グループ				
2021年12月31日現在				
2021年 1月 1日現在	57,113	-	-	57,113
引当金の再測定純額	(57,995)	-	-	(57,995)
為替換算差額	1,523	-	-	1,523
2021年12月31日現在	641	-	-	641

A13. その他の資産

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
その他の債務者、減損損失引当金控除後	6,500,755	5,033,283	4,339,659	3,216,537
ブローカー及び顧客からの未収金	3,243,067	2,061,444	-	-
前払金及び保証金	1,242,277	995,590	256,134	235,873
未収還付税	214,898	197,263	78,099	69,620
差押不動産	401,050	357,351	28,500	28,500
	<u>11,602,047</u>	<u>8,644,931</u>	<u>4,702,392</u>	<u>3,550,530</u>

A14. 顧客預金

(i) 預金種類別

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
定期預金及び譲渡性預金商品				
- 1年以内	260,680,812	233,544,960	138,950,137	127,977,754
- 1年超	11,310,605	12,752,220	547,595	420,033
	<u>271,991,417</u>	<u>246,297,180</u>	<u>139,497,732</u>	<u>128,397,787</u>
市場金利連動型預金	64,126,792	75,523,563	12,155,038	14,045,234
貯蓄預金	106,332,032	105,162,188	37,787,146	38,181,815
要求払預金	165,704,460	161,984,702	91,101,552	95,934,030
	<u>608,154,701</u>	<u>588,967,633</u>	<u>280,541,468</u>	<u>276,558,866</u>

() 顧客種類別

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
事業会社	271,378,390	253,898,708	161,525,513	156,633,879
個人	238,152,579	231,757,428	88,505,235	89,838,354
政府及び特殊法人	49,978,959	50,930,448	12,167,637	12,509,753
その他	48,644,773	52,381,049	18,343,083	17,576,880
	<u>608,154,701</u>	<u>588,967,633</u>	<u>280,541,468</u>	<u>276,558,866</u>

() 定期預金及び譲渡性預金商品の満期構成は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit	千マレーシア・ リングgit
6カ月以内	206,080,373	186,915,920	116,105,374	107,535,754
6カ月超1年以内	54,600,439	46,629,040	22,844,763	20,442,000
1年超3年以内	11,159,676	12,557,566	479,087	355,248
3年超5年以内	150,929	194,654	68,508	64,785
	<u>271,991,417</u>	<u>246,297,180</u>	<u>139,497,732</u>	<u>128,397,787</u>

A15. 金融機関預り金

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
認可銀行	44,449,303	33,040,036	49,767,913	39,648,349
認可金融会社	21,833	58,061	21,833	58,061
認可投資銀行	755,984	1,065,182	755,984	1,065,182
その他の金融機関	2,092,191	2,419,794	715,201	795,918
	<u>47,319,311</u>	<u>36,583,073</u>	<u>51,260,931</u>	<u>41,567,510</u>

金融機関からの預り金及び満期に関する情報は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
1年以内	44,983,814	31,166,943	49,539,292	38,095,733
1年超	2,335,497	5,416,130	1,721,639	3,471,777
	<u>47,319,311</u>	<u>36,583,073</u>	<u>51,260,931</u>	<u>41,567,510</u>

A16. 純損益を通じて公正価値で測定する（「FVTPL」）金融負債

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
仕組預金	<u>171,988</u>	<u>40,988</u>	<u>171,988</u>	<u>40,988</u>
借入金				
無担保				
メディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-米ドル	<u>9,070,308</u>	<u>10,655,978</u>	<u>9,070,308</u>	<u>10,655,978</u>
FVTPL金融負債合計	<u>9,242,296</u>	<u>10,696,966</u>	<u>9,242,296</u>	<u>10,696,966</u>

当行グループ及び当行のFVTPLに指定された仕組預金及び借入金双方の帳簿価額は、2022年6月30日現在、それぞれ173,134,000マレーシア・リンギット（2021年12月31日現在：41,001,000マレーシア・リンギット）及び12,489,139,000マレーシア・リンギット（2021年12月31日現在：11,741,134,000マレーシア・リンギット）であった。自己の信用リスクの変動に起因する、FVTPL金融負債の公正価値の変動は重要ではない。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()借入金				
有担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-インドネシア・ルピア	330,562	423,655	-	-
	330,562	423,655	-	-
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-インドネシア・ルピア	1,411,203	1,574,695	-	-
	1,411,203	1,574,695	-	-
有担保借入金合計	1,741,765	1,998,350	-	-
無担保				
(a)借入金				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨:				
-米ドル	1,190,784	1,320,350	-	625,800
-人民元	376,839	1,361,245	376,839	1,361,245
-シンガポール・ドル	2,711,271	2,410,865	838,978	1,105,780
-タイ・バーツ	1,471,646	1,691,320	-	-
-インドネシア・ルピア	1,427,591	47,181	-	-
-ベトナム・ドン	28	56	-	-
-フィリピン・ペソ	3,207	3,274	-	-
-マレーシア・リンギット	279	247	279	247
	7,181,645	6,834,538	1,216,096	3,093,072
-返済期限が1年超のもの				
通貨:				
-米ドル	-	832,823	-	-
-インドネシア・ルピア	160,225	685,068	-	-
-人民元	220,888	208,669	220,888	208,669
-日本円	545	761	-	-
-マレーシア・リンギット(注記(a))	2,483,748	2,459,126	2,483,748	2,459,126
	2,865,406	4,186,447	2,704,636	2,667,795

(注記(a))借入金には、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、期間6年で2026年6月17日を返済期限とした、市中金利よりも低率の中小企業向け融資に充てるために、政府融資制度に基づいて当行グループ及び当行が受領した金額1,633,748,000マレーシア・リンギット(2021年12月31日現在:1,609,126,000マレーシア・リンギット)が含まれている。この政府制度による資金調達は、中小企業向けの優遇利率での貸出と、COVID-19関連の救済措置を目的としたものである。

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()借入金（続き）				
無担保（続き）				
(b)ミディアム・ターム・ノート				
-返済期限が1年未満のもの				
通貨：				
-米ドル	1,221,035	555,727	1,221,035	555,727
-香港ドル	1,114,572	1,174,757	1,114,572	1,174,757
-シンガポール・ドル	687	687	687	687
-日本円	1,575,080	2,312,040	1,575,080	2,312,040
-豪ドル	109,172	145,376	109,172	145,376
-オフショア人民元	634,628	1,726,372	634,628	1,726,372
-人民元	-	664,819	-	664,819
-マレーシア・リンギット	358	359	358	359
	<u>4,655,532</u>	<u>6,580,137</u>	<u>4,655,532</u>	<u>6,580,137</u>
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-米ドル	7,958,594	8,640,606	7,958,594	8,640,606
-香港ドル	1,455,254	1,807,414	1,455,254	1,807,414
-日本円	2,549,785	3,473,520	2,549,785	3,473,520
-豪ドル	465,710	526,282	465,710	526,282
-オフショア人民元	2,313,384	1,501,058	2,313,384	1,501,058
	<u>14,742,727</u>	<u>15,948,880</u>	<u>14,742,727</u>	<u>15,948,880</u>
無担保借入金合計	<u>29,445,310</u>	<u>33,550,002</u>	<u>23,318,991</u>	<u>28,289,884</u>
借入金合計	<u>31,187,075</u>	<u>35,548,352</u>	<u>23,318,991</u>	<u>28,289,884</u>

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
()劣後債務				
無担保				
-返済期限が1年超のもの				
通貨：				
-マレーシア・リンギット	10,137,899	10,142,389	9,825,205	9,827,722
-インドネシア・ルピア	98,093	96,888	-	-
	<u>10,235,992</u>	<u>10,239,277</u>	<u>9,825,205</u>	<u>9,827,722</u>

A17. 借入金、劣後債務及び資本性証券（続き）

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
() 資本性証券				
無担保				
- 返済期限が1年超のもの				
通貨:				
- マレーシア・リンギット	2,828,797	2,827,832	2,828,797	2,827,832
	<u>2,828,797</u>	<u>2,827,832</u>	<u>2,828,797</u>	<u>2,827,832</u>

A18. 保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務

当行グループ	注記	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
保険契約負債/タカフル契約負債	()	39,961,951	41,110,740
その他の保険債務	()	1,079,803	982,875
		<u>41,041,754</u>	<u>42,093,615</u>

() 保険契約負債/タカフル契約負債

	契約負債総額 千マレーシア・ リンギット	再保険資産/ 再タカフル資産 千マレーシア・ リンギット	契約負債純額 千マレーシア・ リンギット
2022年6月30日現在			
生命保険/ファミリー・タカフル	32,395,237	(1,735,660)	30,659,577
損害保険/ジェネラル・タカフル	7,566,714	(4,201,812)	3,364,902
	<u>39,961,951</u>	<u>(5,937,472)</u>	<u>34,024,479</u>

	契約負債総額 千マレーシア・ リンギット	再保険資産/ 再タカフル資産 千マレーシア・ リンギット	契約負債純額 千マレーシア・ リンギット
2021年12月31日現在			
生命保険/ファミリー・タカフル	33,054,544	(1,717,199)	31,337,345
損害保険/ジェネラル・タカフル	8,056,196	(4,910,434)	3,145,762
	<u>41,110,740</u>	<u>(6,627,633)</u>	<u>34,483,107</u>

() その他の保険債務

	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
代理店及び仲介業者に対する債務	182,226	195,140
再保険者及び出再者に対する債務	238,997	688,580
再タカフル事業者に対する債務	658,580	99,155
	<u>1,079,803</u>	<u>982,875</u>

A19. その他の負債

注記	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングット
ブローカー及び顧客に対する債務 預り金、その他の債権者に対 する債務及び未払費用	6,927,491	6,614,605	-	-
確定給付年金制度	11,532,302	10,431,573	13,166,184	7,837,308
コミットメント及び偶発事象に対 する引当金	587,877	554,914	-	-
ローン・コミットメント及び金融 保証契約に対する減損損失引当 金	87,938	56,996	27,138	26,196
()	457,119	287,372	297,308	184,562
リース負債	1,172,743	1,127,829	545,443	541,348
仕組預金	4,272,018	2,428,807	331,146	293,108
	<u>25,037,488</u>	<u>21,502,096</u>	<u>14,367,219</u>	<u>8,882,522</u>

() ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングット	
2022年 6月30日現在				
2022年 1月 1日現在	127,960	68,815	90,597	287,372
ステージ 1 への移動	6,572	(6,526)	(46)	-
ステージ 2 への移動	(4,542)	4,668	(126)	-
ステージ 3 への移動	(315)	(7,728)	8,043	-
引当金の再測定純額	(17,434)	54,640	135,548	172,754
新たに組成又は購入した金融資産	58,619	17,969	-	76,588
認識が中止された信用エクスポ ージャー	(38,379)	(36,947)	(16,848)	(92,174)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(162)	(88)	(199)	(449)
為替換算差額	11,184	1,190	654	13,028
2022年 6月30日現在	<u>143,503</u>	<u>95,993</u>	<u>217,623</u>	<u>457,119</u>

当行グループ	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リングット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リングット	
2021年12月31日現在				
2021年 1月 1日現在	97,130	61,222	88,795	247,147
ステージ 1 への移動	10,946	(10,727)	(219)	-
ステージ 2 への移動	(2,714)	2,720	(6)	-
ステージ 3 への移動	(221)	(220)	441	-
引当金の再測定純額	(46,292)	(1,440)	16,669	(31,063)
新たに組成又は購入した金融資産	99,672	42,978	-	142,650
認識が中止された信用エクスポ ージャー	(31,514)	(27,174)	(15,291)	(73,979)
モデル/リスク・パラメーターの変動	495	(176)	(197)	122
為替換算差額	458	1,632	405	2,495
2021年12月31日現在	<u>127,960</u>	<u>68,815</u>	<u>90,597</u>	<u>287,372</u>

A19. その他の負債（続き）

（ ）ローン・コミットメント及び金融保証契約に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2022年 6 月30日現在				千マレーシア・ リンギット
2022年 1 月 1 日現在	67,231	44,662	72,669	184,562
ステージ 1 への移動	2,175	(2,175)	-	-
ステージ 2 への移動	(2,398)	2,503	(105)	-
ステージ 3 への移動	(249)	(963)	1,212	-
引当金の再測定純額	(10,089)	50,314	86,221	126,446
新たに組成又は購入した金融資産	32,313	8,907	-	41,220
認識が中止された信用エクスポージャー	(24,083)	(27,830)	(14,061)	(65,974)
モデル/リスク・パラメーターの変動	30	38	(182)	(114)
為替換算差額	10,019	1,070	79	11,168
2022年 6 月30日現在	74,949	76,526	145,833	297,308

当行	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	合計
	12カ月ECL 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損なし 千マレーシア・ リンギット	全期間ECL 信用減損あり 千マレーシア・ リンギット	
2021年12月31日現在				千マレーシア・ リンギット
2021年 1 月 1 日現在	42,445	37,100	84,649	164,194
ステージ 1 への移動	1,110	(1,110)	-	-
ステージ 2 への移動	(2,217)	2,217	-	-
ステージ 3 への移動	-	(50)	50	-
引当金の再測定純額	(16,280)	(3,763)	2,135	(17,908)
新たに組成又は購入した金融資産	59,976	31,944	-	91,920
認識が中止された信用エクスポージャー	(17,182)	(23,051)	(14,384)	(54,617)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(285)	(2)	-	(287)
為替換算差額	(336)	1,377	219	1,260
2021年12月31日現在	67,231	44,662	72,669	184,562

[次へ](#)

A20. その他の準備金

その他の準備金の内訳及び変動は以下の通りである。

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	資本準備金 千マレーシア・ リングット	再評価準備金 千マレーシア・ リングット	確定給付準備金 千マレーシア・ リングット	ヘッジ準備金 千マレーシア・ リングット	その他の準備金 合計 千マレーシア・ リングット
2022年 1 月 1 日現在	12,912	(2,712)	49,423	(360,747)	(301,124)
その他の包括利益/(損失)	692	-	(3,216)	2,742	218
確定給付制度の年金数理損失	-	-	(3,216)	-	(3,216)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	2,742	2,742
資本準備金に係る正味利得	692	-	-	-	692
当期包括利益/(損失)合計	692	-	(3,216)	2,742	218
2022年 6 月30日現在	13,604	(2,712)	46,207	(358,005)	(300,906)

< ===== 分配不能部分 ===== >

当行グループ	資本準備金 千マレーシア・ リングット	再評価準備金 千マレーシア・ リングット	確定給付準備金 千マレーシア・ リングット	ヘッジ準備金 千マレーシア・ リングット	その他の準備金 合計 千マレーシア・ リングット
2021年 1 月 1 日現在	12,092	(2,712)	28,069	(350,250)	(312,801)
その他の包括利益/(損失)	362	-	489	(19,969)	(19,118)
確定給付制度の年金数理利得	-	-	489	-	489
純投資ヘッジに係る正味損失	-	-	-	(5,085)	(5,085)
公正価値ヘッジに係るヘッジ費用	-	-	-	(14,884)	(14,884)
資本準備金に係る正味利得	362	-	-	-	362
当期包括利益/(損失)合計	362	-	489	(19,969)	(19,118)
2021年 6 月30日現在	12,454	(2,712)	28,558	(370,219)	(331,919)

[次へ](#)

A21. 受取利息

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
貸出金及びその他の債権	3,367,036	2,942,220	6,451,089	5,894,238
コールローン及び金融機関預け金	110,110	98,694	187,268	181,147
売戻条件付買入金融資産	47,953	30,024	75,607	82,792
FVTPL金融資産	230,642	266,003	471,657	520,493
FVOCI金融投資	802,938	706,888	1,542,458	1,410,273
償却原価で測定する金融投資	462,731	316,158	896,834	634,370
	<u>5,021,410</u>	<u>4,359,987</u>	<u>9,624,913</u>	<u>8,723,313</u>
プレミアムの償却、純額	<u>(54,678)</u>	<u>(46,043)</u>	<u>(114,353)</u>	<u>(75,223)</u>
	<u><u>4,966,732</u></u>	<u><u>4,313,944</u></u>	<u><u>9,510,560</u></u>	<u><u>8,648,090</u></u>

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
貸出金及びその他の債権	2,095,802	1,910,750	3,958,322	3,778,703
コールローン及び金融機関預け金	199,976	131,032	352,088	234,366
売戻条件付買入金融資産	30,989	9,005	40,128	21,235
FVTPL金融資産	46,825	65,764	108,367	140,681
FVOCI金融投資	505,340	467,708	977,599	959,784
償却原価で測定する金融投資	386,680	309,461	746,506	627,300
	<u>3,265,612</u>	<u>2,893,720</u>	<u>6,183,010</u>	<u>5,762,069</u>
ディスカウントに係る増価、純額	<u>24,839</u>	<u>36,299</u>	<u>42,117</u>	<u>66,595</u>
	<u><u>3,290,451</u></u>	<u><u>2,930,019</u></u>	<u><u>6,225,127</u></u>	<u><u>5,828,664</u></u>

2022年6月30日に終了した中間会計期間の受取利息に含まれる減損資産に係る利息は、当行グループにおいては、約130,352,000マレーシア・リンギット（2021年6月30日に終了した期間：132,249,000マレーシア・リンギット）であり、当行においては、約92,887,000マレーシア・リンギット（2021年6月30日に終了した期間：93,385,000マレーシア・リンギット）であった。

A22. 支払利息

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
金融機関預り金	108,652	73,597	178,028	139,811
顧客預金	924,966	868,255	1,716,301	1,835,316
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	27,123	4,274	40,089	33,896
借入金	177,365	170,872	342,241	356,741
劣後債務	114,550	117,891	227,112	234,180
資本性証券	28,843	28,843	57,372	57,372
仕組預金	9,035	4,751	15,496	10,237
FVTPL金融負債	56,020	25,533	86,969	53,342
	<u>1,446,554</u>	<u>1,294,016</u>	<u>2,663,608</u>	<u>2,720,895</u>

当行	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
金融機関預り金	129,957	64,895	204,714	121,980
顧客預金	610,864	478,992	1,100,163	976,586
買戻条件付売渡金融資産に関する債務	86,048	35,364	139,879	89,577
借入金	105,614	106,968	207,946	225,731
劣後債務	91,022	85,725	181,048	170,465
資本性証券	28,843	28,843	57,372	57,372
仕組預金	1,482	1,202	4,055	2,920
FVTPL金融負債	56,020	25,533	86,969	53,342
	<u>1,109,850</u>	<u>827,522</u>	<u>1,982,146</u>	<u>1,697,973</u>

A23. 正味既経過保険料

当行グループ	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
既経過保険料総額	2,667,859	2,519,171	5,619,097	5,697,174
再保険会社に対する出再保険料	(399,371)	(352,630)	(994,555)	(1,001,403)
	<u>2,268,488</u>	<u>2,166,541</u>	<u>4,624,542</u>	<u>4,695,771</u>

A24. 子会社及び関連会社からの配当金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
受取配当金総額:				
子会社	332,507	1,569,620	1,911,527	1,599,454
	<u>332,507</u>	<u>1,569,620</u>	<u>1,911,527</u>	<u>1,599,454</u>

A25. その他の営業収益

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) 手数料収益:				
コミッション	317,553	324,339	609,999	713,471
サービス料及び手数料	355,878	391,027	704,175	788,594
引受手数料	9,553	6,655	18,402	28,913
仲介業務収益	82,325	124,409	193,173	285,545
貸出金及びその他の債権に係る手数料	82,174	52,036	143,456	107,608
	<u>847,483</u>	<u>898,466</u>	<u>1,669,205</u>	<u>1,924,131</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味(損失)/利得	(95,211)	19,891	(196,224)	75,510
FVOCI金融投資の処分に係る正味(損失)/利得	(34,184)	162,866	(4,890)	407,936
償却原価で測定する金融投資の償還に係る正味損失	-	-	-	-
子会社の清算に係る正味損失	-	(54)	(1,610)	(7,143)
	<u>(129,395)</u>	<u>182,703</u>	<u>(202,724)</u>	<u>476,303</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	61,155	51,092	95,401	90,008
(d) 再評価に係る未実現(損失)/利得:				
当初認識時にFVTPLに指定された金融資産	(487,293)	264,606	(781,302)	(690,213)
FVTPL金融投資	(661,274)	(159,291)	(854,707)	(320,422)
FVTPL金融負債	862,269	(695,510)	2,334,807	797,107
デリバティブ	(780,967)	990,920	(1,522,631)	104,676
	<u>(1,067,265)</u>	<u>400,725</u>	<u>(823,833)</u>	<u>(108,852)</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算差(損)/益	(78,575)	(30,220)	(56,514)	95,272
デリバティブに係る実現利得/(損失)	663,653	(399,657)	494,294	(279,563)
FVTPL金融負債に係る実現損失	-	-	-	(138,277)
賃料収入	8,709	9,567	18,602	22,310
有形固定資産処分益/(損)	1,145	(1,024)	2,944	(938)
差押資産処分益/(損)	9,533	1,056	9,229	(947)
投資不動産に係る公正価値調整	(36)	(37)	(72)	(74)
その他	50,515	37,438	107,335	85,879
	<u>654,944</u>	<u>(382,877)</u>	<u>575,818</u>	<u>(216,338)</u>
その他の営業収益合計	<u>366,922</u>	<u>1,150,109</u>	<u>1,313,867</u>	<u>2,165,252</u>

A25. その他の営業収益（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) 手数料収益:				
コミッション	245,560	217,015	466,460	465,814
サービス料及び手数料	216,428	209,013	410,573	415,225
引受手数料	4,022	2,671	6,282	5,347
仲介業務収益	310	-	416	-
貸出金及びその他の債権に係る手数料	53,691	33,719	103,821	69,819
	<u>520,011</u>	<u>462,418</u>	<u>987,552</u>	<u>956,205</u>
(b) 投資収益:				
FVTPL金融資産の処分に係る正味損失	(53,162)	(18)	(122,023)	(12,338)
FVOCI金融投資の処分に係る正味(損 失)/利得	(13,276)	137,342	7,706	338,740
償却原価で測定する金融投資の償還に 係る正味損失	-	-	(1,610)	-
	<u>(66,438)</u>	<u>137,324</u>	<u>(115,927)</u>	<u>326,402</u>
(c) 受取配当総額:				
金融投資ポートフォリオ	<u>3,687</u>	<u>4,187</u>	<u>4,187</u>	<u>4,187</u>
(d) 再評価に係る未実現(損失)/利得:				
FVTPL金融投資	9,093	10,176	(47,237)	(70,603)
FVTPL金融負債	862,269	(695,510)	2,334,807	797,107
デリバティブ	(991,887)	966,610	(1,850,394)	(67,238)
	<u>(120,525)</u>	<u>281,276</u>	<u>437,176</u>	<u>659,266</u>
(e) その他の収益:				
正味外国為替換算差益/(損)	23,603	(90,455)	17,815	35,092
デリバティブに係る実現益/(損)	559,642	(407,485)	454,327	(241,389)
FVTPL金融負債に係る実現損失	-	-	-	(138,277)
賃料収入	14,328	14,631	29,400	29,207
有形固定資産処分益/(損)	403	(1,164)	442	(1,164)
その他	35,807	57,067	68,382	62,560
	<u>633,783</u>	<u>(427,406)</u>	<u>570,366</u>	<u>(253,971)</u>
その他の営業収益合計	<u>970,518</u>	<u>457,799</u>	<u>1,883,354</u>	<u>1,692,089</u>

A26. 保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
給付金及び保険金総支払額	1,471,442	1,235,395	2,895,418	2,356,393
再保険会社に出再した保険金	(109,448)	(212,307)	(348,504)	(279,305)
契約負債の変動総額	(635,514)	1,469,782	(680,556)	2,621,534
再保険会社に出再した契約負債の変動	323,391	(455,583)	902,335	(1,188,382)
保険給付金及び支払保険金純額	1,049,871	2,037,287	2,768,693	3,510,240
手数料費用純額	124,746	74,676	223,726	164,628
保険関連負債の変動	(34,219)	(31,261)	(3,618)	(28,066)
生命保険及びタカフルファンドに係る税金	(54,058)	41,434	(71,544)	(13,940)
手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	36,469	84,849	148,564	122,622
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金合計	1,086,340	2,122,136	2,917,257	3,632,862

A27. 一般管理費

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
(a) 人件費				
給料手当及び賞与	1,364,330	1,298,788	2,664,471	2,596,996
社会保険費用	12,069	11,553	24,041	22,802
退職費用	161,986	155,560	316,498	316,558
ESGP費用	21,514	27,979	48,149	56,589
その他人件費関連費用	217,553	215,948	465,563	439,555
	1,777,452	1,709,828	3,518,722	3,432,500
(b) 設備費				
有形固定資産の減価償却費	73,947	74,336	146,244	150,336
使用権資産の減価償却費	111,753	113,180	220,177	227,024
無形資産の償却費	69,064	73,393	138,695	145,894
土地及び建物の賃借料	5,535	7,433	11,409	12,880
有形固定資産の保守修繕費	49,910	40,750	93,767	85,248
IT費用	208,214	166,087	357,628	320,640
リース負債に係る金融費用	9,719	10,139	18,167	21,244
その他	5,847	5,532	11,009	10,743
	533,989	490,850	997,096	974,009
(c) マーケティング費用				
広告宣伝費	36,418	40,497	73,616	67,190
その他	74,997	66,177	144,650	134,248
	111,415	106,674	218,266	201,438

A27. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ（続き）				
(d) 管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	292,220	249,224	561,724	490,448
管理費	148,262	150,605	290,105	282,628
一般経費	189,024	199,091	410,481	332,360
その他	3,713	14,506	9,141	29,061
	<u>633,219</u>	<u>613,426</u>	<u>1,271,451</u>	<u>1,134,497</u>
一般管理費合計	<u>3,056,075</u>	<u>2,920,778</u>	<u>6,005,535</u>	<u>5,742,444</u>
コスト・インカム・レシオ(「CIR」)				
1	<u>44.7%</u>	<u>47.3%</u>	<u>45.1%</u>	<u>44.2%</u>

- ¹ コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する総費用で算出される。当行グループの総費用は一般管理費合計であり、メイバンク・IBG・ホールディングス・リミテッドに関する無形資産の償却額は除外されている。収益は損益計算書上に開示されている純営業収益である。

A27. 一般管理費（続き）

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
(a) 人件費				
給料手当及び賞与	697,708	680,157	1,317,502	1,345,662
社会保険費用	5,789	5,670	11,698	11,463
退職費用	105,242	102,044	201,360	204,508
ESGP費用	10,818	14,901	25,049	30,140
その他人件費関連費用	113,748	105,280	242,572	219,831
	<u>933,305</u>	<u>908,052</u>	<u>1,798,181</u>	<u>1,811,604</u>
(b) 設備費				
有形固定資産の減価償却費	19,453	23,170	39,102	47,293
使用権資産の減価償却費	28,629	27,171	56,141	55,184
無形資産の償却費	18,512	15,793	37,450	31,306
土地及び建物の賃借料	1,577	2,085	2,931	3,910
有形固定資産の保守修繕費	25,301	19,918	47,171	41,108
IT費用	278,021	258,780	499,130	485,469
リース負債に係る金融費用	3,721	3,067	6,970	5,873
その他	2,482	3,112	5,875	3,472
	<u>377,696</u>	<u>353,096</u>	<u>694,770</u>	<u>673,615</u>
(c) マーケティング費用				
広告宣伝費	11,924	18,129	28,077	27,768
その他	53,089	22,302	81,579	54,374
	<u>65,013</u>	<u>40,431</u>	<u>109,656</u>	<u>82,142</u>
(d) 管理費及び一般経費				
手数料及び仲介手数料	196,088	161,494	372,259	314,367
管理費	54,902	48,698	102,973	90,409
一般経費	74,791	75,413	143,987	129,958
その他	434	141	2,255	1,310
	<u>326,215</u>	<u>285,746</u>	<u>621,474</u>	<u>536,044</u>
(e) 子会社に対する一般管理費 の配賦額、純額	<u>(342,096)</u>	<u>(274,388)</u>	<u>(695,101)</u>	<u>(593,400)</u>
一般管理費合計	<u>1,360,133</u>	<u>1,312,937</u>	<u>2,528,980</u>	<u>2,510,005</u>
コスト・インカム・レシオ(「CIR」) 2	<u>39.0%</u>	<u>31.8%</u>	<u>31.5%</u>	<u>33.8%</u>

² コスト・インカム・レシオ（「CIR」）は純営業収益に対する総費用で算出される。

A28. 貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入、純額

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(戻入)/繰入:				
-ステージ 1 12カ月ECL、純額	(51,702)	(76,253)	(217,461)	(276,773)
-ステージ 2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	(56,653)	292,813	(29,741)	888,058
-ステージ 3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	1,058,564	355,925	1,705,701	853,974
不良債権償却額	16,942	20,518	38,645	36,830
不良債権回収額	(130,305)	(71,778)	(217,195)	(131,896)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	701	3,558	1,010	4,829
	<u>837,547</u>	<u>524,783</u>	<u>1,280,959</u>	<u>1,375,022</u>

	第 2 四半期		6 カ月間累計期間	
	2022年	2021年	2022年	2021年
	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット	6 月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入/(戻入):				
-ステージ 1 12カ月ECL、純額	2,934	(25,110)	(36,999)	(75,669)
-ステージ 2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	(23,401)	36,849	(11,931)	817,552
-ステージ 3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	1,091,550	106,248	1,471,049	459,395
不良債権償却額	13,490	15,094	30,599	27,897
不良債権回収額	(84,945)	(31,017)	(119,003)	(55,507)
その他の債権に対する減損損失引当金繰入	341	1,398	(583)	678
	<u>999,969</u>	<u>103,462</u>	<u>1,333,132</u>	<u>1,174,346</u>

A29. 金融投資に対する減損損失引当金繰入、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	1,318	(3,951)	(1,255)	(1,727)
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	448	1,291	1,806	1,450
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	42,464	16,136	305,989	16,390
純額	44,230	13,476	306,540	16,113
償却原価で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	(1,105)	(614)	(1,686)	2,291
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	(63)	823	596	77,770
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	277,811	30,308	143,014	30,091
純額	276,643	30,517	141,924	110,152
	320,873	43,993	448,464	126,265
当行				
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	2,416	(3,978)	869	(879)
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	(26)	(8)	(8)	(40)
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	20,844	16,480	190,724	16,390
純額	23,234	12,494	191,585	15,471
償却原価で測定する金融投資				
-ステージ1 12カ月ECL、純額	(1,073)	(1,605)	(1,357)	245
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)、純額	(62)	823	(66)	(125,108)
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)、純額	(2,189)	30,308	(136,986)	30,091
純額	(3,324)	29,526	(138,409)	(94,772)
	19,910	42,020	53,176	(79,301)

A30. その他の金融資産に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
現金及び短期資金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(3,068)	725	6,192	3,564
純額	(3,068)	725	6,192	3,564
金融機関預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	989	(1,854)	(8,368)	(3,907)
純額	989	(1,854)	(8,368)	(3,907)
売戻条件付買入金融資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(2,861)	(451)	4,336	1,221
純額	(2,861)	(451)	4,336	1,221
再保険資産/再タカフル資産及びその他の 保険債権				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(1,090)	(1,012)	1,138	(23,193)
純額	(1,090)	(1,012)	1,138	(23,193)
その他の資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	1,069	919	1,122	(228)
-ステージ2 全期間ECL(信用減損なし)	(4)	(40)	(5)	3
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)	2,752	245	19,097	(42,718)
純額	3,817	1,124	20,214	(42,943)
中央銀行への法定預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	54	(114)	376	(309)
純額	54	(114)	376	(309)
	(2,159)	(1,582)	23,888	(65,567)

A30. その他の金融資産に対する減損損失引当金(戻入)/繰入、純額(続き)

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
現金及び短期資金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	3,705	(456)	1,617	2,758
純額	<u>3,705</u>	<u>(456)</u>	<u>1,617</u>	<u>2,758</u>
金融機関預け金				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(859)	38	(1,014)	(52)
純額	<u>(859)</u>	<u>38</u>	<u>(1,014)</u>	<u>(52)</u>
売戻条件付買入金融資産				
-ステージ1 12ヵ月ECL、純額	(3,481)	327	1,050	(1,248)
純額	<u>(3,481)</u>	<u>327</u>	<u>1,050</u>	<u>(1,248)</u>
その他の資産				
-ステージ3 全期間ECL(信用減損あり)	2,907	(110)	18,259	(48,651)
純額	<u>2,907</u>	<u>(110)</u>	<u>18,259</u>	<u>(48,651)</u>
	<u>2,272</u>	<u>(201)</u>	<u>19,912</u>	<u>(47,193)</u>

A31. セグメント情報

事業セグメント別状況

当行グループのオペレーティングセグメントは、グループ・地域金融サービス、グループ・グローバル・バンキング及びグループ・保険及びタカフル事業部門である。当行グループでは、当行グループの取締役会及び経営者上層部に提供される情報に基づいて、オペレーティングセグメントを決定し、公表している。

当行グループは、下記の通り、当行グループ内で提供可能なサービス及び商品に基づき、3つのオペレーティングセグメントで構成されている。

(a) グループ・地域金融サービス（「CFS」）

() リテール・バンキング部門

リテール・バンキング部門は、貯蓄預金、定期預金、送金サービス、当座預金、住宅ローンや個人ローンなどの消費者向けローン、割賦金融、ユニット・トラスト、パンカシュアランス商品、クレジットカードなど、地域の個人向けのさまざまな商品及びサービスで構成されている。

() 中小企業（「SME」）向け金融部門

中小企業向け金融部門は、地域の中小企業を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

() ビジネス・バンキング部門

ビジネス・バンキング部門は、地域の事業会社を対象として提供されているさまざまな商品及びサービスで構成されている。提供されている商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、キャッシュ・マネジメントやカストディアン業務などの手数料ビジネスが含まれている。

(b) グループ・グローバル・バンキング（「GB」）

() グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門

グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門は、コーポレート・バンキング及びグローバル・マーケット事業で構成されている。

コーポレート・バンキング部門は、大企業から公共部門に至るまで、地域の法人顧客に向けた、さまざまな商品及びサービスで構成されている。提供している商品及びサービスには、プロジェクト・ファイナンスなどの長期融資、当座貸越や貿易金融などの短期融資、及び手数料サービスが含まれている。

グローバル・マーケット部門は、外国為替、マネーマーケット、デリバティブ、資本市場取引など、資金取引業務やサービスに関連したさまざまな商品及びサービスで構成されている。

A31. セグメント情報(続き)**事業セグメント別状況(続き)****(b)グループ・グローバル・バンキング（「GB」）(続き)****()グループ・投資銀行部門**

投資銀行部門は、投資銀行業務及び証券仲介業務で構成されている。このセグメントでは、主として大手法人顧客及び金融機関のビジネスニーズへの対応に注力している。顧客向けに提供している商品及びサービスには、コーポレート・アドバイザー業務、債券発行、株式発行、シンジケート方式の買収アドバイザー業務、債務再編アドバイザー業務、株式及び先物売買などがある。

()グループ・資産運用部門

資産運用部門は、個人、法人及び機関投資家といった顧客に対し、さまざまな従来型の投資やイスラム金融型の投資におけるソリューションを提供する、資産及びファンド運用業務を手がけている。

(c)グループ・保険及びタカフル事業部門

保険及びタカフル事業部門は、すべての種目の損害保険及び生命保険の引受業務、オフショアの投資生命保険事業、ジェネラル・タカフル及びファミリー・タカフル事業から構成されている。

[次へ](#)

A31. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コボレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケティング部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
2022年6月30日に終了した6カ月間							
受取利息純額							
- 外部	3,797,192	2,243,936	178,830	74	672,996	(46,076)	6,846,952
- セグメント間	-	-	(13,044)	1,096	35,622	(23,674)	-
	3,797,192	2,243,936	165,786	1,170	708,618	(69,750)	6,846,952
受取利息純額	3,797,192	2,243,936	165,786	1,170	708,618	(69,750)	6,846,952
イスラム金融業務(IFS)からの収益	2,585,485	1,045,803	27,530	-	-	(222,850)	3,435,968
正味既経過保険料	-	-	-	-	4,624,542	-	4,624,542
その他の営業収益/(損失)	1,484,879	1,216,146	440,123	51,008	(1,432,447)	(445,842)	1,313,867
営業収益合計	7,867,556	4,505,885	633,439	52,178	3,900,713	(738,442)	16,221,329
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	-	-	-	-	(3,066,597)	149,340	(2,917,257)
純営業収益	7,867,556	4,505,885	633,439	52,178	834,116	(589,102)	13,304,072
一般管理費	(3,910,963)	(991,010)	(499,888)	(75,183)	(528,491)	-	(6,005,535)
減損損失前営業利益/(損失)	3,956,593	3,514,875	133,551	(23,005)	305,625	(589,102)	7,298,537
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(55,906)	(1,226,310)	1,842	-	(585)	-	(1,280,959)
金融投資に係る減損損失引当金繰入、純額	-	(333,522)	-	-	(114,942)	-	(448,464)
その他の金融資産に対する減損損失引当金繰入、純額	(135)	(21,095)	(277)	(3)	(2,378)	-	(23,888)
営業利益/(損失)	3,900,552	1,933,948	135,116	(23,008)	187,720	(589,102)	5,545,226
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	90,078	2,938	-	-	-	93,016
税金及びザカート前利益/(損失)	3,900,552	2,024,026	138,054	(23,008)	187,720	(589,102)	5,638,242
税金及びザカート							(1,642,296)
税金及びザカート控除後利益							3,995,946
非支配持分							(93,806)
当行株主に帰属する当期利益							3,902,140

A31. セグメント情報（続き）
事業セグメント別状況（続き）

	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コボレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケット部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
2022年 6 月30日に終了した 6 カ月間（続き）							
その他の営業収益の主な内訳:							
手数料収益							
コミッション	644,125	52,299	39,473	16,855	-	(142,753)	609,999
サービス料及び手数料	433,495	129,659	68,573	64,152	(6,448)	14,744	704,175
引受手数料	-	6,282	12,120	-	-	-	18,402
仲介業務収益	416	-	192,757	-	-	-	193,173
貸出金及びその他の債権に係る手数料	30,586	112,873	793	-	-	(796)	143,456
IBS業務に係る手数料収益	175,423	59,448	25,799	-	-	2,183	262,853
一般管理費の主な内訳:							
有形固定資産の減価償却費	(95,918)	(24,207)	(15,623)	(283)	(10,213)	-	(146,244)
使用権資産の減価償却費	(143,091)	(38,762)	(26,397)	(1,549)	(10,378)	-	(220,177)
無形資産の償却費	(96,303)	(25,646)	(1,689)	(317)	(14,740)	-	(138,695)

A31. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

2021年6月30日に終了した6カ月間	< ===== 事業セグメント ===== >						
	< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >					本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コーポレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケティング部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット		
受取利息純額							
- 外部	3,483,487	2,131,470	147,467	5	629,882	(465,116)	5,927,195
- セグメント間	-	-	(6,244)	1,168	25,832	(20,756)	-
	3,483,487	2,131,470	141,223	1,173	655,714	(485,872)	5,927,195
受取利息純額	3,483,487	2,131,470	141,223	1,173	655,714	(485,872)	5,927,195
イスラム金融業務（IBS）からの収益	2,151,100	937,275	23,598	-	-	731,523	3,843,496
正味既経過保険料	-	-	-	-	4,695,771	-	4,695,771
その他の営業収益/(損失)	1,432,044	1,085,175	629,345	66,042	(667,289)	(380,065)	2,165,252
営業収益合計	7,066,631	4,153,920	794,166	67,215	4,684,196	(134,414)	16,631,714
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金	-	-	-	-	(3,764,988)	132,126	(3,632,862)
純営業収益	7,066,631	4,153,920	794,166	67,215	919,208	(2,288)	12,998,852
一般管理費	(3,699,216)	(959,482)	(507,246)	(65,138)	(511,362)	-	(5,742,444)
減損損失前営業利益/(損失)	3,367,415	3,194,438	286,920	2,077	407,846	(2,288)	7,256,408
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金（繰入）/戻入、純額	(622,424)	(755,871)	450	(102)	2,925	-	(1,375,022)
金融投資に係る減損損失引当金戻入/(繰入)、純額	286	(123,427)	-	-	(3,124)	-	(126,265)
その他の金融資産に対する減損損失引当金（繰入）/戻入、純額	(24)	48,330	(6,255)	(4)	23,520	-	65,567
営業利益/(損失)	2,745,253	2,363,470	281,115	1,971	431,167	(2,288)	5,820,688
関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分	-	74,901	1,966	-	-	-	76,867
税金及びザカート前利益/(損失)	2,745,253	2,438,371	283,081	1,971	431,167	(2,288)	5,897,555
税金及びザカート							(1,436,630)
税金及びザカート控除後利益							4,460,925
非支配持分							(106,269)
当行株主に帰属する当期利益							4,354,656

A31. セグメント情報（続き）

事業セグメント別状況（続き）

< ===== 事業セグメント ===== >							
< ===== グループ・グローバル・バンキング ===== >							
	グループ・地域金融 サービス部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・コボレート・ バンキング部門及び グローバル・マーケティング部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 投資銀行部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・ 資産運用部門 千マレーシア・ リンギット	グループ・保険及び タカフル事業部門 千マレーシア・ リンギット	本部及びその他 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット
2021年 6 月30日に終了した 6 カ月間（続き）							
その他の営業収益の主な内訳:							
手数料収益							
コミッション	680,916	47,469	46,540	19,512	-	(80,966)	713,471
サービス料及び手数料	453,039	144,012	145,242	87,146	24,609	(65,454)	788,594
引受手数料	-	5,347	23,566	-	-	-	28,913
仲介業務収益	-	-	285,545	-	-	-	285,545
貸出金及びその他の債権に係る手数料	33,530	78,927	406	-	-	(5,255)	107,608
IBS業務に係る手数料収益	152,608	59,421	23,560	-	-	5,197	240,786
一般管理費の主な内訳:							
有形固定資産の減価償却費	(97,612)	(25,077)	(17,465)	(251)	(9,931)	-	(150,336)
使用権資産の減価償却費	(135,400)	(49,586)	(27,950)	(2,260)	(11,828)	-	(227,024)
無形資産の償却費	(100,688)	(27,439)	(2,328)	-	(15,439)	-	(145,894)

[次へ](#)

A32. 再評価された資産の帳簿価額

当行グループ及び当行の有形固定資産は、減価償却累計額及び（該当する場合は）減損損失累計額控除後の取得原価で計上されている。2021年12月31日に終了した前会計年度の監査済財務書類から繰り越された固定資産の評価に変更はなかった。

A33. 後発事象

注記A8() 及びB6に開示された事象以外に報告日以降に生じた重要な後発事象はなかった。

A34. 当行グループの構成の変更

2022年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループの構成に重要な変更はなかった。

A35. コミットメント及び偶発事象

通常の業務において当行グループ及び当行は様々なコミットメントを行っており、顧客に対する法的リコースを伴う偶発債務を負うことがある。これらの取引の結果、予想される重大な損失はない。

各報告日における当行グループ及び当行のリスク加重エクスポージャーは以下の通りである。

当行グループ	2022年6月30日現在			2021年12月31日現在		
	コミットメント合 計	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合 計	信用相当額*	リスク加重額*
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
偶発債務						
債務履行引受契約	11,867,371	10,788,300	6,806,998	11,386,443	9,619,014	6,400,730
特定の取引に係る偶発項目	14,285,700	7,019,798	4,552,488	14,816,515	7,262,583	4,741,385
短期の自己清算型貿易関 連偶発事象	4,997,843	1,030,096	649,300	2,952,705	890,772	645,486
	31,150,914	18,838,194	12,008,786	29,155,663	17,772,369	11,787,601
コミットメント						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	142,005,667	13,815,643	3,928,503	129,335,651	13,257,239	3,931,088
- 1年超	39,506,516	64,680,276	30,058,985	39,274,129	59,103,741	27,255,730
	181,512,183	78,495,919	33,987,488	168,609,780	72,360,980	31,186,818
その他のコミットメン ト及び偶発事象	17,046,267	551,542	62,077	12,253,800	650,577	372,009
信用関連のコミットメン ト及び偶発事象合計	229,709,364	97,885,655	46,058,351	210,019,243	90,783,926	43,346,428
デリバティブ金融商品						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	498,280,257	7,760,880	1,691,533	406,901,770	5,124,226	1,439,215
- 1年以上5年未満	34,275,266	2,197,449	1,188,237	32,254,202	2,283,685	818,744
- 5年以上	6,723,622	942,989	421,121	7,414,755	981,044	449,263
	539,279,145	10,901,318	3,300,891	446,570,727	8,388,955	2,707,222
金利関連契約:						
- 1年未満	159,025,244	43,636	23,931	131,875,702	115,485	76,531
- 1年以上5年未満	290,975,492	1,307,248	791,179	244,244,756	1,012,901	533,451
- 5年以上	160,270,251	2,258,717	1,616,768	133,976,298	2,407,964	1,755,954
	610,270,987	3,609,601	2,431,878	510,096,756	3,536,350	2,365,936

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク加重エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

	2022年6月30日現在			2021年12月31日現在		
	コミットメント			コミットメント		
	合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット
当行グループ(続き)						
<u>デリバティブ金融商品(続き)</u>						
エクイティ及びコモディティ関連契約:						
- 1年未満	7,720,643	369,459	100,325	7,599,599	557,541	186,778
- 1年以上5年未満	3,813,223	435,669	125,736	1,916,907	213,117	80,496
	11,533,866	805,128	226,061	9,516,506	770,658	267,274
信用関連契約:						
- 1年未満	53,639	-	-	40,813	-	-
トレジャリー関連のコミットメント及び偶発事象合計	1,161,137,637	15,316,047	5,958,830	966,224,802	12,695,963	5,340,432
コミットメント及び偶発事象合計	1,390,847,001	113,201,702	52,017,181	1,176,244,045	103,479,889	48,686,860
	2022年6月30日現在			2021年12月31日現在		
	コミットメント			コミットメント		
	合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット	合計 千マレーシア・ リンギット	信用相当額* 千マレーシア・ リンギット	リスク加重額* 千マレーシア・ リンギット
当行						
<u>偶発債務</u>						
債務履行引受契約	8,473,935	7,605,670	4,705,507	7,968,344	6,834,520	4,452,694
特定の取引に係る偶発項目	10,527,888	5,175,199	3,274,674	11,208,136	5,453,689	3,494,294
短期の自己清算型貿易関連偶発事象	3,779,432	750,455	472,833	2,038,008	639,758	474,809
	22,781,255	13,531,324	8,453,014	21,214,488	12,927,967	8,421,797
<u>コミットメント</u>						
取消不能の信用供与契約:						
- 1年以内	87,887,374	6,749,619	1,582,369	81,611,263	6,463,689	1,502,091
- 1年超	19,041,601	39,763,641	20,489,328	18,805,027	35,418,448	18,005,342
	106,928,975	46,513,260	22,071,697	100,416,290	41,882,137	19,507,433
その他のコミットメント及び偶発事象	12,091,970	806,081	111,777	7,930,317	923,855	426,129
信用関連のコミットメント及び偶発事象合計	141,802,200	60,850,665	30,636,488	129,561,095	55,733,959	28,355,359
<u>デリバティブ金融商品</u>						
外国為替関連契約:						
- 1年未満	483,224,217	7,334,554	1,508,069	398,004,700	4,821,371	1,324,841
- 1年以上5年未満	32,618,142	1,955,595	1,043,807	32,658,597	2,072,603	664,243
- 5年以上	6,506,504	815,715	352,134	6,574,929	853,229	378,197
	522,348,863	10,105,864	2,904,010	437,238,226	7,747,203	2,367,281

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

下記の報告日現在の当行グループ及び当行のリスク加重エクスポージャーは以下の通りである。(続き)

当行(続き)	2022年6月30日現在			2021年12月31日現在		
	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*	コミットメント合計	信用相当額*	リスク加重額*
<u>デリバティブ金融商品(続き)</u>	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット	千マレーシア・リンギット
金利関連契約:						
- 1年未満	157,665,983	39,505	22,105	131,208,314	55,878	39,177
- 1年以上5年未満	290,483,522	1,038,206	536,256	244,654,457	903,682	435,953
- 5年以上	160,270,252	2,258,717	1,616,768	132,982,456	2,407,679	1,755,705
	608,419,757	3,336,428	2,175,129	508,845,227	3,367,239	2,230,835
エクイティ及びコモディティ関連契約:						
- 1年未満	4,073,556	249,353	77,585	3,577,332	380,774	153,304
- 1年以上5年未満	3,813,223	435,669	125,736	1,916,907	213,117	80,496
	7,886,779	685,022	203,321	5,494,239	593,891	233,800
信用関連契約:						
- 1年未満	53,639	-	-	40,813	-	-
トレジャリー関連のコミットメント及び偶発事象合計	1,138,709,038	14,127,314	5,282,460	951,618,505	11,708,333	4,831,916
コミットメント及び偶発事象合計	1,280,511,238	74,977,979	35,918,948	1,081,179,600	67,442,292	33,187,275

* 信用相当額及びリスク加重額は、それぞれBNMの規定するクレジット・コンバージョン・ファクター及びリスク・ウェイトを使用し、算出している。

() 当行グループ及び当行のデリバティブは、以下の通り、市場リスク、信用リスク及び流動性リスクにさらされている。

市場リスク

デリバティブ取引における市場リスクは、株式、金利、外国為替換算レート、クレジット・スプレッド、コモディティ、又はその他インデックスなどの原資産の価格変動によりこれらの契約の価値が被る潜在的損失のことである。想定元本額もしくは契約金額は、報告日における未決済の取引残高として位置付けられているものであり、リスク量を表すものではない。市場リスクはオンバランスとオフバランスのポジションが相殺されることにより軽減できる場合がある。

信用リスク

信用リスクは、当行及び特定の子会社がカウンターパーティーの債務不履行により予定の利益を回収できなくなる可能性から生じる。当行グループの信用リスクは、収益契約の再構築コストの観点から測定すると、2022年6月30日現在において18,130.0百万マレーシア・リンギット(2021年12月31日現在: 12,757.5百万マレーシア・リンギット)であったが、この金額は契約期間にわたり主に満期日と市場レート又は価格の変動との相関により増減する。

流動性リスク

デリバティブ取引における流動性リスクとは、デリバティブ・ポジションが適時に清算できなくなることを指す。流動性リスクに係るエクスポージャーは、原資産が幅広く市場で取引されているデリバティブを締結することで低減される。

A35. コミットメント及び偶発事象(続き)

() 以下については、前期末からの変更はない。

- (a) 締結したデリバティブ金融契約のタイプ、当該契約の締結に関する合理性及びこれらの契約から得られるであろう期待利益
- (b) これらのデリバティブ金融契約に伴うリスクの軽減及び抑制のためのリスク管理方針
- (c) 関連する会計方針

A36. 自己資本充実度

(a) 自己資本充実度フレームワーク

- () マレーシア中央銀行(「BNM」)は、2020年12月9日、従来型の銀行及びイスラム銀行に対し、それぞれ自己資本及び自己資本比率の計算に関する自己資本充実度フレームワーク(資本構成)及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(資本構成)を公表した。すべての金融機関は、以下の最低所要自己資本比率を常に維持しなければならない。

普通株式等Tier 1 (CET1) 自己資本比率	Tier 1 自己資本比率	総自己資本比率
4.5%*	6.0%	8.0%

* さらに、BNM(マレーシア中央銀行)はリスクアセット(以下、「RWA」という。)合計の2.5%の資本保全バッファ及びRWA合計の0%から2.5%の幅のカウンターシクリカル資本バッファを導入している。

- () リスクアセット合計は、2019年5月3日にBNM(マレーシア中央銀行)が公表した従来型の銀行向け自己資本充実度フレームワーク(パーゼル - RWA)及びイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(RWA)双方に従って、信用RWA、市場RWA、オペレーショナルRWA及び大口信用供与規制要件の合計で算出される。

普通株式等Tier 1 自己資本、Tier 1 自己資本及び総自己資本の計算で控除されるエクスポージャーは、RWA算出における資本賦課の対象とならない。

(b) 自己資本比率の遵守と適用

当行グループ及び当行の自己資本比率は、2020年12月9日に公表されたBNM(マレーシア中央銀行)の自己資本充実度フレームワーク(資本構成)及び2019年5月3日に公表された自己資本充実度フレームワーク(パーゼル - RWA)に基づいて算出されている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

エンティティ・レベルでは、当行グループの銀行子会社の自己資本比率の計算は以下の通りである。

- () メイバンク・イスラミック・ベルハッドの自己資本比率は2020年12月9日に公表されたBNM(マレーシア中央銀行)のイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(資本構成)及び2019年5月3日に公表されたイスラム銀行向け自己資本充実度フレームワーク(RWA)に基づいて算出されている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2022年12月31日に終了する当会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%である(2021年：RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%)。

A36. 自己資本充実度（続き）

(b) 自己資本比率の遵守と適用（続き）

- () メイバンク・インベストメント・バンク・ベルハッドの自己資本比率は、2020年12月9日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）及び2019年5月3日に公表された自己資本充実度フレームワーク（バーゼル - RWA）に基づいて算出されている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2022年12月31日に終了する当会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%である（2021年：RWA合計の4.5%、6.0%及び8.0%）。

- () ピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの自己資本比率の算出は、バーゼル 資本規制に基づいた、現地における要件に基づいている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出される。

- (A) 標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク

2022年12月31日に終了する会計年度のピーティー・バンク・メイバンク・インドネシア・ティービーケーの最低自己資本要件は、RWA合計の9%から10%未満である（2021年：9%から10%未満）。

- () メイバンク・シンガポール・リミテッドの自己資本比率の算出は、シンガポール金融管理局（「MAS」）公表の2012年9月14日付MAS通達第637号（最新更新日は2021年12月2日）に基づいている。RWAの合計は以下の手法に基づいて算出されている。

- (A) 内部格付手法及び標準的手法に従った信用リスク
- (B) 標準的手法に従った市場リスク
- (C) 基礎的指標手法に従ったオペレーショナル・リスク
- (D) MAS通達第637号に基づくRWAに対する資本フロアの調整

2022年12月31日に終了する会計年度の普通株式等Tier 1、Tier 1、総自己資本の最低自己資本要件は、RWA合計の6.5%、8.0%及び10.0%である（2021年：RWA合計の6.5%、8.0%及び10.0%）。

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率

2013年6月30日の発効以降、DRPにおける普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除されるべき配当予定額は、2013年5月8日に公表されたBNM（マレーシア中央銀行）の自己資本充実度フレームワーク（資本構成）に係る実務指針（「実務指針」）によって決定されなければならない。当該実務指針に基づく、DRPの下で配当金の一部（選択可能部分）が再投資される場合、普通株式等Tier 1 自己資本の計算において控除される配当予定額は、以下の場合に減少する可能性がある。

- () 配当の選択可能部分を再投資することについて、株主から取消不能な同意を書面で入手している場合、又は
- () 取消不能な同意が書面で提供されておらず、その額の対象となる直近3年間の受入率の平均が、配当の選択可能部分の合計の50%を超えない場合

A36. 自己資本充実度（続き）

(c) 当行グループ及び当行の自己資本比率（続き）

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の自己資本比率を算出するにあたって、第1回シングルTier中間配当案は普通株式等Tier1自己資本の計算から控除されていない。

上記に基づく当行グループ及び当行の自己資本比率は以下の通りである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
普通株式等Tier1自己資本比率	14.975%	16.090%	14.071%	15.462%
Tier1自己資本比率	15.675%	16.810%	14.806%	16.223%
総自己資本比率	<u>18.344%</u>	<u>19.518%</u>	<u>17.296%</u>	<u>18.785%</u>

A36. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット	千マレーシア・ リングギット
普通株式等Tier 1 自己資本				
株式資本	53,913,584	53,156,473	53,913,584	53,156,473
利益剰余金 ¹	21,114,375	22,116,695	14,711,728	15,237,128
その他準備金 ¹	1,084,740	2,375,413	2,776,674	4,144,604
適格非支配持分	113,265	114,198	-	-
規制上の調整前の普通株式等Tier 1自己資本	76,225,964	77,762,779	71,401,986	72,538,205
控除：普通株式等Tier 1 自己資本に係る規制 上の調整項目：	(14,191,948)	(12,682,495)	(36,954,826)	(35,974,034)
繰延税金資産	(2,387,938)	(1,411,183)	(1,288,861)	(468,101)
のれん	(5,712,031)	(5,613,782)	(81,015)	(81,015)
その他の無形資産	(883,356)	(894,736)	(310,454)	(325,666)
「その他の包括利益を通じて公正価値で測定す るもの」に分類される金融商品に係る利得	(108,115)	(371,487)	(145,727)	(301,887)
規制準備金	(2,127,045)	(1,315,261)	(1,507,146)	(1,180,201)
非連結の金融機関及び保険/タカフル事業体 の普通株式への投資額 ²	(2,973,463)	(3,076,046)	(33,621,623)	(33,617,164)
普通株式等Tier 1 自己資本合計	62,034,016	65,080,284	34,447,160	36,564,171
その他Tier 1 自己資本				
資本性証券	2,800,000	2,800,000	2,800,000	2,800,000
第三者が保有する適格普通株式等Tier 1 及び その他Tier 1 資本調達手段	98,283	113,077	-	-
控除：非連結の金融機関及び保険/タカフル事業 体の資本調達手段への投資額	-	-	(1,000,000)	(1,000,000)
Tier 1 自己資本合計	64,932,299	67,993,361	36,247,160	38,364,171
Tier 2 自己資本				
劣後債務	9,700,000	9,700,000	9,700,000	9,700,000
第三者の保有する適格普通株式等Tier 1 並びに その他Tier 1 及びTier 2 資本調達手段	37,867	41,180	-	-
一般引当金 ³	239,414	239,683	33,928	28,571
期待損失の合計額を超える引当金合計の超過額	1,770,433	1,663,655	1,102,258	1,025,761
控除：非連結の金融機関及び保険/タカフル事業 体の資本調達手段への投資額	(691,000)	(691,000)	(4,741,775)	(4,696,676)
Tier 2 資本合計	11,056,714	10,953,518	6,094,411	6,057,656
資本合計	75,989,013	78,946,879	42,341,571	44,421,827

¹ 当行グループについて、保険及びタカフル事業からの利益剰余金及びその他準備金の額は含まない。当行について、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッドの利益剰余金及びその他準備金の額を含む。

² 当行について、規制上の調整項目には、子会社及び関連会社への投資原価を含むが、(i)事業、資産及び負債が当行に譲渡された、ミフィン・ベルハッドの18,994,000マレーシア・リングギット、及び()その資産が当行のRWAに含まれている、メイバンク・インターナショナル（L）リミテッドの10,289,000マレーシア・リングギットを除く。当行グループについて、規制上の調整項目には、保険/タカフル事業体における関連会社及び投資の簿価を含む。

³ 信用リスクの標準的手法に基づき決定された、信用減損をしないエクスポージャーに起因するもののうち、12カ月及び全期間の予想信用損失モデル及び規制準備金と同額で測定された損失引当金をいう。

当行グループの自己資本比率は、当行及び子会社の連結勘定残高から算出されるが、保険及びタカフル事業体及び関連会社への投資は含まない。

A36. 自己資本充実度（続き）

(d) 資本の構成（続き）

当行の自己資本比率は、当行及び完全所有の海外銀行子会社であるメイバンク・インターナショナル（L）リミテッドから、子会社及び関連会社に対する投資（上記に開示されている、ミフィン・ベルハッド及びメイバンク・インターナショナル（L）リミテッドへの投資を除く）を除いたものから導出されている。

(e) 当行の銀行子会社の自己資本比率は以下の通りである。

	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ベ ルハッド	ビーティー・バン ク・メイバンク・ インドネシア・ ティーピーケー	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド
<u>2022年6月30日現在</u>				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	14.269%	24.869%	-	12.803%
Tier 1 自己資本比率	15.418%	24.869%	-	12.803%
総自己資本比率	<u>18.254%</u>	<u>26.980%</u>	<u>25.902%</u>	<u>16.697%</u>
<u>2021年12月31日現在</u>				
普通株式等Tier 1 自己資本比率	15.981%	26.457%	-	13.338%
Tier 1 自己資本比率	17.173%	26.457%	-	13.338%
総自己資本比率	<u>20.077%</u>	<u>28.325%</u>	<u>26.917%</u>	<u>17.298%</u>

A36. 自己資本充実度（続き）

(f) 主要リスク・カテゴリー別のリスクアセットの内訳は以下の通りである。

2022年6月30日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・バン ク・メイバンク・ インドネシア・ ティービーケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケールリング・ファク ター考慮後の内部格付手 法 エクスポージャー	50,209,900	20,601,426	2,296,523	692,370	26,005,009	17,242,478
信用評価調整	-	-	-	-	-	426,212
信用リスクのリスクアセット 合計	345,282,074	204,311,159	88,491,949	692,370	26,005,009	44,191,642
メイバンク及び投資口座保有 者によって吸収される信用リ スクのリスクアセット合計 [*]	-	-	(12,206,889)	-	-	-
市場リスクのリスクアセット 合計	23,191,593	18,817,008	603,700	693,915	673,653	19,015
オペレーショナル・リス クのリスクアセット合計	45,766,713	21,684,191	10,178,434	994,887	5,532,264	3,636,206
リスクアセット合計	414,240,380	244,812,358	87,067,194	2,381,172	32,210,926	47,846,863

2021年12月31日現在

	当行グループ 千マレーシア・ リンギット	当行 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ イスラミック・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ インベストメン ト・バンク・ ベルハッド 千マレーシア・ リンギット	ビーティー・バン ク・メイバンク・ インドネシア・ ティービーケー 千マレーシア・ リンギット	メイバンク・ シンガポール・ リミテッド 千マレーシア・ リンギット
標準的手法エクスポージャー スケールリング・ファクター 考慮後の内部格付手法 エクスポージャー	52,579,597	21,873,056	2,192,197	692,518	24,313,438	15,833,548
信用評価調整	-	-	-	-	-	40,677
信用リスクのリスクアセット 合計	329,855,488	192,833,309	85,813,423	692,518	24,313,438	42,100,658
メイバンク及び投資口座保有 者によって吸収される信用リ スクのリスクアセット合計 [*]	-	-	(12,759,358)	-	-	-
市場リスクのリスクアセット 合計	30,188,261	22,637,025	1,316,769	956,325	794,836	11,139
オペレーショナル・リス クのリスクアセット合計	44,431,300	21,010,913	9,507,656	977,452	5,714,900	3,580,829
リスクアセット合計	404,475,049	236,481,247	83,878,490	2,626,295	30,823,174	45,692,626

^{*} 投資口座に関するBNM（マレーシア中央銀行）の方針に従って、投資口座（制限のない投資口座と制限付投資口座）による資金に係る信用リスクのリスクアセットは、当行の自己資本比率の計算からは除外されている。

A37. デリバティブ金融商品

下表は、トレーディング目的デリバティブとヘッジ目的保有金融商品の契約金額又は元本金額を要約したものである。これらの商品の元本金額又は契約金額は、報告日現在の取引残高規模を表しており、リスク金額を表したのではない。

デリバティブ金融商品は総額ポジションで再評価され、未実現利得又は損失は「デリバティブ金融商品」の資産と負債にそれぞれ反映されている。

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2022年6月30日現在						
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡取引:						
- 1年未満	64,002,343	833,711	(502,256)	45,078,727	649,329	(252,922)
- 1年以上3年以内	1,762,273	55,262	(6,174)	1,589,870	55,262	(6,174)
- 3年超	4,305,211	80,737	(8,288)	3,153,028	80,737	(8,288)
	<u>70,069,827</u>	<u>969,710</u>	<u>(516,718)</u>	<u>49,821,625</u>	<u>785,328</u>	<u>(267,384)</u>
通貨スワップ:						
- 1年未満	408,963,554	3,203,681	(3,522,273)	411,220,661	3,197,720	(3,491,896)
- 1年以上3年以内	1,284,567	7,409	(826)	1,240,500	7,391	(826)
	<u>410,248,121</u>	<u>3,211,090</u>	<u>(3,523,099)</u>	<u>412,461,161</u>	<u>3,205,111</u>	<u>(3,492,722)</u>
通貨スポット:						
- 1年未満	8,134,602	7,124	(29,625)	7,896,527	7,211	(14,653)
通貨オプション:						
- 1年未満	7,459,952	110,938	(78,514)	9,761,084	110,882	(78,172)
- 1年以上3年以内	2,828,828	956	(1,584)	2,828,828	956	(1,584)
- 3年超	938,629	11,608	(22,673)	1,048,787	11,608	(17,488)
	<u>11,227,409</u>	<u>123,502</u>	<u>(102,771)</u>	<u>13,638,699</u>	<u>123,446</u>	<u>(97,244)</u>
クロスカレンシー金利スワップ ¹ :						
- 1年未満	6,529,370	164,723	(184,792)	6,076,782	155,049	(161,211)
- 1年以上3年以内	13,111,201	339,013	(559,512)	12,106,179	335,928	(542,293)
- 3年超	10,085,684	160,534	(451,217)	10,474,959	174,116	(459,353)
	<u>29,726,255</u>	<u>664,270</u>	<u>(1,195,521)</u>	<u>28,657,920</u>	<u>665,093</u>	<u>(1,162,857)</u>
金利関連契約						
金利スワップ ² :						
- 1年未満	129,693,064	471,538	(510,008)	130,008,342	469,264	(507,356)
- 1年以上3年以内	178,391,381	1,564,668	(1,610,428)	178,621,874	1,562,110	(1,586,200)
- 3年超	247,829,612	10,185,016	(9,816,922)	247,988,488	10,270,644	(9,799,760)
	<u>555,914,057</u>	<u>12,221,222</u>	<u>(11,937,358)</u>	<u>556,618,704</u>	<u>12,302,018</u>	<u>(11,893,316)</u>
金利先物:						
- 1年未満	24,925,680	434,033	(284,996)	23,251,141	425,253	(284,845)
- 1年以上3年以内	2,203,286	4,365	(4,401)	1,321,950	1,804	(4,401)
	<u>27,128,966</u>	<u>438,398</u>	<u>(289,397)</u>	<u>24,573,091</u>	<u>427,057</u>	<u>(289,246)</u>
金利オプション:						
- 1年以上3年以内	917,483	277	-	917,483	277	-
- 3年超	14,313,784	812,453	(1,942,888)	14,313,782	812,453	(1,942,888)
	<u>15,231,267</u>	<u>812,730</u>	<u>(1,942,888)</u>	<u>15,231,265</u>	<u>812,730</u>	<u>(1,942,888)</u>

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
<u>2022年6月30日現在（続き）</u>						
<u>トレーディング目的デリバティブ</u>						
<u>（続き）</u>						
<u>エクイティ関連契約</u>						
エクイティオプション:						
- 1年未満	1,946,198	260,664	(247,609)	-	-	-
エクイティスワップ:						
- 1年未満	1,700,889	52,842	(235,912)	-	-	-
<u>コモディティ関連契約</u>						
コモディティオプション:						
- 1年未満	4,013,171	232,933	(232,933)	4,013,171	232,933	(232,933)
- 1年以上3年以内	3,749,711	412,600	(412,600)	3,749,711	412,600	(412,600)
	7,762,882	645,533	(645,533)	7,762,882	645,533	(645,533)
コモディティスワップ:						
- 1年未満	60,385	6,671	(6,554)	60,385	6,671	(6,554)
- 1年以上3年以内	63,512	11,672	(10,861)	63,512	11,672	(10,861)
	123,897	18,343	(17,415)	123,897	18,343	(17,415)
<u>信用関連契約</u>						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1年未満	53,639	759	(1,152)	53,639	759	(1,152)
<u>ヘッジ目的デリバティブ</u>						
<u>外国為替関連契約</u>						
クロスカレンシー金利スワップ ¹ :						
- 1年未満	3,190,436	5,736	(267,723)	3,190,436	5,736	(267,723)
- 1年以上3年以内	4,234,339	61,625	(285,828)	4,234,339	61,625	(285,828)
- 3年超	2,448,156	183,318	(225,493)	2,448,156	183,318	(225,493)
	9,872,931	250,679	(779,044)	9,872,931	250,679	(779,044)
<u>金利関連契約</u>						
金利スワップ ² :						
- 1年未満	4,406,500	37,246	-	4,406,500	37,246	-
- 1年以上3年以内	3,800,166	87,547	(3,517)	3,800,166	87,547	(3,517)
- 3年超	3,790,031	303,995	(86,521)	3,790,031	303,995	(86,521)
	11,996,697	428,788	(90,038)	11,996,697	428,788	(90,038)
MFRS第132号に基づく ネットイン効果	-	(1,975,681)	1,975,681	-	(1,964,527)	1,964,527
合計	1,161,137,637	18,129,973	(19,578,399)	1,138,709,038	17,707,569	(18,728,965)

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2021年12月31日現在						
トレーディング目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
通貨先渡取引:						
- 1年未満	52,383,104	302,518	(267,344)	36,270,399	230,913	(210,434)
- 1年以上3年以内	1,368,972	37,563	(15,412)	1,292,477	37,563	(15,412)
- 3年超	4,443,362	16,814	(20,326)	3,237,237	16,814	(20,326)
	<u>58,195,438</u>	<u>356,895</u>	<u>(303,082)</u>	<u>40,800,113</u>	<u>285,290</u>	<u>(246,172)</u>
通貨スワップ:						
- 1年未満	334,544,842	1,422,674	(1,758,763)	343,545,168	1,434,155	(1,740,320)
- 1年以上3年以内	84,540	96	-	84,540	96	-
	<u>334,629,382</u>	<u>1,422,770</u>	<u>(1,758,763)</u>	<u>343,629,708</u>	<u>1,434,251</u>	<u>(1,740,320)</u>
通貨スポット:						
- 1年未満	2,787,249	2,845	(4,455)	2,351,579	2,915	(3,264)
通貨オプション:						
- 1年未満	4,263,239	41,533	(12,729)	4,264,155	41,510	(12,638)
- 1年以上3年以内	2,928,432	36,278	(62,034)	4,472,729	36,278	(51,794)
- 3年超	434,595	60	(60)	434,595	60	(60)
	<u>7,626,266</u>	<u>77,871</u>	<u>(74,823)</u>	<u>9,171,479</u>	<u>77,848</u>	<u>(64,492)</u>
クロスカレンシー金利スワップ ¹ :						
- 1年未満	8,699,273	122,232	(231,409)	7,349,336	101,589	(219,613)
- 1年以上3年以内	14,357,194	320,927	(301,169)	13,232,126	281,420	(295,644)
- 3年超	9,828,580	97,311	(72,747)	10,256,540	104,367	(70,192)
	<u>32,885,047</u>	<u>540,470</u>	<u>(605,325)</u>	<u>30,838,002</u>	<u>487,376</u>	<u>(585,449)</u>
金利関連契約						
金利スワップ ² :						
- 1年未満	115,941,022	257,333	(840,725)	116,356,648	256,095	(839,789)
- 1年以上3年以内	132,517,351	976,201	(1,099,843)	132,453,526	946,461	(1,092,720)
- 3年超	220,803,025	6,453,389	(5,074,187)	220,782,561	6,588,296	(5,071,126)
	<u>469,261,398</u>	<u>7,686,923</u>	<u>(7,014,755)</u>	<u>469,592,735</u>	<u>7,790,852</u>	<u>(7,003,635)</u>
金利先物:						
- 1年未満	15,308,880	310,590	(385,647)	14,225,866	309,504	(385,647)
- 1年以上3年以内	10,333,256	3,364	(2,870)	9,833,404	2,824	(2,870)
	<u>25,642,136</u>	<u>313,954</u>	<u>(388,517)</u>	<u>24,059,270</u>	<u>312,328</u>	<u>(388,517)</u>
金利オプション:						
- 1年以上3年以内	1,038,434	15,728	-	1,038,434	15,728	-
- 3年超	11,415,453	1,829,292	(2,203,322)	11,415,453	1,829,292	(2,203,322)
	<u>12,453,887</u>	<u>1,845,020</u>	<u>(2,203,322)</u>	<u>12,453,887</u>	<u>1,845,020</u>	<u>(2,203,322)</u>

A37. デリバティブ金融商品（続き）

	当行グループ			当行		
	<----- 公正価値 ----->			<----- 公正価値 ----->		
	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット	元本額 千マレーシア・ リンギット	資産 千マレーシア・ リンギット	負債 千マレーシア・ リンギット
2021年12月31日現在（続き）						
トレーディング目的デリバティブ （続き）						
エクイティ関連契約						
エクイティオプション：						
- 1年未満	1,993,390	207,356	(87,769)	-	-	-
エクイティスワップ：						
- 1年未満	2,028,877	46,295	(63,362)	-	-	-
コモディティ関連契約						
コモディティオプション：						
- 1年未満	3,535,516	245,936	(245,936)	3,535,516	245,936	(245,936)
- 1年以上3年以内	1,891,668	173,476	(173,476)	1,891,668	173,476	(173,476)
	5,427,184	419,412	(419,412)	5,427,184	419,412	(419,412)
コモディティスワップ：						
- 1年未満	41,816	5,876	(5,532)	41,816	5,876	(5,532)
- 1年以上3年以内	25,239	2,767	(2,461)	25,239	2,767	(2,461)
	67,055	8,643	(7,993)	67,055	8,643	(7,993)
信用関連契約						
クレジット・デフォルト・スワップ						
- 1年未満	40,813	468	(807)	40,813	468	(807)
ヘッジ目的デリバティブ						
外国為替関連契約						
クロスカレンシー金利スワップ ¹ ：						
- 1年未満	4,224,063	76,783	(76,595)	4,224,063	76,783	(76,595)
- 1年以上3年以内	3,726,057	128,940	(110,637)	3,726,057	128,940	(110,637)
- 3年超	2,497,225	97,570	(58,369)	2,497,225	97,570	(58,369)
	10,447,345	303,293	(245,601)	10,447,345	303,293	(245,601)
金利関連契約						
金利スワップ ² ：						
- 1年未満	625,800	3,605	(1,803)	625,800	3,605	(1,803)
- 1年以上3年以内	83,440	-	(844)	83,440	-	(844)
- 3年超	2,030,095	67,503	(3,390)	2,030,095	67,503	(3,390)
	2,739,335	71,108	(6,037)	2,739,335	71,108	(6,037)
MFRS第132号に基づく ネットティング効果	-	(545,848)	545,848	-	(540,365)	540,365
合計	966,224,802	12,757,475	(12,638,175)	951,618,505	12,498,439	(12,374,656)

¹ 当行グループ及び当行がヘッジ目的で保有しているクロスカレンシー金利スワップの契約上の想定元本額のうち、銀行間取引金利に基づく金額は、8,032.3百万マレーシア・リンギット（2021年12月31日現在：7,603.5百万マレーシア・リンギット）である。

² 当行グループ及び当行がヘッジ目的で保有している金利スワップの契約上の想定元本額のうち、銀行間取引金利に基づく金額は、586.1百万マレーシア・リンギット（2021年12月31日現在：763.5百万マレーシア・リンギット）である。

A38. 金融商品の公正価値測定

評価原則

金融商品全体が分類されるヒエラルキーのレベルは、開示上、ポジションの公正価値測定に重要な最も低いレベルのインプットに基づいている。

(a) レベル1：同一の資産及び負債の活発な市場における相場価格（未調整）

相場価格が、取引所から迅速かつ定期的に入手可能であり、独立第三者間で実際にかつ定期的に発生する相場価格を表す場合、活発な市場で価格を提示されたとみなされる金融商品を意味する。当該金融商品には、活発に売買される政府証券、上場デリバティブ及び取引所で売買される現物商品が含まれる。

(b) レベル2：重要なインプットがすべて観察可能な市場データである、又は観察可能な市場データに基づく評価技法

資産又は負債に対し、直接（すなわち、価格）又は間接（すなわち、価格から導かれる）的に観察可能なレベル1に含まれる相場価格以外のインプットをいう。レベル2の金融商品の例には、店頭（「OTC」）デリバティブ、社債その他国債、非流動株式、市場における同質又は類似の特性を持つ消費者ローン及び債権が含まれる。

(c) レベル3：重要なインプットが観察可能な市場データに基づかない評価技法

公正価値が重要な観察不能なインプットを使用して測定される商品を用いる。この評価技法は、レベル2と矛盾しないが当行グループ及び当行の独自の前提及びデータを取り込んでいる。レベル3商品の例には、主に内部与信評価に基づき価格付けされる非流動市場における社債、未公開株投資、貸出金及び債権が含まれる。

当行グループ及び当行の、2022年6月30日現在及び2021年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。

当行グループ	市場の 相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
2022年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産:				
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定 するものとして指定された金融資産	5,460	12,702,457	-	12,707,917
マネーマーケット商品	-	734,749	-	734,749
上場証券	5,460	-	-	5,460
非上場証券	-	11,967,708	-	11,967,708
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	11,368,490	13,714,946	860,638	25,944,074
マネーマーケット商品	-	8,340,539	-	8,340,539
上場証券	11,368,490	-	-	11,368,490
非上場証券	-	5,374,407	860,638	6,235,045
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	5,192,701	117,140,162	555,306	122,888,169
マネーマーケット商品	-	59,551,468	-	59,551,468
上場証券	5,192,701	-	-	5,192,701
非上場証券	-	57,588,694	555,306	58,144,000
純損益を通じて公正価値で測定する貸出 金及びその他の債権	-	-	15,904	15,904
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	29,386,378	29,386,378

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2022年6月30日現在及び2021年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行グループ（続き）	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2022年6月30日現在（続き）				
公正価値で測定する金融資産：（続き）				
デリバティブ資産	-	17,484,440	645,533	18,129,973
外国為替関連契約	-	5,226,375	-	5,226,375
金利関連契約	-	13,901,138	-	13,901,138
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	331,849	645,533	977,382
信用関連契約	-	759	-	759
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,975,681)	-	(1,975,681)
	16,566,651	161,042,005	31,463,759	209,072,415

公正価値で測定する金融負債：

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	9,242,296	-	9,242,296
仕組預金	-	171,988	-	171,988
借入金	-	9,070,308	-	9,070,308
デリバティブ負債	-	18,932,866	645,533	19,578,399
外国為替関連契約	-	6,146,778	-	6,146,778
金利関連契約	-	14,259,681	-	14,259,681
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	500,936	645,533	1,146,469
信用関連契約	-	1,152	-	1,152
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,975,681)	-	(1,975,681)
	-	28,175,162	645,533	28,820,695

当行グループ	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リンギット	
2021年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産：				
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定 するものとして指定された金融資産	4,096	13,177,770	-	13,181,866
マネーマーケット商品	-	714,373	-	714,373
上場証券	4,096	-	-	4,096
非上場証券	-	12,463,397	-	12,463,397
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	11,902,031	15,012,817	860,645	27,775,493
マネーマーケット商品	-	9,951,049	-	9,951,049
上場証券	11,902,031	-	-	11,902,031
非上場証券	-	5,061,768	860,645	5,922,413
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融投資	5,098,873	116,868,864	426,217	122,393,954
マネーマーケット商品	-	61,262,217	-	61,262,217
上場証券	5,098,873	-	-	5,098,873
非上場証券	-	55,606,647	426,217	56,032,864
純損益を通じて公正価値で測定する貸出 金及びその他の債権	-	-	15,491	15,491
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する貸出金及びその他の債権	-	-	21,763,013	21,763,013

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2022年6月30日現在及び2021年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

当行グループ（続き）	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リングット	評価技法		合計 千マレーシア・ リングット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リングット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リングット	
2021年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産：（続き）				
デリバティブ資産	-	12,336,825	420,650	12,757,475
外国為替関連契約	-	2,704,144	-	2,704,144
金利関連契約	-	9,917,005	-	9,917,005
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	261,056	420,650	681,706
信用関連契約	-	468	-	468
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(545,848)	-	(545,848)
	17,005,000	157,396,276	23,486,016	197,887,292
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	10,696,966	-	10,696,966
仕組預金	-	40,988	-	40,988
借入金	-	10,655,978	-	10,655,978
デリバティブ負債	-	12,217,525	420,650	12,638,175
外国為替関連契約	-	2,992,049	-	2,992,049
金利関連契約	-	9,612,631	-	9,612,631
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	157,886	420,650	578,536
信用関連契約	-	807	-	807
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(545,848)	-	(545,848)
	-	22,914,491	420,650	23,335,141
当行				
	市場の相場価格 （レベル1） 千マレーシア・ リングット	評価技法		合計 千マレーシア・ リングット
		観察可能な インプット （レベル2） 千マレーシア・ リングット	観察不能な インプット （レベル3） 千マレーシア・ リングット	
2022年6月30日現在				
公正価値で測定する金融資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	539,017	12,448,713	700,280	13,688,010
マネーマーケット商品	-	7,883,685	-	7,883,685
上場証券	539,017	-	-	539,017
非上場証券	-	4,565,028	700,280	5,265,308
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	16,922	72,448,185	519,892	72,984,999
マネーマーケット商品	-	29,404,962	-	29,404,962
上場証券	16,922	-	-	16,922
非上場証券	-	43,043,223	519,892	43,563,115
純損益を通じて公正価値で測定する貸出 金及びその他の債権	-	-	15,904	15,904
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	26,639,603	26,639,603
デリバティブ資産	-	17,062,036	645,533	17,707,569
外国為替関連契約	-	5,036,868	-	5,036,868
金利関連契約	-	13,970,593	-	13,970,593
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	18,343	645,533	663,876
信用関連契約	-	759	-	759
改訂MFRS第132号に基づくネットティング 効果	-	(1,964,527)	-	(1,964,527)
	555,939	101,958,934	28,521,212	131,036,085

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2022年6月30日現在及び2021年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

	市場の相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行（続き）				
2022年6月30日現在				
公正価値で測定する金融負債：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	9,242,296	-	9,242,296
仕組預金	-	171,988	-	171,988
借入金	-	9,070,308	-	9,070,308
デリバティブ負債	-	18,083,432	645,533	18,728,965
外国為替関連契約	-	5,813,904	-	5,813,904
金利関連契約	-	14,215,488	-	14,215,488
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	17,415	645,533	662,948
信用関連契約	-	1,152	-	1,152
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(1,964,527)	-	(1,964,527)
	-	27,325,728	645,533	27,971,261
公正価値で測定する金融資産：				
当行				
2021年12月31日現在				
公正価値で測定する金融資産：				
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	578,310	12,725,264	700,280	14,003,854
マネーマーケット商品	-	8,733,992	-	8,733,992
上場証券	578,310	-	-	578,310
非上場証券	-	3,991,272	700,280	4,691,552
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	15,490	70,255,232	392,339	70,663,061
マネーマーケット商品	-	29,385,555	-	29,385,555
上場証券	15,490	-	-	15,490
非上場証券	-	40,869,677	392,339	41,262,016
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	15,491	15,491
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	-	-	19,301,237	19,301,237
デリバティブ資産	-	12,077,789	420,650	12,498,439
外国為替関連契約	-	2,590,973	-	2,590,973
金利関連契約	-	10,019,308	-	10,019,308
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	7,405	420,650	428,055
信用関連契約	-	468	-	468
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(540,365)	-	(540,365)
	593,800	95,058,285	20,829,997	116,482,082

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

当行グループ及び当行の、2022年6月30日現在及び2021年12月31日現在の公正価値で測定される非金融資産、金融資産及び金融負債の公正価値ヒエラルキーにおける分類は、以下の表に要約される。（続き）

	市場の相場価格 (レベル1) 千マレーシア・ リンギット	評価技法		合計 千マレーシア・ リンギット
		観察可能な インプット (レベル2) 千マレーシア・ リンギット	観察不能な インプット (レベル3) 千マレーシア・ リンギット	
当行（続き）				
2021年12月31日現在				
公正価値で測定する金融負債:				
純損益を通じて公正価値で測定する金融負債	-	10,696,966	-	10,696,966
仕組預金		40,988	-	40,988
借入金	-	10,655,978	-	10,655,978
デリバティブ負債	-	11,954,006	420,650	12,374,656
外国為替関連契約	-	2,885,298	-	2,885,298
金利関連契約	-	9,601,511	-	9,601,511
エクイティ及びコモディティ関連契約	-	6,755	420,650	427,405
信用関連契約	-	807	-	807
改訂MFRS第132号に基づくネットティング効果	-	(540,365)	-	(540,365)
	-	22,650,972	420,650	23,071,622

評価技法

相場価格を参照して決定（レベル1）されない金融資産、非金融資産及び金融負債に使用される評価技法は以下の通りである。

デリバティブ

当行グループ及び当行のデリバティブ金融商品の公正価値は、割引キャッシュ・フロー分析、オプション・プライシング・モデル及びベンチマーキング・モデルを使用して決定される。

当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融資産、純損益を通じて公正価値で測定する金融投資及びその他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資

これらの金融資産及び金融投資の公正価値は、外部のデータプロバイダー及び外部のブローカーの提示価格を参照して決定される。社会経済上の目的で保有される非上場の資本性証券（レベル3に分類）の公正価値は、当該企業が有する有形資産純額に基づき決定される。

純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権、並びにその他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権

これらの公正価値は、信用力が類似した新たな借手に対する類似の貸出に提示される、報告日現在適用可能な実勢レートで割り引かれた、契約上の分割弁済額の将来予想キャッシュ・フローに基づき見積もられる。

純損益を通じて公正価値で測定する金融負債

純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定された金融負債の公正価値は、割引キャッシュ・フローを使用して決定される。

[次へ](#)

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表

当行グループ	2022年 1月1日現在 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に計上 したその他の (損失)/利得* 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に計上 した未実現 (損失)/利得# 千マレーシア・ リンギット	その他の包括利益に 計上した 未実現(損失)/利得 千マレーシア・ リンギット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リンギット	売却 千マレーシア・ リンギット	決済 千マレーシア・ リンギット	為替換算差額 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット
2022年 6月30日現在									
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	860,645	-	-	-	-	-	-	(7)	860,638
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	426,217	(2,268)	-	(13,674)	143,519	-	-	1,512	555,306
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	15,491	-	-	-	13	-	-	400	15,904
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	21,763,013	-	-	73,517	9,015,169	-	(1,970,587)	505,266	29,386,378
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ関連契約	420,650	302,742	(18,475)	-	427,949	(487,333)	-	-	645,533
レベル3金融資産合計	23,486,016	300,474	(18,475)	59,843	9,586,650	(487,333)	(1,970,587)	507,171	31,463,759
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ関連契約	(420,650)	(258,990)	18,451	-	(427,949)	443,605	-	-	(645,533)
レベル3金融負債合計	(420,650)	(258,990)	18,451	-	(427,949)	443,605	-	-	(645,533)
レベル3金融資産/(負債)純額合計	23,065,366	41,484	(24)	59,843	9,158,701	(43,728)	(1,970,587)	507,171	30,818,226

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金繰入」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行グループ	2021年 1月1日現在 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に計上 * したその他の利得 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上した未実現 # 利得/(損失) 千マレーシア・ リンギット	その他の包括利益に 計上した未実現 (損失)/利得 千マレーシア・ リンギット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リンギット	売却 千マレーシア・ リンギット	決済 千マレーシア・ リンギット	為替換算差額 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日現在 千マレーシア・ リンギット
2021年12月31日現在									
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	871,228	10,029	28,665	-	-	(49,269)	-	(8)	860,645
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	543,842	-	-	(119,255)	-	-	-	1,630	426,217
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	170,712	-	-	-	15,491	-	(176,044)	5,332	15,491
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	16,031,857	-	-	25,845	10,914,879	-	(5,464,275)	254,707	21,763,013
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ関連契約	53,913	906,975	193,932	-	258,058	(992,228)	-	-	420,650
レベル3金融資産合計	17,671,552	917,004	222,597	(93,410)	11,188,428	(1,041,497)	(5,640,319)	261,661	23,486,016
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ関連契約	(53,913)	918,875	(193,932)	-	(258,058)	(833,622)	-	-	(420,650)
レベル3金融負債合計	(53,913)	918,875	(193,932)	-	(258,058)	(833,622)	-	-	(420,650)
レベル3金融資産/(負債)純額合計	17,617,639	1,835,879	28,665	(93,410)	10,930,370	(1,875,119)	(5,640,319)	261,661	23,065,366

* 「その他の営業収益」、「金融投資に対する減損損失引当金繰入」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる。

「その他の営業収益」及び「イスラム金融業務からの収益」に含まれる

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2022年 1月1日現在 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上したその他の * (損失)/利得 千マレーシア・ リンギット	損益計算書に 計上した未実現 # (損失)/利得 千マレーシア・ リンギット	その他の包括利益に 計上した未実現 (損失)/利得 千マレーシア・ リンギット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リンギット	売却 千マレーシア・ リンギット	決済 千マレーシア・ リンギット	為替換算差額 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日現在 千マレーシア・ リンギット
2022年6月30日現在									
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	700,280	-	-	-	-	-	-	-	700,280
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	392,339	(2,268)	-	(13,698)	143,519	-	-	-	519,892
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	15,491	-	-	-	13	-	-	400	15,904
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	19,301,237	-	-	29,929	8,898,361	-	(2,088,115)	498,191	26,639,603
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ関連契約	420,650	302,742	(18,475)	-	427,949	(487,333)	-	-	645,533
レベル3金融資産合計	20,829,997	300,474	(18,475)	16,231	9,469,842	(487,333)	(2,088,115)	498,591	28,521,212
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ関連契約	(420,650)	(258,990)	18,451	-	(427,949)	443,605	-	-	(645,533)
レベル3金融負債合計	(420,650)	(258,990)	18,451	-	(427,949)	443,605	-	-	(645,533)
レベル3金融資産/(負債)純額合計	20,409,347	41,484	(24)	16,231	9,041,893	(43,728)	(2,088,115)	498,591	27,875,679

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金(繰入)/戻入」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

A38. 金融商品の公正価値測定（続き）

公正価値ヒエラルキーにおけるレベル3の公正価値測定の調整表（続き）

当行	2021年 1月1日現在 千マレーシア・ リングギット	損益計算書に 計上した* その他の利得 千マレーシア・ リングギット	損益計算書に 計上した未実現 利得/(損失) 千マレーシア・ リングギット	その他の包括利益に 計上した未実現 (損失)/利得 千マレーシア・ リングギット	購入/発行/取得 千マレーシア・ リングギット	売却 千マレーシア・ リングギット	決済 千マレーシア・ リングギット	為替換算差額 千マレーシア・ リングギット	2021年 12月31日現在 千マレーシア・ リングギット
2021年12月31日現在									
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	682,508	-	17,772	-	-	-	-	-	700,280
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資									
非上場証券	511,617	-	-	(119,278)	-	-	-	-	392,339
純損益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	170,712	-	-	-	15,491	-	(176,044)	5,332	15,491
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する貸出金及びその他の債権	13,290,590	-	-	25,846	10,849,203	-	(5,114,925)	250,523	19,301,237
デリバティブ資産									
エクイティ及びコモディティ関連契約	53,913	906,975	193,932	-	258,058	(992,228)	-	-	420,650
レベル3金融資産合計	<u>14,709,340</u>	<u>906,975</u>	<u>211,704</u>	<u>(93,432)</u>	<u>11,122,752</u>	<u>(992,228)</u>	<u>(5,290,969)</u>	<u>255,855</u>	<u>20,829,997</u>
デリバティブ負債									
エクイティ及びコモディティ関連契約	(53,913)	918,875	(193,932)	-	(258,058)	(833,622)	-	-	(420,650)
レベル3金融負債合計	<u>(53,913)</u>	<u>918,875</u>	<u>(193,932)</u>	<u>-</u>	<u>(258,058)</u>	<u>(833,622)</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>(420,650)</u>
レベル3金融資産/(負債)純額合計	<u>14,655,427</u>	<u>1,825,850</u>	<u>17,772</u>	<u>(93,432)</u>	<u>10,864,694</u>	<u>(1,825,850)</u>	<u>(5,290,969)</u>	<u>255,855</u>	<u>20,409,347</u>

* 「その他の営業収益」及び「金融投資に対する減損損失引当金戻入/(繰入)」に含まれる。

「その他の営業収益」に含まれる。

当行グループの会計方針では、報告期間末時点で公正価値ヒエラルキーの各レベルへの（各レベルからの）振替を認識することとしている。

2022年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行ではレベル1及びレベル2間の振替はなかった。

公正価値で測定されたレベル3金融商品の増減

2022年6月30日に終了した中間会計期間において、当行グループ及び当行ではレベル3への振替もレベル3からの振替もなかった。

[次へ](#)

A39. 関係者との信用取引から生じる信用エクスポージャー

下記に開示する信用エクスポージャーは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項の要求に基づくものである。

	当行グループ		当行	
	2022年 6月30日	2021年 12月31日	2022年 6月30日	2021年 12月31日
関係者に対する信用エクスポージャー残高 (千マレーシア・リングgit)	29,256,607	25,425,741	28,618,139	26,246,100
信用エクスポージャー合計額における関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	3.2%	2.9%	5.5%	5.4%
減損 [*] 又は不履行となっている関係者に対する信用エクスポージャー残高割合	12.5%	15.4%	12.8%	14.9%

^{*} 減損とは、マレーシア中央銀行の改訂版ガイドライン - 関係者との信用取引及びエクスポージャーの第9.1項に示されている不良債権をいう。

[次へ](#)

A40. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書

2022年4月29日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険ファンド、ファミリー・タカフル・ファンド、ジェネラル・タカフル・ファンド、株主及び一般ファンド毎の内訳は以下の通りである。

(a) 2022年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

当行グループ	生命保険ファンド		ファミリー・タカフル・ ファンド		ジェネラル・タカフル・ ファンド		株主及び一般ファンド		合計	
	2022年 6月30日	2021年 6月30日	2022年 6月30日	2021年 6月30日	2022年 6月30日	2021年 6月30日	2022年 6月30日	2021年 6月30日	2022年 6月30日	2021年 6月30日
6月30日に終了した6カ月間	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
受取利息	296,139	273,348	244,643	223,700	48,254	38,386	158,281	124,677	747,317	660,111
支払利息	-	-	-	-	-	-	(38,700)	(4,397)	(38,700)	(4,397)
受取利息純額	296,139	273,348	244,643	223,700	48,254	38,386	119,581	120,280	708,617	655,714
正味既経過保険料	2,261,564	2,391,152	1,024,701	891,276	811,975	629,689	526,302	783,654	4,624,542	4,695,771
その他の営業損失	(1,055,871)	(363,108)	(335,188)	(296,261)	(9,636)	(5,182)	(31,753)	(2,738)	(1,432,448)	(667,289)
営業収益合計	1,501,832	2,301,392	934,156	818,715	850,593	662,893	614,130	901,196	3,900,711	4,684,196
保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフル・ファンドに係る税金	(1,265,003)	(2,181,893)	(919,721)	(815,266)	(850,527)	(669,869)	(31,346)	(97,960)	(3,066,597)	(3,764,988)
純営業収益	236,829	119,499	14,435	3,449	66	(6,976)	582,784	803,236	834,114	919,208
一般管理費	(129,783)	(121,289)	(13,922)	(11,158)	(220)	(163)	(374,785)	(367,570)	(518,710)	(500,180)
減損損失前営業利益/(損失)	107,046	(1,790)	513	(7,709)	(154)	(7,139)	207,999	435,666	315,404	419,028
貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(22)	2	(20)	-	-	(5)	(543)	2,928	(585)	2,925
金融投資に対する減損損失引当金繰入、純額	(105,960)	(2,405)	-	-	-	-	(8,982)	(719)	(114,942)	(3,124)
その他の金融資産に対する減損損失引当金(繰入)/戻入、純額	(1,064)	4,193	(493)	7,709	154	7,144	(974)	4,473	(2,377)	23,519
税金及びザカート前利益	-	-	-	-	-	-	197,500	442,348	197,500	442,348
税金及びザカート	-	-	-	-	-	-	57,806	(120,144)	57,806	(120,144)
当期利益	-	-	-	-	-	-	255,306	322,204	255,306	322,204

A40. 保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書(続き)

2022年4月29日に公表されたマレーシア中央銀行の財務報告方針文書第11.4(f)項に従った、保険及びタカフル事業に関する未監査損益計算書及び未監査財政状態計算書の、タカフル事業の生命保険ファンド、ファミリー・タカフル・ファンド、ジェネラル・タカフル・ファンド、株主及び一般ファンド毎の内訳は以下の通りである。(続き)

(b) 2022年6月30日現在の未監査財政状態計算書

	生命保険ファンド		ファミリー・タカフル・ファンド		ジェネラル・タカフル・ファンド		株主及び一般ファンド		合計	
	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ										
資産										
現金及び短期資金	1,914,786	720,239	62,144	11,182	20,887	2,098	412,847	285,153	2,410,664	1,018,672
金融機関預け金	418,335	860,786	736,346	1,488,316	281,024	280,550	1,282,742	1,737,626	2,718,447	4,367,278
当初認識時に純損益を通じて公正価値で測定するものとして指定した金融資産	6,174,472	6,584,696	5,496,122	5,485,382	18,973	19,603	936,233	1,012,445	12,625,800	13,102,126
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資	5,841,207	5,947,539	536,441	602,117	74,991	135,020	647,926	546,044	7,100,565	7,230,720
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資	6,585,542	7,098,080	4,946,917	4,557,130	2,013,489	2,093,611	4,916,456	4,723,167	18,462,404	18,471,988
償却原価で測定する金融投資	-	-	-	-	-	-	16,495	13,296	16,495	13,296
貸出金及びその他の債権	270,365	268,698	-	-	-	-	86,567	871	356,932	362,155
デリバティブ資産	3,111	35,094	-	-	-	-	1,139	12,037	4,250	35,965
再保険資産/再タカフル資産及びその他の保険債権	1,618,670	1,531,147	466,865	440,495	554,730	971,460	4,604,751	4,572,762	7,245,016	7,515,864
その他の資産	346,362	141,478	2,755	25,505	594	3,640	416,666	670,006	766,377	840,629
投資不動産	807,830	807,730	-	-	-	-	162,547	162,459	970,377	970,189
中央銀行への法定預け金	-	-	-	-	-	-	6,170	5,841	6,170	5,841
関連会社に対する持分	-	-	-	-	-	-	152	152	152	152
有形固定資産	91,937	94,159	-	-	-	-	62,574	62,855	154,511	157,014
使用権資産	91	124	-	-	-	-	34,649	40,850	34,740	40,974
無形資産	56,074	56,141	-	-	-	-	100,638	103,952	156,712	160,093
繰延税金資産	24,213	2,782	33,362	5,361	39,540	8,292	330,762	77,760	427,877	94,195
資産合計	24,152,995	24,148,693	12,280,952	12,615,488	3,004,228	3,514,274	14,019,314	14,108,696	53,457,489	54,387,151
負債										
デリバティブ負債	147,693	12,312	-	-	-	-	18,918	9,451	166,611	21,763
保険契約負債/タカフル契約負債及びその他の保険債務	20,513,845	21,025,536	11,685,980	12,246,764	2,605,341	2,947,816	6,236,588	5,873,499	41,041,754	42,093,615
その他の負債 [#]	3,451,544	3,038,195	595,815	347,600	395,374	562,920	(596,990)	(916,048)	3,845,743	3,032,667
税金及びザカート引当金	20,000	15,637	160	83	-	-	87,942	29,667	108,102	45,387
繰延税金負債	19,913	57,013	(1,003)	21,041	3,513	3,538	291,217	311,332	313,640	392,924
劣後債務	-	-	-	-	-	-	312,172	1,009,848	312,172	1,009,848
負債合計	24,152,995	24,148,693	12,280,952	12,615,488	3,004,228	3,514,274	6,349,847	6,317,749	45,788,022	46,596,204

子会社の株主に帰属する資本

株式資本	-	-	-	-	-	-	660,865	660,865	660,865	660,865
その他の剰余金	-	-	-	-	-	-	7,008,602	7,130,082	7,008,602	7,130,082
	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>-</u>	<u>7,669,467</u>	<u>7,790,947</u>	<u>7,669,467</u>	<u>7,790,947</u>
負債及び株主資本合計	<u>24,152,995</u>	<u>24,148,693</u>	<u>12,280,952</u>	<u>12,615,488</u>	<u>3,004,228</u>	<u>3,514,274</u>	<u>14,019,314</u>	<u>14,108,696</u>	<u>53,457,489</u>	<u>54,387,151</u>

その他の負債には、無担保の生命保険ファンド、ジェネラル・ファンド及び投資連動型ファンドのうち、付利の対象とならず、要求払いで払戻し可能なものが含まれている。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務

A41a. 2022年6月30日に終了した中間会計期間の未監査損益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者の資金の投資から生じた収益	2,169,179	2,281,903	4,175,229	4,513,325
投資口座の資金の投資から生じた収益	279,861	231,147	540,580	455,064
イスラム金融ファンドの投資から生じた 収益	126,069	131,798	251,798	244,751
その他の債権に係る減損損失引当金繰 入、純額	(82,690)	(164,375)	(191,473)	(343,967)
金融投資に係る減損損失引当金戻入/ (繰入)、純額	388	(475)	(1,838)	242,814
その他の金融資産に係る減損損失引当金 戻入/(繰入)、純額	265	1,667	1,504	(732)
分配可能収益合計	2,493,072	2,481,665	4,775,800	5,111,255
投資口座からの利益分配	55,088	25	105,580	25
預金者に分配された利益	(731,659)	(870,055)	(1,405,658)	(1,723,774)
投資口座保有者に分配された利益	(80,268)	(71,986)	(154,106)	(143,881)
純収益合計	1,736,233	1,539,649	3,321,616	3,243,625
金融費用	(101,872)	(101,738)	(201,365)	(203,167)
一般管理費	(479,498)	(436,016)	(952,030)	(794,805)
税金及びザカート前利益	1,154,863	1,001,895	2,168,221	2,245,653
税金	(330,316)	(242,509)	(718,031)	(540,064)
ザカート	(6,719)	(4,111)	(29,388)	(11,820)
当期利益	817,828	755,275	1,420,802	1,693,769

従来型の銀行業務との連結及び合併のため、イスラム金融業務からの純収益は、以下の項目から構成されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
預金者の資金の投資から生じた収益	2,169,179	2,281,903	4,175,229	4,513,325
投資口座の資金の投資から生じた収益	279,861	231,147	540,580	455,064
イスラム金融ファンドの投資から生じた 収益	126,069	131,798	251,798	244,751
金融資産に係る減損損失引当金及び一般 管理費前収益合計	2,575,109	2,644,848	4,967,607	5,213,140
投資口座からの利益分配	55,088	25	105,580	25
預金者に分配された利益	(731,659)	(870,055)	(1,405,658)	(1,723,774)
投資口座保有者に分配された利益	(80,268)	(71,986)	(154,106)	(143,881)
	1,818,270	1,702,832	3,513,423	3,345,510
金融費用	(101,872)	(101,738)	(201,365)	(203,167)
グループ企業間収益及び費用、純額	104,168	358,213	229,435	701,153
当行が調達した投資口座からの利益分配	(55,062)	-	(105,525)	-
当行グループの損益計算書に計上された イスラム金融業務からの収益	1,765,504	1,959,307	3,435,968	3,843,496

A41. イスラム金融業務(続き)

A41b. 2022年6月30日に終了した中間会計期間の未監査包括利益計算書

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
当期利益	817,828	755,275	1,420,802	1,693,769
その他の包括(損失)/利益:				
純損益にその後に振り替えられる可能性 のある項目:				
外国為替換算に係る正味損失	(101)	(17)	(234)	(473)
その他の包括利益を通じて公正価値で測 定する金融投資に係る正味(損失)/利得	(223,472)	52,161	(335,924)	(400,663)
- 公正価値の変動からの正味(損失)/ 利得	(327,418)	66,032	(490,982)	(528,631)
- 予想信用損失の変動	(4,102)	1,977	1,480	1,097
- 税効果	108,048	(15,848)	153,578	126,871
	(223,573)	52,144	(336,158)	(401,136)
当期のその他の包括(損失)/利益、税引後	(223,573)	52,144	(336,158)	(401,136)
当期の包括利益合計	594,255	807,419	1,084,644	1,292,633

A41. イスラム金融業務(続き)

A41c. 2022年6月30日現在の未監査財政状態計算書

当行グループ	注記	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
資産			
現金及び短期資金		11,464,800	12,127,687
金融機関預け金		-	3,000,157
売戻条件付買入金融資産		8,633,406	10,420,749
純損益を通じて公正価値で測定する金融投資		268,081	784,302
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資		14,434,266	15,082,779
償却原価で測定する金融投資		26,254,846	22,867,781
その他の債権	A41e	201,867,628	192,465,717
デリバティブ資産		237,840	117,420
その他の資産		10,058,388	5,710,586
中央銀行への法定預け金		13,607	20,447
有形固定資産		330	546
使用権資産		9,180	6,126
繰延税金資産		343,138	190,616
資産合計		273,585,510	262,794,913
負債			
顧客の資金：			
- 顧客預金	A41f	189,543,147	179,514,915
- 顧客の投資口座 ¹	A41g	30,567,741	28,720,799
金融機関預り金		23,692,486	24,170,127
支払手形及び銀行引受手形		32,064	19,561
デリバティブ負債		235,624	177,545
その他の負債		1,550,753	2,189,975
繰延税金負債		-	-
税金及びザカート引当金		333,031	38,799
期限付資金調達	A41h	10,932,387	10,923,177
劣後スクーク	A41i	2,021,532	2,021,814
資本性証券	A41j	1,002,305	1,002,441
負債合計		259,911,070	248,779,153
イスラム金融資本ファンド			
イスラム金融ファンド		10,327,374	10,327,374
利益剰余金		2,999,677	3,488,469
その他の準備金		347,389	199,917
		13,674,440	14,015,760
負債及びイスラム金融資本ファンド合計		273,585,510	262,794,913
当行グループが運用する制限付投資口座	A41g	29,230,595	30,147,795
当行グループが保有し運用するイスラム金融資産合計		302,816,105	292,942,708
コミットメント及び偶発事象		81,529,050	83,982,957

¹ 顧客の投資口座は、注記A41eに開示されているその他の債権の資金調達に利用されている。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41d. 2022年6月30日に終了した中間会計期間の未監査イスラム金融資本ファンド変動計算書

当行グループ	分配不能部分						
	イスラム金融	規制準備金	FVTOCI評価差額	外国為替換算	持株会社からの	分配可能な	合計
	ファンド	千マレーシア・	準備金	準備金	資本拠出金 ¹	利益剰余金	
	千マレーシア・	リンギット	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット		リンギット	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2022年1月1日現在	10,327,374	121,014	77,254	(48)	1,697	3,488,469	14,015,760
当期利益	-	-	-	-	-	1,420,802	1,420,802
その他の包括損失	-	-	(335,924)	(234)	-	-	(336,158)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(234)	-	-	(234)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る正味損失	-	-	(335,924)	-	-	-	(335,924)
当期の包括(損失)/利益合計	-	-	(335,924)	(234)	-	1,420,802	1,084,644
規制準備金への振替	-	483,630	-	-	-	(483,630)	-
支払配当金	-	-	-	-	-	(1,425,964)	(1,425,964)
2022年6月30日現在	10,327,374	604,644	(258,670)	(282)	1,697	2,999,677	13,674,440

¹ この持株会社からの資本拠出準備金は、関連する子会社と持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41d. 2022年6月30日に終了した中間会計期間の未監査イスラム金融資本ファンド変動計算書（続き）

< ----- 分配不能部分 ----- >							
当行グループ	イスラム金融 ファンド	規制準備金	FVTOCI 評価差額 準備金	外国為替換算 準備金	持株会社からの 資本拠出金 ¹	分配可能な 利益剰余金	合計
	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット	千マレーシア・ リンギット
2021年1月1日現在	7,934,444	594,474	645,022	403	1,697	2,983,827	12,159,867
当期利益	-	-	-	-	-	1,693,769	1,693,769
その他の包括損失	-	-	(400,663)	(473)	-	-	(401,136)
外国為替換算に係る正味損失	-	-	-	(473)	-	-	(473)
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融投資に係る 正味損失	-	-	(400,663)	-	-	-	(400,663)
当期の包括(損失)/利益合計	-	-	(400,663)	(473)	-	1,693,769	1,292,633
普通株式の発行	706,740	-	-	-	-	-	706,740
支払配当金	-	-	-	-	-	(1,413,481)	(1,413,481)
2021年6月30日現在	8,641,184	594,474	244,359	(70)	1,697	3,264,115	12,745,759

¹ この持株会社からの資本拠出準備金は、関連する子会社と持株会社間のグループ企業間債権債務残高の免除に関連するものである。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権

当行グループ	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日終了 千マレーシア・ リングgit
その他の債権*：		
(A) その他の包括利益を通じて公正価値で測定するその他の債権	2,260,605	2,175,615
(B) 償却原価で測定する顧客向その他の債権	269,015,737	262,214,501
	271,276,342	264,390,116
前受収益	(66,452,945)	(68,980,345)
その他の債権総額	204,823,397	195,409,771
その他の債権に対する減損引当金		
- ステージ1：12カ月ECL	(553,141)	(556,209)
- ステージ2：全期間ECL（信用減損なし）	(1,339,173)	(1,678,410)
- ステージ3：全期間ECL（信用減損あり）	(1,063,455)	(709,435)
その他の債権純額	201,867,628	192,465,717

* 2022年6月30日現在、その他の債権から投資口座保有者へのキャッシュ・フローの送金時期に関する、メイバンク・イスラミック・ベルハッド（「MIB」）と当行及びMIBと第三者との間の取り決めの変更に伴い、RPSIAで調達したその他の債権24,256.7百万マレーシア・リングgit（2021年12月31日現在：25,033.6百万マレーシア・リングgit）は、IBS業務の中でオフバランスとなっている。

2022年12月31日現在の顧客の投資口座（「IA」）による資金調達の総エクスポージャーは、30,567.7百万マレーシア・リングgit（2021年12月31日現在：28,720.8百万マレーシア・リングgit）であった。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ				イジャラ ³	その他	その他の債権 合計
	バイ ¹ 千マレーシア・ リングット	ムラバハ 千マレーシア・ リングット	ムシャラカ 千マレーシア・ リングット	(AITAB) ² 千マレーシア・ リングット			
2022年6月30日現在							
キャッシングローン	-	6,279,380	-	-	-	-	6,279,380
ターム・ファイナンス							
- 住宅ローン	12,285,018	84,193,443	1,631,526	-	-	602	98,110,589
- シンジケートローン	-	5,846,223	-	-	-	-	5,846,223
- 分割払債権	-	12,639,168	-	38,552,943	-	-	51,192,111
- リース債権	-	-	-	-	1,227,533	-	1,227,533
- その他のターム・ファイナンス	7,232,107	83,636,079	505,981	-	-	89,165	91,463,332
貨物貸渡	-	152,971	-	-	-	-	152,971
引受為替手形求償権	-	5,983,750	-	-	-	-	5,983,750
従業員向貸出	308,932	2,456,057	6,892	141,021	-	36,770	2,949,672
クレジットカード債権	-	-	-	-	-	1,445,723	1,445,723
リボルビングクレジット	-	6,577,172	-	-	-	-	6,577,172
株式信用取引	-	43,625	-	-	-	-	43,625
その他の貸出：							
- 当行の取締役向貸出	-	2,744	-	-	-	10	2,754
- 子会社の取締役向貸出	-	1,239	-	197	-	71	1,507
	19,826,057	207,811,851	2,144,399	38,694,161	1,227,533	1,572,341	271,276,342
前受収益							(66,452,945)
その他の債権総額 ⁴							204,823,397
その他の債権に対する減損引当金：							
- ステージ1 - 12カ月ECL							(553,141)
- ステージ2 - 全期間ECL（信用減損なし）							(1,339,173)
- ステージ3 - 全期間ECL（信用減損あり）							(1,063,455)
その他の債権純額							201,867,628

¹ バイは、バイ・ピタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダインから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、IAの原資産が含まれている。

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

当行グループ	アル・イジャラ サンマ・アル・バイ						その他の債権 合計
	バイ ¹ 千マレーシア・ リンギット	ムラバハ 千マレーシア・ リンギット	ムシャラカ 千マレーシア・ リンギット	(AITAB) ² 千マレーシア・ リンギット	イジャラ ³ 千マレーシア・ リンギット	その他 千マレーシア・ リンギット	
2021年12月31日現在							
キャッシングローン	-	6,287,366	-	-	-	-	6,287,366
ターム・ファイナンス							
- 住宅ローン	12,828,267	81,673,329	1,719,726	-	-	602	96,221,924
- シンジケートローン	-	5,955,729	-	-	-	-	5,955,729
- 分割払債権	-	11,676,586	-	36,500,533	-	-	48,177,119
- リース債権	-	-	-	-	815,909	-	815,909
- その他のターム・ファイナンス	8,317,772	82,612,398	536,521	-	-	30,604	91,497,295
受取手形	-	-	-	-	-	-	-
貨物貸渡	-	132,385	-	-	-	-	132,385
引受為替手形求償権	-	5,227,288	-	-	-	-	5,227,288
従業員向貸出	340,773	2,357,766	7,330	156,719	-	36,492	2,899,080
クレジットカード債権	-	-	-	-	-	1,355,004	1,355,004
リボルビングクレジット	-	5,760,355	-	-	-	-	5,760,355
株式信用取引	-	55,212	-	-	-	-	55,212
その他の貸出：							
- 当行の取締役向貸出	-	2,750	-	-	-	6	2,756
- 子会社の取締役向貸出	-	2,271	-	300	-	123	2,694
	21,486,812	201,743,435	2,263,577	36,657,552	815,909	1,422,831	264,390,116
前受収益							(68,980,345)
その他の債権総額 ⁴							195,409,771
その他の債権に対する減損引当金：							
- ステージ1 - 12カ月ECL							(556,209)
- ステージ2 - 全期間ECL（信用減損なし）							(1,678,410)
- ステージ3 - 全期間ECL（信用減損あり）							(709,435)
その他の債権純額							192,465,717

¹ バイは、バイ・ピタマー・アジル、バイ・アル・イナー及びバイ・アル・ダインから構成されている。

² 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に売却を通じて顧客に移転される。

³ 当行グループが当該資産の所有者であり、資産の所有権はイジャラの終了時に顧客が購入オプションを行使する場合に顧客に移転される。

⁴ その他の債権には、IAの原資産が含まれている。

[次へ](#)

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

（ ） 減損したその他の債権（「減損債権」）の変動は以下の通りである。

	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
1月1日現在	1,492,756	2,452,406
新規減損額	934,392	238,626
非減損債権への分類変更	(47,255)	(36,215)
回収額	(90,009)	(339,776)
貸倒償却額	(210,628)	(233,810)
制限付投資口座に関連した金額	-	(588,475)
2022年6月30日/2021年12月31日現在の減損債権総額	2,079,256	1,492,756
控除：ステージ3 - 全期間ECL - 信用減損あり	(1,063,455)	(709,435)
2022年6月30日/2021年12月31日現在の正味減損債権	1,015,801	783,321
正味減損債権（IA債権を除く）の比率計算：		
2022年6月30日/2021年12月31日現在の減損債権総額	2,005,248	1,429,024
控除：ステージ3 - 全期間ECL - 信用減損あり	(1,063,455)	(709,435)
2022年6月30日/2021年12月31日現在の正味減損債権	941,793	719,589
その他の債権総額	174,255,656	166,688,972
控除：償却原価で測定する減損したその他の債権及びFVOCIで測定する減損したその他の債権に対する引当金	(2,958,242)	(2,946,356)
その他の債権、純額	171,297,414	163,742,616
その他の債権、純額に対する正味減損債権の割合	0.55%	0.44%

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

（ ） その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。

その他の包括利益を通じて公正価値で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2022年 6 月30日現在				
2022年 1 月 1 日現在	2,302	-	-	2,302
引当金の再測定純額	290	-	-	290
認識が中止された金融資産	(26)	-	-	(26)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(118)	-	-	(118)
為替換算差額	25	-	-	25
2022年 6 月30日現在	2,473	-	-	2,473

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年12月31日現在				
2021年 1 月 1 日現在	1,662	2,494	-	4,156
引当金の再測定純額	133	-	-	133
新たに組成又は購入した金融資産	47	-	-	47
認識が中止された金融資産	(636)	(2,494)	-	(3,130)
モデル/リスク・パラメーターの変動	1,085	-	-	1,085
為替換算差額	11	-	-	11
2021年12月31日現在	2,302	-	-	2,302

償却原価で測定

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
当行グループ	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2022年 6 月30日現在				
2022年 1 月 1 日現在	556,209	1,678,410	709,435	2,944,054
ステージ 1 への移動	127,760	(124,324)	(3,436)	-
ステージ 2 への移動	(18,475)	30,849	(12,374)	-
ステージ 3 への移動	(3,799)	(179,775)	183,574	-
引当金の再測定純額	(171,710)	(55,719)	473,021	245,592
新たに組成又は購入した金融資産	84,951	45,127	-	130,078
認識が中止された金融資産	(47,157)	(55,967)	(92,573)	(195,697)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(120)	97	-	(23)
貸倒償却額	-	-	(210,628)	(210,628)
為替換算差額	25,482	475	16,436	42,393
2022年 6 月30日現在	553,141	1,339,173	1,063,455	2,955,769

A41. イスラム金融業務（続き）

A41e. その他の債権（続き）

（ ） その他の債権に対する減損損失引当金の変動は以下の通りである。（続き）

償却原価で測定（続き）

	ステージ 1	ステージ 2	ステージ 3	
当行グループ	12カ月ECL	全期間ECL	全期間ECL	合計
	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・	千マレーシア・
	リンギット	リンギット	リンギット	リンギット
2021年12月31日現在				
2021年 1 月 1 日現在	574,213	1,209,931	1,254,822	3,038,966
ステージ 1 への移動	241,131	(229,027)	(12,104)	-
ステージ 2 への移動	(17,310)	45,043	(27,733)	-
ステージ 3 への移動	(5,392)	(27,532)	32,924	-
引当金の再測定純額	(245,822)	741,141	117,932	613,251
新たに組成又は購入した金融資産	115,763	51,554	-	167,317
認識が中止された金融資産	(42,288)	(75,656)	(24,227)	(142,171)
モデル/リスク・パラメーターの変動	(44,063)	(20,640)	-	(64,703)
制限付投資口座に関連した金額	(20,279)	(17,223)	(409,064)	(446,566)
貸倒償却額	-	-	(233,810)	(233,810)
為替換算差額	256	819	10,695	11,770
2021年12月31日現在	556,209	1,678,410	709,435	2,944,054

A41f. 顧客預金

	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
当行グループ		
貯蓄預金		
ムラバハ	29,701,194	26,302,000
カルド	1,820,301	3,496,477
	31,521,495	29,798,477
要求払預金		
ムラバハ	35,707,324	32,042,236
カルド	6,406,503	1,362,014
	42,113,827	33,404,250
定期預金		
ムラバハ	114,187,053	115,751,729
カルド	1,720,772	560,459
	115,907,825	116,312,188
顧客預金合計	189,543,147	179,514,915

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 投資口座

当行グループ	2022年 6月30日 千マレーシア・ リンギット	2021年 12月31日 千マレーシア・ リンギット
顧客の投資口座		
- 制限のない投資口座 ¹	30,567,741	28,720,799
当行グループが運用する制限付投資口座 ²	29,230,595	30,147,795
制限のない投資口座（グループ企業間残高控除後）の残高は、2022年6月30日現在、28,935.1百万マレーシア・リンギット（2021年12月31日現在：28,720.8百万マレーシア・リンギット）であった。		

（ ） 投資口座の顧客種類別構成は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 ¹ 千マレーシア・ リンギット	当行グループが運用 する制限付投資口座 ² 千マレーシア・ リンギット
2022年6月30日現在		
事業会社	18,166,872	-
個人	10,529,074	-
政府及び特殊法人	216,756	-
認可銀行	-	28,288,624
その他	1,655,039	941,971
	30,567,741	29,230,595
2021年12月31日現在		
事業会社	16,564,421	-
個人	10,159,957	-
政府及び特殊法人	205,058	-
認可銀行	-	29,511,958
その他	1,791,363	635,837
	28,720,799	30,147,795

（ ） 投資口座の満期構成は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 ¹	当行グループが運用 する制限付投資口座 ² 千マレーシア・ リンギット
2022年6月30日現在		
- 満期の定めなし	25,795,208	-
- 満期の定めあり		
6カ月以内	4,117,329	7,493,016
6カ月超1年以内	644,321	625,532
1年超3年以内	6,568	3,766,669
3年超5年以内	4,315	17,345,378
	4,772,533	29,230,595
顧客の投資口座合計	30,567,741	29,230,595

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 投資口座（続き）

（ ） 投資口座の満期構成は以下の通りである。（続き）

当行グループ	制限のない投資口座 ¹	当行グループが運用 する制限付投資口座 ² 千マレーシア・ リンギット
2021年12月31日現在		
- 満期の定めなし	23,666,368	-
- 満期の定めあり		
6カ月以内	3,560,977	8,099,298
6カ月超1年以内	1,483,337	54,362
1年超3年以内	4,741	3,715,037
3年超5年以内	5,376	18,279,098
	5,054,431	30,147,795
顧客の投資口座合計	28,720,799	30,147,795

（ ） 投資資産の配分は以下の通りである。

当行グループ	制限のない投資口座 ¹	当グループが運用 する制限付投資口座 ² 千マレーシア・ リンギット
2022年6月30日現在		
リテール貸出金	28,807,956	-
非リテール貸出金	1,759,785	24,267,092
企業スクーク	-	4,963,503
	30,567,741	29,230,595
2021年12月31日現在		
リテール貸出金	26,965,529	-
非リテール貸出金	1,755,270	24,819,965
企業スクーク	-	5,327,830
	28,720,799	30,147,795

（ ） 利益分配率及び利回りは以下の通りである。

当行グループ	投資口座保有者（「IAH」）	
	平均利益分配率 （％）	平均利回り （％）
2022年6月30日現在		
顧客の投資口座		
- 制限のない投資口座 ¹	28.20	1.13
当グループが運用する制限付投資口座 ²	79.65	3.37
2021年12月31日現在		
顧客の投資口座		
- 制限のない投資口座 ¹	29.55	1.18
当グループが運用する制限付投資口座 ²	78.41	3.20

A41. イスラム金融業務（続き）

A41g. 投資口座（続き）

- ¹ マルチ・アセット投資口座（MAIA）商品への投資資金総額は476.7百万マレーシア・リングgit（2021年12月31日現在：515.4百万マレーシア・リングgit）であり、そのうち249.0百万マレーシア・リングgit（2021年12月31日現在：254.1百万マレーシア・リングgit）は当行グループが運用し貸借対照表上に計上した資金である。残りの資金は、投資運用業務の一環として当行の子会社が運用する有価証券に投資されており、2022年6月30日現在の純資産価値の227.7百万マレーシア・リングgit（2021年12月31日現在：261.3百万マレーシア・リングgit）はオフバランスシート扱いとなっている。
- ² 当行グループが運用する制限付投資口座には、MIBと当行及びMIBと第三者との間の取決めが含まれており、ここではMIBが運用代理人として、それぞれ28,288.6百万マレーシア・リングgit及び942.0百万マレーシア・リングgit（2021年12月31日現在：29,512.0百万マレーシア・リングgit及び635.8百万マレーシア・リングgit）の制限付投資口座の運用と管理を行っている。MIBが運用する制限付投資口座は、制限付投資口座で調達した原金融資産に対して求められる減損損失引当金控除後の金額で開示されている。

A41h. 期限付資金調達

	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
当行グループ		
無担保期限付資金調達		
（ ）コマーシャル・ペーパー		
- 1年未満	7,941,680	7,947,135
（ ）ミディアム・ターム・ノート		
- 1年未満	2,002,532	2,002,762
（ ）期限付資金調達		
- 1年超（注記（a））	988,175	973,280
期限付資金調達合計	10,932,387	10,923,177

注記(a)： 期限付資金調達は、COVID-19のパンデミックに対応するための政府支援策の一環として、期間6年で2026年6月17日を返済期限とした、市中金利よりも低率の中小企業向け融資に充てるために、政府融資制度に基づいて当行グループが受領した金額に関連するものである。この政府制度による資金調達は、中小企業向けの優遇利率での貸出と、COVID-19関連の救済措置を目的としたものである。

A41i. 劣後スクーク

	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
当行グループ		
償還期限2029年の1.0十億マレーシア・リングgitのイスラム劣後 スクーク・ムラバハ	1,010,726	1,010,849
償還期限2031年の1.0十億マレーシア・リングgitのイスラム劣後 スクーク・ムラバハ	1,010,806	1,010,965
	2,021,532	2,021,814

A41. イスラム金融業務（続き）

A41j. 資本性証券

	2022年 6月30日 千マレーシア・ リングgit	2021年 12月31日 千マレーシア・ リングgit
<u>当行グループ</u>		
発行額1.0十億マレーシア・リングgit、利益率が4.95% のその他Tier 1 スクーク・ワカラ	<u>1,002,305</u>	<u>1,002,441</u>

[次へ](#)

パートB: プルサ・マレーシア証券取引所の上場要件に係る付属書類 9Bに関する注記**B1. 業績評価****() 前年同期と比較した当期の業績**

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後利益は、3,902.1百万マレーシア・リングgitとなり、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ452.5百万マレーシア・リングgit、率にして10.4%減少した。

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ512.2百万マレーシア・リングgit、率にして5.2%増加し、10,282.9百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの保険子会社及びタカフル子会社からの正味既経過保険料は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ71.2百万マレーシア・リングgit減少し、4,624.5百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループのその他の営業収益は、2021年6月30日に終了した前年同期の2,165.3百万マレーシア・リングgitから851.4百万マレーシア・リングgit、率にして39.3%減少し、1,313.9百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にはデリバティブの再評価に係る未実現時価評価益を104.7百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にはデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損を1,522.6百万マレーシア・リングgit計上したこと、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には投資収益に係る正味利得を476.3百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には投資収益に係る正味損失を202.7百万マレーシア・リングgit計上したこと、FVTPL金融投資の再評価に係る未実現時価評価損が534.3百万マレーシア・リングgit増加したこと、手数料収入が254.9百万マレーシア・リングgit減少したこと、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には正味為替差益を95.3百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には正味為替差損を56.5百万マレーシア・リングgit計上したことに加え、当初認識時にFVTPLに指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価損が91.1百万マレーシア・リングgit増加したことによる。ただし、この減少は、FVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益が1,537.7百万マレーシア・リングgit増加したこと、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にはデリバティブに係る実現損失を279.6百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した6カ月間にはデリバティブに係る実現利得を494.3百万マレーシア・リングgit計上したことのほか、2021年6月30日に終了した6カ月間の会計期間にはFVTPL金融負債に係る実現損失を138.3百万マレーシア・リングgit計上したことにより軽減されている。

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの一般管理費は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ263.1百万マレーシア・リングgit、率にして4.6%増加し、6,005.5百万マレーシア・リングgitとなった。この一般管理費の増加は、主に管理費及び一般経費が137.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、人件費が86.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、設備費が23.1百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、マーケティング費用が16.8百万マレーシア・リングgit増加したことによる。

当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ、94.1百万マレーシア・リングgit、率にして6.8%減少し、1,281.0百万マレーシア・リングgitとなった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当期の業績（続き）**

2021年6月30日に終了した6カ月間の前年同期と比較した、2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間の当行グループの税金及びザカート前利益に関する当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2022年6月30日に終了した6カ月間のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した6カ月間の前年同期の2,745.3百万マレーシア・リングgitから1,155.3百万マレーシア・リングgit、率にして42.1%増加し、3,900.6百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は、主に貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が純額で566.5百万マレーシア・リングgit減少したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が748.1百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びにその他の営業収益が52.8百万マレーシア・リングgit増加したことによる。ただし、この増加は、一般管理費が211.7百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケッツ部門**

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケッツ部門の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の2,438.4百万マレーシア・リングgitから414.4百万マレーシア・リングgit、率にして17.0%減少し、2,024.0百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は、主に貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が純額で470.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が純額で279.5百万マレーシア・リングgit増加したことのほか、一般管理費が31.5百万マレーシア・リングgit増加したことによるものである。ただし、この減少は、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が221.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、その他の営業収益が131.0百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が15.2百万マレーシア・リングgit増加したことにより軽減されている。

b) グループ・投資銀行部門

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・投資銀行部門の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の283.1百万マレーシア・リングgitから145.0百万マレーシア・リングgit、率にして51.2%減少し、138.1百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、その他の営業収益が189.2百万マレーシア・リングgit減少したことによる。ただし、この減少は、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が28.5百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が7.4百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が純額で6.0百万マレーシア・リングgit減少したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金戻入が純額で1.4百万マレーシア・リングgit増加したことのほか、関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が1.0百万マレーシア・リングgit増加したことにより軽減されている。

c) グループ・資産運用部門

グループ・資産運用部門は、2021年6月30日に終了した6カ月間の前年同期に税金及びザカート前利益2.0百万マレーシア・リングgitを計上したのに対し、2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間には23.0百万マレーシア・リングgitの税金及びザカート前損失を計上した。この損失は、主にその他の営業収益が15.0百万マレーシア・リングgit減少したこと及び一般管理費が10.0百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2022年6月30日に終了した6カ月間の会計期間のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の431.2百万マレーシア・リングgitから243.5百万マレーシア・リングgit、率にして56.5%減少し、187.7百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、その他の営業収益が765.2百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が純額で20.4百万マレーシア・リングgitの戻入から純額で117.3百万マレーシア・リングgitの繰入となったこと、正味既経過保険料が71.2百万マレーシア・リングgit減少したこと、一般管理費が17.1百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が純額で2.9百万マレーシア・リングgitの戻入から純額で0.6百万マレーシア・リングgitの繰入に転じたことによるものであった。ただしこの減少は、保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動及び生命保険及びタカフルファンドに係る税金が698.4百万マレーシア・リングgit減少したことに加えて、受取利息純額が52.9百万マレーシア・リングgit増加したことにより軽減されている。

（ ） 前年同期と比較した当四半期の業績

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの株主に帰属する税金及びザカート控除後当期利益は1,857.2百万マレーシア・リングgitとなり、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ105.3百万マレーシア・リングgit、率にして5.4%減少した。

当行グループの2022年6月30日に終了した四半期の受取利息純額及びイスラム金融業務からの収益は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ306.4百万マレーシア・リングgit、率にして6.2%増加して5,285.7百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険子会社及びタカフル子会社からの正味既経過保険料は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ102.0百万マレーシア・リングgit、率にして4.7%増加し、2,268.5百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ783.2百万マレーシア・リングgit減少し、366.9百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、2021年6月30日に終了した前年同期にデリバティブの再評価に係る未実現時価評価益を990.9百万マレーシア・リングgit及び当初認識時にFVTPLに指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価益を264.6百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した四半期にはデリバティブの再評価に係る未実現時価評価損を781.0百万マレーシア・リングgit及び当初認識時にFVTPLに指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価損を487.3百万マレーシア・リングgit計上したことに加え、FVTPL金融投資の再評価に係る未実現時価評価損が502.0百万マレーシア・リングgit増加したこと、2021年6月30日に終了した四半期には投資収益に係る利得を純額で182.7百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した四半期には投資収益に係る損失を純額で129.4百万マレーシア・リングgit計上したことのほか、手数料収入が51.0百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。ただしこの減少は、2021年6月30日に終了した前年同期にはFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価損を695.5百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した四半期にはFVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益を862.3百万マレーシア・リングgit計上したことに加え、2021年6月30日に終了した前年同期にはデリバティブに係る実現損失を399.7百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した四半期にはデリバティブに係る実現利得を663.7百万マレーシア・リングgit計上したことにより軽減されている。

当行グループの2022年6月30日に終了した四半期の一般管理費は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ135.3百万マレーシア・リングgit、率にして4.6%増加し、3,056.1百万マレーシア・リングgitとなった。この一般管理費の増加は主に、人件費が67.6百万マレーシア・リングgit、設備費が43.1百万マレーシア・リングgit、並びに管理費及び一般経費が19.8百万マレーシア・リングgitそれぞれ増加したことによるものであった。

当行グループの2022年6月30日に終了した四半期の貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2021年6月30日に終了した前年同期に比べ312.8百万マレーシア・リングgit、率にして59.6%増加し、837.5百万マレーシア・リングgitとなった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当四半期の業績（続き）**

2021年6月30日に終了した前年同期と比較した2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの税金及びザカート前利益に関する、当行グループの事業セグメント別の内容は以下の通りである。

グループ・地域金融サービス（「グループCFS」）

2022年6月30日に終了した四半期のグループCFSの税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の1,420.3百万マレーシア・リングgitから721.3百万マレーシア・リングgit、率にして50.8%増加し、2,141.6百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が474.2百万マレーシア・リングgit増加したこと、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が純額で248.8百万マレーシア・リングgitの繰入から11.7百万マレーシア・リングgitの戻入に転じたこと、その他の営業収益が125.8百万マレーシア・リングgit増加したことのほか、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が0.6百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。ただしこの増加は、一般管理費が139.9百万マレーシア・リングgit増加したことにより相殺されている。

グループ・グローバル・バンキング**a) グループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門**

2022年6月30日に終了した四半期のグループ・コーポレート・バンキング部門及びグローバル・マーケット部門の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の1,094.7百万マレーシア・リングgitから427.9百万マレーシア・リングgit、率にして39.1%減少し、666.8百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額の純額が573.3百万マレーシア・リングgit増加したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が純額で259.0百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、一般管理費が28.7百万マレーシア・リングgit増加したことによるものであった。ただしこの減少は、その他の営業収益が289.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が140.5百万マレーシア・リングgit増加したこと、並びに関連会社及びジョイント・ベンチャーの利益持分が3.1百万マレーシア・リングgit増加したことにより軽減されている。

b) グループ・投資銀行部門

グループ・投資銀行部門の2022年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の82.3百万マレーシア・リングgitから35.4百万マレーシア・リングgit、率にして43.0%減少し、46.9百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、その他の営業収益が61.2百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。ただし、この減少は、受取利息純額及びイスラム金融業務(IFS)からの収益が14.4百万マレーシア・リングgit増加したこと、一般管理費が7.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が純額で1.0百万マレーシア・リングgitの繰入から1.1百万マレーシア・リングgitの戻入に転じたことに加え、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が純額で0.6百万マレーシア・リングgitの繰入から1.1百万マレーシア・リングgitの戻入に転じたことにより軽減されている。

c) グループ・資産運用部門

グループ・資産運用部門の2022年6月30日に終了した四半期の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の2.6百万マレーシア・リングgitから2.6百万マレーシア・リングgit増加して、5.2百万マレーシア・リングgitとなった。この増加は主に、その他の営業収益が1.6百万マレーシア・リングgit増加したこと及び一般管理費が0.9百万マレーシア・リングgit減少したことによるものであった。

B1. 業績評価（続き）**（ ） 前年同期と比較した当四半期の業績（続き）****グループ・保険及びタカフル事業部門**

2022年6月30日に終了した四半期のグループ・保険及びタカフル事業部門の税金及びザカート前利益は、2021年6月30日に終了した前年同期の282.1百万マレーシア・リングgitから105.5百万マレーシア・リングgit、率にして37.4%減少し、176.6百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金が1,027.3百万マレーシア・リングgit増加したこと、その他の営業収益が1,242.7百万マレーシア・リングgit減少したこと、金融投資及びその他の金融資産に対する減損損失引当金繰入額が純額で20.0百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額が純額で1.3百万マレーシア・リングgitの戻入から0.5百万マレーシア・リングgitの繰入に転じたことによるものである。ただしこの減少は、正味既経過保険料が99.5百万マレーシア・リングgit増加したこと、受取利息純額が22.1百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、一般管理費が9.7百万マレーシア・リングgit減少したことにより軽減されている。

B2. 当四半期実績の前四半期からの変動

2022年6月30日に終了した四半期の株主に帰属する当行グループの税金及びザカート控除後利益は、2022年3月31日に終了した前四半期の2,044.9百万マレーシア・リングgitから187.7百万マレーシア・リングgit減少し、1,857.2百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの受取利息純額は、2022年3月31日に終了した前四半期の3,326.8百万マレーシア・リングgitから193.4百万マレーシア・リングgit増加し、3,520.2百万マレーシア・リングgitとなった。2022年6月30日に終了した四半期のイスラム金融業務からの収益は、2022年3月31日に終了した前四半期の1,670.5百万マレーシア・リングgitから95.0百万マレーシア・リングgit増加し、1,765.5百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの正味既経過保険料は、2022年3月31日に終了した前四半期の2,356.1百万マレーシア・リングgitから87.5百万マレーシア・リングgit減少し、2,268.5百万マレーシア・リングgitとなった。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループのその他の営業収益は、2022年3月31日に終了した前四半期の947.0百万マレーシア・リングgitから580.1百万マレーシア・リングgit減少し、366.9百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、FVTPL金融負債の再評価に係る未実現時価評価益が610.3百万マレーシア・リングgit減少したこと、FVTPL金融投資及び当初認識時にFVTPLに指定された金融資産の再評価に係る未実現時価評価損がそれぞれ467.8百万マレーシア・リングgit及び193.3百万マレーシア・リングgit増加したことに加え、2022年3月31日に終了した前四半期には外国為替換算益を純額で22.1百万マレーシア・リングgit計上した一方で、2022年6月30日に終了した四半期には外国為替換算損を純額で78.6百万マレーシア・リングgit計上したことによる。ただしこの減少は、2022年3月31日に終了した前四半期にはデリバティブに係る実現損を169.4百万マレーシア・リングgit計上したのに対し、2022年6月30日に終了した四半期にはデリバティブに係る実現益を663.7百万マレーシア・リングgit計上したことにより軽減されている。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの保険給付金及び支払保険金純額、手数料費用純額、保険関連負債の変動、並びに生命保険及びタカフルファンドに係る税金は、2022年3月31日に終了した前四半期の1,830.9百万マレーシア・リングgitから744.6百万マレーシア・リングgit減少し、1,086.3百万マレーシア・リングgitとなった。この減少は主に、保険子会社及びタカフル子会社の保険給付金及び支払保険金純額が669.0百万マレーシア・リングgit減少したことによる。

B2. 当四半期実績の前四半期からの変動（続き）

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの一般管理費は、2022年3月31日に終了した前四半期の2,949.4百万マレーシア・リンギットから106.7百万マレーシア・リンギット増加し、3,056.1百万マレーシア・リンギットとなった。この増加は主に、設備費が70.9百万マレーシア・リンギット増加したこと及び人件費が36.2百万マレーシア・リンギット増加したことによる。

2022年6月30日に終了した四半期の当行グループの貸出金及びその他の債権に対する減損損失引当金繰入額は、2022年3月31日に終了した前四半期の443.4百万マレーシア・リンギットから394.1百万マレーシア・リンギット増加し、837.5百万マレーシア・リンギットとなった。

B3. 見通し

主要先進国に対し引き続きパンデミックやロシア・ウクライナ戦争の影響が波及することから、2022年の世界経済の予想成長率は+3.0%（2021年:+6.1%）程度に鈍化すると予想される。世界経済の成長は、インフレ率の上昇、世界的な金融引き締め、サプライチェーンの混乱、労働市場の逼迫などの影響を受けて失速するとみられる。財政政策としては、パンデミック時に導入された拡張的措置が解除され、2022年には、最も影響を受けた層への影響を緩和するための条件付の対応策に置き換えられると予想される。

マレーシア及びインドネシアでは、2022年にそれぞれ+6.0%（2021年:+3.1%）及び+5.1%（2021年:+3.7%）と成長の加速が見込まれる一方で、シンガポールでは+2.8%（2021年:+7.6%）と成長は緩やかになると予想されるなど、メイバンク・グループの主要市場であるマレーシア、シンガポール、インドネシアの3カ国の2022年の成長率は異なる様相を見ることがと見込まれている。

マレーシアのGDP成長率は、経済活動の全面的な再開によるサービスセクターと個人消費を背景に、2022年第2四半期は前年同期比+8.9%（2022年第1四半期は前年同期比:+5.0%）と加速した。2022年下半年には、国内外のインフレや金利上昇の影響に加え、マレーシアの主要貿易相手国である米国、欧州、中国等の経済減速の懸念を反映して、経済活動の伸びは緩やかなものと予想される。マレーシア中央銀行が翌日物政策金利を50ベース・ポイント引き上げ2.25%とすることに伴い、金融政策の正常化が徐々に進むと見込まれる。2022年は、GDPの6.0%（2021年:GDPの6.5%）の財政赤字が見込まれる中、財政政策は比較的拡大傾向を継続すると予想される。

シンガポールでは、経済成長が2022年第2四半期は前年同期比+4.4%（2022年第1四半期は前年同期比+3.8%）となった。世界の金利上昇、中国の減速や欧州の景気後退懸念による輸出・貿易関連サービスの減少など、世界的な逆風により外需の見通しが弱まる中で、2022年の成長率は+2.8%（2021年:+7.6%）に失速すると見込まれる。シンガポール通貨監督庁（MAS）は、2021年10月から4回の金融引き締めを行っており、直近では2022年7月にシンガポール・ドルの名目実効為替レート（S\$NEER）政策バンド（許容変動幅）の中心値の見直しを行った。成長鈍化の予想に加えてインフレ圧力が続くことから、MASは2022年10月の会合でも引き締め姿勢を維持する可能性が高い。2021年の財政赤字がGDP比0.9%であったことに続き、2022年予算は30億シンガポール・ドル（GDP比0.5%）というわずかな財政赤字に留まるものと予想される。

インドネシアのGDP成長率は、堅調な外需や行動制限の大幅な緩和に伴う家計消費の加速により、2022年第2四半期は前年同期比+5.4%（2022年第1四半期:前年同期比+5.0%）に改善した。2022年下半年には、世界経済の成長鈍化により石炭、銅、鉄鋼などの主要輸出産品を中心に、インドネシアの外需が減少する可能性がある。インフレの加速と物価の急激な上昇も、2022年下半年の消費者心理を冷え込ませる可能性がある。インドネシア銀行は2022年にインフレの加速やインドネシア・ルピアへの圧力、今後も予想されるFRBの利上げに対応するため、合計で75ベース・ポイントの利上げを実施すると見込まれる。

メイバンク・グループは、金利上昇下において、低コストの預金は確保しつつ、主要市場にわたり貸出残高を選択的に増加させる意向である。また、ウェルス・マネジメント、グローバル・マーケット、投資銀行、資産運用及び保険の各セグメントで継続して手数料ビジネスの収益機会を探っていく。海外からの逆風や市場のボラティリティを踏まえ、資本及び流動性の確保は引き続き重要な優先課題である。当行グループは、必要な顧客への支援は条件付きで拡大しつつも、厳格な資産品質管理プロセスの一環として、顧客との継続な関係構築に積極的に取り組む所存である。

また、当行グループは広範にわたるデジタル・エコシステムと事業基盤の強さを活かし、市場の浸透を図り、成長機会を獲得するほか、M25戦略（5カ年戦略）の優先事項に沿って、デジタル化と持続可能性の定着に向けて、戦略的投資を行う予定である。

サステナビリティ関連では、当行グループはファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）の推進、サステナブルファイナンスやその対応支援の提供、低炭素経済への責任ある移行支援に重点的に取り組む所存である。

マレーシア連邦政府が発表した2022年限定の富裕税の影響を踏まえ、当行グループは、主要KPIである株主資本利益率(ROE)の2022年度の目標値を9.5%から10%の範囲に据え置いている。

B4. 利益予測又は利益保証

当行グループ及び当行は、2022年6月30日に終了した中間会計期間に関する利益予測も利益保証も一切行っていない。

B5. 税金及びザカート

2022年6月30日に終了した中間会計期間における税金費用は以下の通りである。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行グループ				
マレーシア法人税	619,516	875,590	1,502,067	1,700,834
外国法人税	107,583	96,955	195,756	199,377
	<u>727,099</u>	<u>972,545</u>	<u>1,697,823</u>	<u>1,900,211</u>
前期に関する(超過)/過少引当：				
マレーシア法人税	(1,370)	(16,253)	12,814	(16,253)
外国法人税	(3,458)	12,551	(3,792)	(581)
	<u>722,271</u>	<u>968,843</u>	<u>1,705,845</u>	<u>1,883,377</u>
繰延税金				
- 一時差異の当期発生及び解消関連	<u>26,394</u>	<u>(281,136)</u>	<u>(100,125)</u>	<u>(465,511)</u>
当期税金費用	748,665	687,707	1,606,720	1,417,866
ザカート	7,894	5,303	35,576	18,764
	<u>756,559</u>	<u>693,010</u>	<u>1,642,296</u>	<u>1,436,630</u>

2022年6月30日に終了した中間会計期間の当行グループの実効税率は、2022年賦課年度（「YA 2022」）の富裕税（「Cukai Makmur」）や特定の損金不算入費用の影響により法定税率を上回った。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2022年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット	2021年 6月30日終了 千マレーシア・ リンギット
当行				
マレーシア法人税	195,803	326,072	646,024	659,201
外国法人税	2,306	2,301	3,438	4,595
	<u>198,109</u>	<u>328,373</u>	<u>649,462</u>	<u>663,796</u>
前期における超過引当：				
外国法人税	(3,801)	-	(3,801)	-
	<u>194,308</u>	<u>328,373</u>	<u>645,661</u>	<u>663,796</u>
繰延税金				
- 一時差異の発生及び解消関連	<u>64,172</u>	<u>(40,965)</u>	<u>91,522</u>	<u>(85,518)</u>
当期税金費用	<u>258,480</u>	<u>287,408</u>	<u>737,138</u>	<u>578,278</u>

2022年6月30日に終了した中間会計期間の当行の実効税率は、課税対象外の特定の収益により法定税率を下回ったが、YA 2022の富裕税の影響により相殺されている。

当行の国内法人税は、当期の課税所得の見積額に対する、マレーシアの法定税率である24%に基づいて算定されている。2022年度予算で発表された通り、富裕税は一回限りの税制措置であり、2022年賦課年度の課税所得が100.0百万マレーシア・リンギット超の企業には33%の税率が適用され、課税所得が100.0百万マレーシア・リンギット以下の企業には現行の法定税率である24%が適用される。他の法域の海外子会社の税金額は法域ごとの実勢税率で算定される。

B6. 発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルの状況

2022年6月30日に終了した中間会計期間には、発表されたが完了していないコーポレートプロポーザルはない。

B7. コーポレートプロポーザルにより調達した資金の使用状況

借入、劣後債務及び資本性証券の発行による資金は、予定通り、運転資本、一般的な銀行業務目的及びその他の企業目的のために使用されている。

B8. 顧客預金、顧客の投資口座、金融機関預り金及び負債証券

注記A14、A15、A16、A17及びA41gを参照のこと。

B9. デリバティブ金融商品

注記A37を参照のこと。

B10. 重要な訴訟の帰趨

2022年6月30日に終了した中間会計期間には、重要な訴訟はない。

B11. 配当金

2022年12月31日に終了する会計年度に係る普通株式一株当たり28.0マレーシア・セン（2021年6月30日に終了した会計年度：28.0マレーシア・セン）の第1回シングルTier中間現金配当が、取締役会によって宣言された。

また、取締役会は、第1回シングルTier中間現金配当に配当金再投資制度が適用されると決定した。同制度では、普通株式一株当たり7.0マレーシア・センの選択可能部分を普通株式新株に再投資することが可能であり、残りの普通株式一株当たり21.0マレーシア・センは現金で支払われる。

ブルサ・マレーシア証券取引所の主要上場要件第8.26項に準拠して、中間配当は配当宣言日から3カ月以内に支払われる。

権利確定日は当行により後日公表される予定である。

B12. 一株当たり利益（「EPS」）

基本EPS

当行グループの基本EPSは、当行株主に帰属する当会計期間の純利益を当会計期間の加重平均発行済普通株式数で除して計算されている。

	第2四半期		6カ月間累計期間	
	2022年 6月30日終了	2021年 6月30日終了	2022年 6月30日終了	2021年 6月30日終了
当行株主に帰属する当会計期間の純利益（千マレーシア・リンギット）	<u>1,857,247</u>	<u>1,962,526</u>	<u>3,902,140</u>	<u>4,354,656</u>
加重平均発行済普通株式数（千株）	<u>11,970,013</u>	<u>11,507,109</u>	<u>11,924,263</u>	<u>11,460,552</u>
基本一株当たり利益（マレーシア・セン）	<u>15.52</u>	<u>17.05</u>	<u>32.72</u>	<u>38.00</u>

希薄化後EPS

希薄化潜在的普通株式が存在しないため、当行グループの当会計期間及び前会計期間における普通株式一株当たり利益の希薄化はない。

取締役会の命令による。

ヴァン・マルティミン・ヴァン・ムハンマド

LS0009924

カンパニーセクレタリー

2022年8月25日

2【その他】

(1) 訴訟及び規制手続

当該半期中において、2022年6月29日に提出した有価証券報告書に記載された事項に重要な変更はなかった。

(2) 後発事象

該当事項なし。

3【MFRS及びIFRSと日本における会計原則及び会計慣行の主要な相違】

本書記載の中間財務書類は、マレーシア財務報告基準（MFRS）及び国際財務報告基準（IFRS）に基づいて作成されている。MFRS及びIFRSと、日本で一般に公正妥当と認められている会計原則（以下「日本基準」という。）は、一部の点で相違する。主な相違点の要約は下記の通りである。

項目	マレーシア財務報告基準（MFRS） 及び国際財務報告基準（IFRS）	日本基準 (日本で一般に公正妥当と 認められる会計原則)
(1) 表示が求められる会計期間	財務諸表で報告されるすべての金額について、最低過去1会計期間分の比較情報を開示しなければならない。	前連結会計年度及び当連結会計年度の財務諸表を比較のため併記する。
(2) 財政状態計算書（貸借対照表）と包括利益計算書（損益計算書）の様式	下記の財務諸表(注1、2)の作成を求めている。 ・ 財政状態計算書 ・ 包括利益計算書（1計算書方式）(注3)、又は損益計算書とその他の包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）(注4) ・ 持分変動計算書 ・ キャッシュ・フロー計算書 ・ 会計方針及び注記 (注1)各計算書の名称については他のものを使用することも可 (注2)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合には、上記財務諸表に加えて、比較のため、開示される最も古い比較年度の期首財政状態計算書の作成も求められる (注3)純損益及びその他の包括利益計算書（1計算書方式）をいう (注4)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可	下記の財務諸表(注1)の作成を求めている。 ・ 連結貸借対照表 ・ 連結損益及び包括利益計算書（1計算書方式）(注2)、又は連結損益計算書と連結包括利益計算書を別個に作成（2計算書方式）(注3) ・ 連結株主資本等変動計算書 ・ 連結キャッシュ・フロー計算書 ・ 連結附属明細表 (注1)会計方針を遡及適用した場合、財務諸表の修正再表示を行った場合、又は財務諸表の組替えを行った場合でも、開示される最も古い比較年度の期首貸借対照表の追加作成は不要 (注2)1計算書方式の様式については連結財務諸表規則ガイドラインの別紙を参照 (注3)1計算書方式と2計算書方式のいずれでも可
(3) 特別（異常）損益の表示	収益又は費用のいかなる項目も、特別項目として、包括利益計算書若しくは損益計算書（表示されている場合）又は注記のいずれにも表示してはならない。	特別損益に属するものはその内容を示す名称を付した科目をもって表示する。

(4) 連結の範囲	連結の対象範囲は適用される支配の概念による。 投資者は、投資者が次の各要素をすべて有している場合にのみ、投資先を支配している。 (a)投資先に対するパワー (b)投資先への関与により生じる変動リターンに対するエクスポージャー又は権利 (c)投資者のリターンの額に影響を及ぼすように投資先に対するパワーを用いる能力 支配の判定に際し、投資者は自らの潜在的議決権と他の者が保有している潜在的議決権とを考慮して、自らがパワーを有しているかどうかを決定する。 投資者は、投資先の議決権の過半数を有していなくても、パワーを有するに十分な権利（いわゆる「事実上の支配」(de facto control)）を有する可能性がある。	連結の対象範囲は適用される支配力の概念による。 親会社、他の企業の財務及び営業又は事業の方針を決定する機関（意思決定機関）を支配している場合、当該他の企業に対する支配が存在する。 日本基準には、支配の有無の判断にあたり、潜在的議決権の影響や、意思決定権の行使が本人と代理人のいずれの立場として行われているかなどを考慮することを明示的に求める規定は存在しない。 議決権の過半数を有していなくても、当該他の企業の取締役会の構成、資金調達の状況及び当該他の企業の方針の決定を支配する契約の存在等を考慮した上で、緊密な関係があることにより自己の意思と同一の内容の議決権を行使すると認められる者及び自己の意思と同一の内容の議決権を行使することに同意している者が所有している議決権とを合わせて支配の有無の判断を行うことを求める規定が存在する。
(5) 連結の範囲（例外規定）	すべての子会社を連結することを要するが、投資企業については以下の例外がある。 一定の条件を満たす企業は投資企業に該当し、子会社を連結することが禁止され、子会社に対する投資をMFRS第9号にしたがって純損益を通じて公正価値で測定しなければならない。 ただし、投資企業の投資活動に関連するサービスを提供する子会社は連結しなければならない。 投資企業の親会社自身が投資企業でない場合、当該親会社はその連結財務諸表において当該投資企業の会計処理を引き継ぐことができない。	以下に該当する子会社は連結の範囲に含めないものとされる。 ・ 支配が一時的であると認められる企業 ・ 連結の範囲に含めることにより利害関係人の判断を著しく誤らせるおそれがあると認められる企業
(6) 特別目的事業体及びストラクチャード・エンティティー	投資者が支配しているストラクチャード・エンティティーは連結しなければならない。	一定の条件を満たす一定の特別目的会社は子会社に該当しないものと推定する。投資事業組合の連結の範囲は、基本的に業務執行権限の有無に基づいて判断される。

(7) 共同支配の取決め	共同支配事業(joint operation)に該当する共同支配の取決め(joint arrangement)の場合、共同支配事業者は共同支配事業における自らの資産、負債、収益及び費用並びに／又は共同支配事業における共同支配に係る資産、負債、収益及び費用の持分相当額を認識する。 共同支配企業(joint venture)の場合、持分法が適用される。	被共同支配企業の会計処理には持分法を適用する。
(8) 企業結合の会計処理	取得法(acquisition method)を適用して企業結合を会計処理する。 MFRS第3号は、共同支配企業(joint venture)の設立及び共通支配下の企業又は事業の統合などには適用されない。	共同支配企業の形成及び共通支配下の取引以外の企業結合には、パーチェス法が適用される。
(9) のれんの当初認識と非支配持分の測定方法	企業結合ごとに、非支配持分の測定方法について、取得企業が以下のいずれかを選択できる。 1) 非支配持分も含めた被取得企業全体を公正価値で測定し、のれんは非支配持分に帰属する部分も含めて認識する方法(いわゆる全部のれんアプローチ)。 2) 非支配持分を被取得企業の識別可能純資産の公正価値に対する取得企業の持分相当額によって測定し、のれんは取得企業の持分相当額についてのみ認識する方法(いわゆる購入のれんアプローチ)。	のれんは、被取得企業又は取得した事業の取得原価のうち、取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を超過する額として算定される(のれんの算定に認められているのは、購入のれんアプローチのみ)。 子会社の資産及び負債のすべてを支配獲得日の時価により評価する(いわゆる全面時価評価法)。 * IFRSで選択できるような、非支配持分自体を支配獲得日の時価で評価する会計処理は認められていない。
(10) のれんの取扱い	規則的な償却は行わず、減損の兆候が無くても各報告期間において、さらに減損の兆候がある場合には追加で、減損テストに付される。	原則としてその計上後20年以内に、定額法その他合理的な方法により償却しなければならない。ただし、のれんの金額に重要性が乏しい場合には、当該のれんが生じた事業年度の費用として処理することができる。 のれんに減損の兆候がある場合には、減損損失を認識するかどうか判定する。

(11) 有形固定資産 解体及び除却費用並 びに原状回復費用等	MFRS第116号に従い、引当金の認識要件を満たす解体及び除却費用並びに原状回復費用等は、有形固定資産の取得原価に含める。MFRS第137号の引当金には、法的債務及び推定的債務が含まれる。 割引率の事後的な変更についても引当金を再測定し、（原価モデルの場合は）取得原価に加減する。 割引の定期的な振戻しに関連する費用は、金融費用として費用計上する。 日本基準にある敷金に関する例外処理は、MFRSでは認められない。	資産除去債務計上額を関連する有形固定資産の帳簿価額に加える。資産除去債務は、有形固定資産の除去に関して法令又は契約で要求される法律上の義務及びそれに準ずるものを計上する。 資産除去債務の割引率は負債計上時に決定し、通常はその後の変更は行わない（ただし、将来のキャッシュ・フローの見積額が増加した場合は、その時点の割引率に変更し、減少した場合は負債計上時の割引率を用いる。）。 割引の振戻しに伴う時の経過による資産除去債務の調整額は、損益計算書上、当該資産除去債務に関連する有形固定資産の減価償却費と同じ区分に含めて計上する。 敷金が資産計上されている場合、簡便な評価方法で、敷金の回収が見込めないと認められる金額を合理的に見積り、当期に配分される金額を費用に計上することができる。
(12) 固定資産の事後測定	原価モデル又は再評価モデルのどちらかを会計方針として選択し、同一種類のすべての有形固定資産に適用しなければならない。 再評価モデルを選択した場合、帳簿価額が報告期間の期末日における公正価値と大きく相違しないよう、再評価を定期的の実施しなければならない。	取得原価から減価償却累計額及び減損損失累計額を控除した金額で計上される。（再評価は認められていない。）
(13) 投資不動産 当初認識後の測定	原価モデル又は公正価値モデルの選択が可能である。当該方針はあらゆる投資不動産に対して適用される。	（注記においてのみ開示される。特に明示された基準はない。）原価モデルのみ利用可能。
(14) 投資不動産 公正価値モデルでの測定	公正価値モデルを選択する企業は、公正価値が信頼性をもって測定できない例外的な場合を除き、すべての投資不動産を公正価値で評価しなければならない。	該当する基準はない。
(15) 減損レビュー ・プロセス（非金融 資産）	1段階アプローチ 減損の兆候が存在する場合に、資産の帳簿価額がその回収可能価額を上回る金額を減損損失として算定する。 回収可能価額は処分費用控除後の公正価値と使用価値のいずれが高い金額となる。	2段階アプローチ 最初に回収可能性テスト（資産の帳簿価額を、資産の使用及び最終的処分を通じて発生する割引前将来キャッシュ・フローの総額と比較する。）を行う。その結果、資産の帳簿価額が割引前キャッシュ・フローの総額よりも大きい場合、回収不能と判断された場合、資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額するように減損損失を認識する。

(16) 減損損失の戻入れ（非金融資産）	のれんについては減損損失の戻入れは禁止されるが、他の資産については、毎報告期間末に、過去の期間に認識された減損損失がもはや存在しない又は減少している兆候があるのかどうかについて検討しなければならない。かかる兆候が存在する場合は、過去の期間に認識された減損損失を戻し入れる。ただし、過年度において当該資産について減損損失が認識されていなかったとした場合の帳簿価額（償却分控除後）を超えないものとする。	あらゆる資産について禁止される。
(17) 当初測定（初日利得）	金融資産及び負債が活発な市場で取引されておらず、価格評価モデルへの入力値が市場において観察できない場合、当初認識時に純利得を認識することはできず、かかる利得は繰り延べられる。	初日利得の測定に関する具体的規定が存在しないため、非上場デリバティブについて、市場価格に準ずるものとして合理的に算定された価格があれば、評価額として使用することができる。
(18) 公正価値測定の範囲	公表価格がなく公正価値が信頼性をもって測定できない場合に関するMFRS第139号における公正価値測定の例外規定は廃止された。すべての場合において、必ず公正価値で測定する必要がある。	企業会計基準第30号「時価の算定に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第31号「時価の算定に関する会計基準の適用指針」は、IFRS第13号と整合的な内容となっているが、適用範囲を金融商品及びトレーディング目的で保有する棚卸資産とし、これまで行われてきた実務等に配慮し、財務諸表間の比較可能性を大きく損なわせない範囲で、個別項目に対するその他の取扱いを定めている。主な項目は、市場価格のない株式等について、従来の企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」に基づき時価評価は行わず、取得原価をもって貸借対照表価額とする取扱いや、投資信託について、市場における取引価格が存在せず解約等に重要な制限がある場合に一定の要件を満たせば基準価格を時価とみなすことができる取扱いなどがある。なお、投資信託に関するこの取扱いは2022年4月1日以後開始する連結会計年度及び事業年度の期首から適用される。
(19) 金融資産の認識の中止	リスク経済価値アプローチに基づき、金融資産の認識を中止する。 金融資産の所有に係るリスクと経済価値のほとんどすべてを移転したわけでも、ほとんどすべてを保持しているわけでもない場合は、「支配」の有無を検討する。引続き支配を保持している場合は、継続的関与の範囲内で認識を継続する。	財務構成要素アプローチに基づき、金融資産の消滅を認識する。

(20) 金融資産の区分	・ 負債性金融商品(債券・債権等) 「事業モデル・テスト」及び「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」に従い、以下の3つに区分される。 ・ 償却原価 契約上のキャッシュ・フローの回収を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI) (リサイクルあり) 契約上のキャッシュ・フローの回収と売却の両方を目的とする事業モデルにより当該金融資産が保有され、かつ、「契約上のキャッシュ・フローの特性テスト」を満たすもの ・ 純損益を通じて公正価値で測定(FVPL) 上記のいずれにも該当しないもの 償却原価又はFVOCIに分類可能な場合であっても、当初認識時にFVPLに分類できる。 ・ 資本性金融商品(株式等) トレーディング目的の保有ではなく、当初認識時に企業が指定した場合のみ、その他の包括利益を通じて公正価値で測定(FVOCI)(リサイクルなし)される。上記指定が行われない金融商品は、以後FVPLで測定される。	有価証券については以下の通り区分される。 ・ 売買目的有価証券 ・ 満期保有目的の債券 ・ 子会社株式及び関連会社株式 ・ その他有価証券
(21) 売却可能投資 / 有価証券の事後測定	「売却可能金融投資」の区分は廃止された。当初認識時にFVOCIと指定された適格な資本性金融商品については、受取配当金のみ純損益に計上される。それ以外の変動(為替レートの変動を含む。)はすべてその他の包括利益に計上され、その後の純損益への振替は行われない。	時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は税効果を考慮のうえ、以下のいずれかの方法により処理する。 ・ 合計額を直接純資産の部に計上 ・ 時価が取得原価を上回る銘柄に係る評価差額は純資産の部に計上、時価が取得原価を下回る銘柄に係る評価差額は当期の損失として処理 時価が著しく下落し、かつ、回復可能性が認められない場合又は実質価額が著しく低下した場合には、減損損失を認識し、帳簿価額と時価又は実質価額の差額を純損益に振り替える。減損の戻入は禁止される。

(22) 償却原価法と実効金利法	金融資産又は金融負債の償却原価の計算は実効金利法による。 実効金利には、実効金利の不可分の一部である契約当事者間で授受されるすべての手数料、取引費用、並びにその他のプレミアム及びディスカントを考慮する。	償却原価法は原則として利息法によるが、継続適用を条件として、簡便法として定額法を採用することも認められる。 満期保有目的の債券は、金利調整差額のみを対象とする償却原価法を適用する。
(23) 減損(有価証券)	・ 負債性金融商品の場合 購入又は組成した信用減損資産(不良債権等)を除き、損失引当金の認識規定の対象資産(償却原価で測定する負債性金融商品を含む。)は、すべて12ヶ月予想信用損失(ECL: Expected Credit Losses)が引き当てられる(ステージ1)。 当初認識後に信用リスクの著しい増加がある場合には、引当額が12ヶ月ECLから全期間ECLに切り替わる(ステージ2)。 (利息収益の認識) 減損の客観的な証拠が生じるまでは、利息収益は、帳簿価額総額に実効金利(EIR)を適用して算定される。減損の客観的な証拠がある場合(ステージ3)には、帳簿価額純額(すなわち、減損引当額を控除した後の帳簿価額の総額)にEIRを適用して算定される。 ・ 資本性金融商品の場合 非デリバティブ資本性金融商品は、すべてFVPL又はFVOCI(リサイクルなし)で測定されるため、減損という手続き自体がなくなっている(公正価値測定が用いられる。)	時価のある有価証券について、時価が著しく下落したときは、回復する見込みがあると認められる場合を除き、時価をもって貸借対照表価額とし、評価差額は当期の損失として処理する。 市場価格のない株式等について、実質価額が著しく低下した場合には、相当の減額を行い、評価差額は当期の損失として処理する。
(24) 貸出金及びその他の債権に対する減損引当金	以下の金融商品については、以下のとおり、簡便法の適用が強制又は会計方針の選択により認められる。なお、簡便法の適用とは、常に全期間ECLで測定することを意味する。 ・ 重要な財務要素を含まない営業債権又は契約資産...簡便法の適用が強制 ・ 重要な財務要素を含む営業債権又は契約資産、及びリース債権(1年超を含む。)であって、会計方針として全期間ECLでの測定が選択されたもの...会計方針の選択により、簡便法を適用	区分に応じ、債権の貸倒見積高を以下の通り算定する。 ・ 一般債権：過去の貸倒実績率等、合理的な基準により算定 ・ 貸倒懸念債権：債権の状況に応じ、次のいずれかの方法を継続適用する。 - 債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額について債務者の財政状態及び経営成績を考慮して貸倒見積高を算定する方法 - 将来キャッシュ・フローの現在価値と債権の帳簿価額との差額を貸倒見積高とする方法 ・ 破産更生債権等：債権額から担保の処分見込額を減額し、その残額を貸倒見積高とする。
(25) 金融資産減損の戻入れ	負債性金融商品については、過年度に損失引当金が計上されたが、当初認識後に信用度が改善して信用リスクの著しい増大がない場合、戻し入れなければならない。	売買目的有価証券は、減損後引続き時価評価されるが、満期保有目的の債券及びその他有価証券について減損の戻し入れは行われない。

(26) 外貨建金融商品	外貨建の貨幣性資産及び負債に係る為替レートの変動による利得又は損失は、純損益に計上しなければならない。FVOCIに分類された外貨建資本性金融商品に係る為替変動はOCIで認識する。	外貨建その他有価証券について、原則として帳簿価額の変動のすべてが純資産の部に計上されるが、為替要因に基づく変動を区分し、純損益に計上することもできる。
(27) 金融負債の評価	純損益を通じて公正価値で評価される金融負債等を除き、実効金利法を用いた償却原価で測定しなければならない。 公正価値で測定される金融負債については、当該負債の信用リスクの変動に起因する公正価値の変動の金額をその他の包括利益において認識し、計上しなければならない。 当該負債の公正価値の変動の残りの金額は、純損益に計上しなければならない。	債務額をもって貸借対照表価額とする。ただし、収入に基づく金額と債務額とが異なる場合には、償却原価法で測定しなければならない。
(28) 金融負債と資本の区分	MFRS第132号にて、金融負債と資本の区分に関する包括的な規定が設けられており、金融商品の契約の実質並びに金融負債及び資本の定義に基づき区分しなければならない。	金融負債と資本の区分に関する包括的な規定は存在しない。
(29) 組込デリバティブの会計処理	組込デリバティブは以下のすべての条件を満たしたとき、主契約との区分処理が必要となる。 ・ 組込デリバティブの経済的特徴及びリスクが主契約のそれらと密接に関連していない。 ・ 組込デリバティブと同一条件の独立した金融商品ならばデリバティブの要件を充足する。 ・ デリバティブが組み込まれた複合(合成)金融商品が、公正価値で測定され公正価値の変動を純損益に認識するものではない。	次のすべての要件を満たした場合、区分処理が必要となる。 ・ 組込デリバティブのリスクが現物の金融資産又は金融負債に及ぶ可能性があること ・ 組込デリバティブと同一条件の独立した金融商品が、デリバティブの特徴を満たすこと ・ 時価の変動による評価差額が当期の損益に反映されないこと ただし、管理上組込デリバティブが区分され、一定要件を満たす場合、区分処理を行うことができる。
(30) ヘッジ会計の手法	次の3種類のヘッジ会計が認められている。 ・ 公正価値ヘッジ:ヘッジ対象に関連する特定のリスクに係る公正価値の変動及びヘッジ手段の公正価値の変動はともに純損益に計上する。 ・ キャッシュ・フロー・ヘッジ:ヘッジ手段の公正価値の変動のうち、有効部分をその他の包括利益に計上する。 ・ 在外営業活動体に対する純投資のヘッジ:キャッシュ・フロー・ヘッジと同様の方法で会計処理される。	原則として、ヘッジ手段に係る損益又は評価差額を、税効果を考慮のうえ、純資産の部において繰り延べる。ただし、時価ヘッジ(ヘッジ対象に係る相場変動等を損益に反映させるもの)も認められる。

(31) ヘッジ非有効部分の処理	ヘッジ手段に係る利得又は損失のうち非有効部分は、純損益として認識しなければならない。(キャッシュ・フロー・ヘッジの場合、公正価値の変動に対するヘッジ有効部分のみがその他の包括利益で認識される。)	ヘッジ全体が有効と判定され、ヘッジ会計の要件が満たされている場合には、ヘッジ手段に生じた損益のうち結果的に非有効となった部分についても繰延処理することができる。非有効部分を特定し、合理的に区分できる場合には、当期の損益に計上することができる。
(32) 金利スワップの特例処理	該当する基準はなく、金利スワップに係る特例処理は認められない。	一定の条件を満たす場合には、金利スワップを時価評価せず、金利スワップに係る利息を直接、金融資産・負債に係る利息に加減して処理することが認められる。
(33) 未払有給休暇	累積的性格を有するものについて、計上することが求められる。	該当する基準はない。
(34) リース	MFRS第16号「リース」に基づき、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分せず、単一の使用権モデルに基づいて、原則として、すべてのリースについて使用権資産とリース負債を財政状態計算書で認識(オンバランス)し、以降、使用権資産は減価償却され、リース負債に係る支払利息は実効金利法を用いて損益計算書に認識される。また、使用権資産については、MFRS第136号「資産の減損」を適用して、使用権資産が減損しているかどうかを判定する。例外として、一定の短期リース及び少額資産のリースについては、免除規定(オフバランス)を選択できる。	日本では、借手はリースをファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引に区分する。ファイナンス・リース取引とは、解約不能かつフルペイアウトの要件を満たすものをいい、ファイナンス・リース取引に該当するかどうかについてはその経済的実質に基づいて判断すべきものであるが、解約不能リース期間が、リース物件の経済的耐用年数の概ね75%以上又は解約不能のリース期間中のリース料総額の現在価値が、リース物件を借手が現金で購入するものと仮定した場合の合理的見積金額の概ね90%以上のいずれかに該当する場合は、ファイナンス・リースと判定され、通常の売買取引に係る方法に準じて、リース物件及びこれに係る債務をリース資産及びリース債務として借手の財務諸表に計上する。ただし、少額(リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以下の所有権移転外ファイナンス・リース)又は短期(1年以内)のファイナンス・リースについては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行うことができる。 また、オペレーティング・リース取引とは、ファイナンス・リース取引以外のリース取引をいう。オペレーティング・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行う。
(35) 確定給付制度-確定給付制度債務の期間配分方法	原則として予測単位積増方式(発生給付評価方式)を用いる。 ただし、後期の年度の勤務が初期の年度より著しく高い水準の給付を生じさせる場合、定額法を用いる。	次のいずれかの方法の選択適用 ・ 期間定額基準 ・ 給付算定式基準(当該制度の給付算定式に従って各勤務期間に帰属させた給付見込額を、各期の発生額とする。)

(36) 確定給付制度 - 年金資産	積立超過である場合には、確定給付資産が以下の金額の合計を超えないように制限される。 ・ 未認識数理計算上の差損の純額及び過去勤務費用 ・ 制度からの返還又は制度への将来の掛金減少という形で利用可能な経済的便益の現在価値(資産上限額)	年金資産の額が退職給付債務を超える場合、当該超過額を資産として計上する(ただし、個別財務諸表に関しては「退職給付に関する会計基準」第39項(1)において別段の定めが設けられている。)。
(37) 確定給付制度 - 数理計算上の差異	企業は、確定給付負債(資産)の純額を財政状態計算書に認識しなければならない。 数理計算上の差異を含む確定給付負債(資産)の純額の再測定はその他の包括利益で認識される。 (その他の包括利益で認識された確定給付負債(資産)の純額の再測定は、事後的に純損益に振り替えてはならない。)	数理計算上の差異は、原則として各期の発生額について、平均残存勤務期間以内の一定の年数で按分した額を每期費用処理する。 また、当期に発生した未認識数理計算上の差異は税効果を調整の上、その他の包括利益として純資産の部に計上する。 その他の包括利益累計額に計上されている未認識数理計算上の差異のうち、当期に損益に再分類された部分については、その他の包括利益の調整(組替調整)を行う。 未認識過去勤務費用及び未認識数理計算上の差異の費用処理には平均残存勤務期間以内の一定の年数のほか一定割合を用いることができる。また、数理計算上の差異の償却は翌期から行うことができる。 過去勤務費用と数理計算上の差異の償却年数はそれぞれ別個に設定することができる。
(38) 生命保険契約 負債	当行グループの貸借対照表上の生命保険契約負債及び当行グループの損益計算書上の保険契約負債の変動は、マレーシア中央銀行のリスク基礎資本フレームワークに準拠して計算されている。 生命保険契約負債は、将来便益の現在価値の合計とリスクフリーレートで割り引かれた保険契約から生じる将来の対価の総額を控除した費用に基づき保険数理計算を用いて評価する。この方法は保険金総額評価方法として知られる。	日本においては、責任準備金は、生命保険契約に基づく将来債務の履行に備えるため、主として平準純保険料方式及びロックイン方式を用いて積み立てられる。

(39) 生命保険事業に係る収益と費用	保障業務を含むサービスの提供及びリスクの負担によって得られる保険料は、収益として扱われる。保険料は金額が信頼できる測定が可能になった時点で認識する。 定期的な支払日のある保険料は、支払期日基準で収益として認識される。支払期日のない保険料は、信頼できる測定の範囲で収益として認識される。 新契約獲得費は発生時に費用処理される。	日本においては、現金主義によって、保険料は収益認識され、新契約獲得費は発生時に費用処理される。
----------------------------	---	--

第7【外国為替相場の推移】

財務書類の表示に用いられた通貨（マレーシア・リンギット）と本邦通貨との間の為替相場が国内において時事に関する事項を掲載する2以上の日刊新聞にて当該半期中において掲載されているため、本項の記載は省略する。

第8【提出会社の参考情報】

2022年1月1日以降、本半期報告書提出日までの間に、当行は下記の書類を関東財務局長に提出した。

- (1) 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号に基づく臨時報告書及び添付書類(2022年1月24日提出)
- (2) 2021年6月29日に提出した有価証券報告書の訂正報告書(2022年1月24日提出)
- (3) 2021年9月29日に提出した半期報告書の訂正報告書(2022年1月24日提出)
- (4) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2022年1月24日提出)
- (5) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2022年1月24日提出)
- (6) 発行登録追補書類(募集)及び添付書類(2022年1月27日提出)
- (7) 上記(1)の臨時報告書の訂正報告書(2022年2月17日提出)
- (8) 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号に基づく臨時報告書及び添付書類(2022年2月17日提出)
- (9) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2022年2月17日提出)
- (10) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2022年2月17日提出)
- (11) 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号に基づく臨時報告書及び添付書類(2022年3月22日提出)
- (12) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2022年3月22日提出)
- (13) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2022年3月22日提出)
- (14) 上記(11)の臨時報告書の訂正報告書(2022年4月18日提出)
- (15) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2022年4月18日提出)
- (16) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2022年4月18日提出)
- (17) 発行登録書(募集)及び添付書類(2022年6月8日提出)
- (18) 発行登録書(売出)及び添付書類(2022年6月8日提出)
- (19) 有価証券報告書及び添付書類(2022年6月29日提出)
- (20) 金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第1号に基づく臨時報告書及び添付書類(2022年9月26日提出)
- (21) 発行登録書(募集)の訂正発行登録(2022年9月26日提出)
- (22) 発行登録書(売出)の訂正発行登録(2022年9月26日提出)

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

該当事項なし。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし。

第3【指数等の情報】

該当事項なし。